夕刊 滿洲日報 三月廿三日
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

會議の成否見込つき次第 財部全權一足先に歸朝

二週間以内にロンドンを出發

準備をとゝのへ沙汰をまつ

【ロンドン二十二日發電】わが全權財部海相は軍縮會議が豫定の二月を越ゆるもまだ何等結着を見ず、この調子で昨年末渡英以來四月以上も滯在するにおいては海軍部内の事務上の支障を來す惧れあり、本國政府より何等かの沙汰あり次第何時にてもロンドンを發つて歸國の途につくやう準備を調へてゐる、勿論財部全權の歸朝は會議の現狀とは何等關係なきもので、恐らく會議の成否見込みつき次第若槻全權と充分打合せのうへ出發すべくその時期は二週間以内と見らる（寫眞は財部全權）

佛伊兩國

倫敦での協議を望まず

【ロンドン二十二日發電】信ずべき筋より聞くに佛伊兩國全權は佛伊均勢問題に關する歩み寄りは困難で、今後これが解決を試みるとも目下の處では兩國の友誼を危ふくするのみだらうといふに意見一致したと、佛伊の問題は獨立にパリ又はローマにて議するを得策としロンドン會議の空氣は餘りに峻嚴で好ましからぬといつてゐる

海軍省の回訓原案 きのふ外務省に廻付さる

【東京二十三日發電】二十二日午後二時半、海軍省軍務局第一課長澤本大佐は堀軍務局長の代理として外務省に堀田歐米局長を訪問して海軍省側の回訓原案を手交したが、右回訓原案は軍令部側の根本主張を

無視する を得ない海軍省の立場上、先日來の軍令部側の研究協議によつて得た數種の案を基礎としてその根本主張を何等變更することなく海軍省の手によつて幾分潤色されて出來上つたものであるので、海軍原案骨子は從來の軍部側の主張たる八吋巡洋艦絶對七割、潜水艦現有勢力保持の二大眼目を包含する補助艦總括七割であつて、たゞ前記八吋巡洋艦七割獲得方法としては、米國が八吋巡洋艦の

十五隻を 超へて第十六隻目以後第十八隻目を起工するに至る時、これに對抗して日本は八千八百噸級八吋巡洋艦二隻を建造せんとするにあるものゝ如くである

三國協約の成否 日本の回答如何で決す

五國協約はほとんど不可能 ロンドン各紙の論調

【ロンドン二十二日發電】勞働黨機關紙ヘラルド紙を始め今朝のロンドン諸新聞は一齊に五國協約が殆ど不可能なりとの觀測に一致し同時に三國協約の可能性を指摘し

ヘラルド紙は 三國協約の成否は松平、リード案に對する日本政府の回答如何により決せられると述べ、また諸紙は三國協約の形式に關し目下考慮されてゐる諸件につき報道してゐるが、要するに三國協約の場合には華府條約第二十一條を改變したものとして調印國がその海軍計畫を變更し得る場合を更に明確にすると共に、他の調印國にもその變更を實施し得る事とし英國の對佛立場を容易ならしめんとしてゐる、然し一方にまた出來得れば五國協約として保有量を決めず單に向ふ五ヶ年間の建造量だけを協定し曲りなりにも五國協約を得んとする計畫も傳へらる

伏見總裁宮、令旨を賜ふ

「海と空」の博覽會賑かな發會式

春の上野不忍池畔を飾る「海と空」の博覽會第一會場の開會式は春雨煙る二十日午前十時より伏見總裁宮殿下の台臨を仰ぎ盛大に擧行された、この日東郷元帥を始め陸海軍の將星、各國務大臣等多數出席あり、霞ケ關よりは四十二の飛行機帝都に雁行し來り天地呼應して頗る賑ひを呈した

【寫眞は（上）開會式——御令旨を賜る伏見總裁宮殿下と右より二人目東郷元帥、井上大將、俵商相、左端小泉遞相（下）會場の賑ひ】

日曜閑話 餘り讀み過ぎる

春ではあるが少し考へたい

われ〳〵は餘りに多く濫讀せぬであらうか。一ころ流行を極めた圓本や半圓本は、やゝ下火になつたけれども、それでもまだ出版界は洪水のやうな有樣である。無論その景氣、不景氣に支配せられる出版界にあつて、文化の尖端を表象するやうな立派な書物も出て來る。が併し、多くは有るも可なり無きもまた可なり、否、場合によつては有害無益といつたやうな讀み物も決して稀ではない。まづ肩の凝らぬ程度の讀み物を大量生產し、それを廣告宣傳で賣るのであるから、書物の內容など一々かまつてゐられぬことになる。甚だしい雜誌になると、この滿洲にあつても來月號を今月に讀まされるといふ奇怪事に遭遇する。さすがの官憲も、かかることには例の手が伸びぬと見える。

◇

それは兎にかくとして、大量生產的に出版される書籍、それが直ちに文化のバロメーターであるかの如くに思ふものあらば、それこそ大なる間違ひといはねばならぬ濫讀される多くのものは、却つて讀書子の趣味性を向上、否、向下せしむるやうなものではあるまいか。われ〳〵は現代人が餘りに多く本を讀まなさ過ぐるといふよりも、餘りに多く讀み過ぎるとさへ感ぜしめられるのである。否、餘りに多く讀み、しかも殆ど全く何も讀んでゐぬとさへ思はしめられるのである。われ〳〵はもつと多く考へ、より多く行ふことが肝要ではあるまいか。講談雜誌や講談俱樂部を每月々々讀破したとしてそこに果して何物が殘るであらうか。精神的に、肉體的に。われわれは、もつと他に多くの讀むべきもの、讀まねばならないもの、否もつと考へねばならぬこと、もつと實行せねばならないことが多いのではあるまいか。

◇

無學文盲國ロシヤでは、文盲清算といふことを計畫し、去る一九二〇年、男四割、女六割五分の文盲者をして、一九二七年には男二割五分、女三割七分までに開眼したといふ。これは非常なる努力といはねばならぬ。わが日本國民の現狀からすれば、目に一丁字なきものなどいふことは、殆ど想像だも出來ぬぐらゐに教育なるものは普及してゐる、誠に結構なことである。が併し、その折角、教育せられた學力を以て、たゞ讀んで益なく、場合によつて有害であり、危險でさへあるやうなものを餘りに多く耽讀するといふことは、決して感服したことではあるまいと思ふ。

◇

新らしいといふことは、確に何らかの眞理があらう。併しながらたゞ新らしいといふことだけで、他に何らの底力もないやうなものに對し、一般の趣味性を吸引するといふやうなことは、時代の趨勢とはいへ、決して喜ばしき現象ではあるまいと思はれる。もう反動が來てもと思はるゝ頃である。同じく出版界とはいふものゝ、一般向き、大衆向きの多くものには、一般興業物に課税するが如くに、相當の税金を賦課してもと思はれることさへある。玉石を混淆し、出版界を數量を以て、文化のバロメーターとなすが如きは愚の骨頂といはねばならぬ。出版界にも、量の時代より質の時代が擡頭し來るのではあるまいか。われわれは先づ雜草を刈り取らねばならぬと思ふ。それには、われ〳〵は餘りに多く讀み、而して餘りに多く何も讀まぬのではあるまいか。よし執務後の肩の凝りを醫すべく興味中心のものを讀むにしても、も少しく趣味の向上に資するやうなものを讀むべきではあるまいかと思ふ。春の出版界を展望し、讀書界の傾向を觀察し、敢て一言するを禁ぜざるを得ない。これらの論法は活動映畫その他の現代的娛樂機關などにも、これを活用することが出來やうと思ふ。

國民の支持で財界は安定

私用で太田長官に會ひに來た 森田代議士けさ來連

衆議院議員森田茂氏は二十三日入港の香港丸で來連、直ちにヤマトホテルに入つたが、船中に訪へば「ナニ太田關東長官に私用があつて來たまでだ」と冒頭して語る

特別議會は來月二十一日からだが別に問題になることもあるまい、生糸補償法案や金解禁など僕は專門でないから單に農林大臣や大藏大臣等から說明を聞いたゞけだが、生糸補償法案なども農林大臣の手によつて兎角それが假りに

一時的 にもせよ財界に安定を與へたことは時宜の處置といはねばならぬ、これに對し政友會がどの程度まで攻擊的質問を發するか知らぬが思つたほどのこともあるまい、金解禁後の財界も無論豫想は許さぬが歐洲戰後の日本が餘り浮かれてゐた結果、今日の悲境を招致したといふので、國民一般も明るい政治をモットーとする現內閣の方針を支持して緊縮といふ一大決心の下に立つてゐる有樣で惡くならうとは思はれぬ、然し

現內閣 だつて緊縮一點張りといふ譯にもゆくまいから財界の安定を見れば更に明るく更に積極的にゆく機會も勿論あろう、今日はホテルに泊つて明日赴旅、太田長官に會つてこの香港丸で歸國しやうと思つてゐる若し風が強いやうであつたら或は鮮鐵經由汽車で歸るやうになるかも知れぬ

特別議會に臨む民政の陣容

議長には藤澤氏內定

【東京二十二日發電】特別議會に臨む民政黨の正副議長候補者初め院內役員については絶對過半數を制せる今日、出來るだけ閱歷、手腕、力量の點より考慮して公平に銓衡のうへ陣容を固むる方針であるが、議長には豫定通り藤澤幾之輔氏內定、副議長には小山松壽、中村啓次郎、廣瀨德藏、牧山耕藏の諸氏有力なるも小山氏に落つく形勢となつた、全院委員長には西村丹治郎、豫算委員長には森田茂、決算委員長には淺川浩、若し全院委員長を革新の大竹貫一氏に讓る場合には西村氏は請願委員長に廻ることゝなつてゐる、その他懲罰委員長に小野重行、八並武治氏有力、院內總務は前議會通り十名とし、頼母木桂吉、中村啓次郎、小山松壽、廣瀨德藏、田中萬逸、小池仁郎、櫻井兵五郎、原夫次郎、木檜三四郎の九氏が再選され他の一名は山道襄一氏の呼聲が高い、なほ議會の議事進行係には院內筆頭幹事として岡本實太郎氏が當ることになつてゐる

英米駐日大使より異議申込說

【ロンドン二十二日發電】日米間暫定案を日本にてアメリカ提案としてゐるに對しマクドナルド氏は若槻全權に異議を述べたるは既報の如くであるが、英米側はこれよりさきそれ〴〵駐日大使を通じて直接日本政府に異議を申込んだとの說がある、なほ兩大使は同時に戰鬪艦問題につき兩國の採るべき或種の態度を暗示し該案の承認を求めたといはれてゐる

租税收入の見積替へは我黨の非難に屈服だ

政友、飽く迄追究の肚

政府側は無事切拔け得ると樂觀

【東京二十三日發電】大藏省議で決定した五年度一般會計歲入實行豫算に於て租税收入約一千二百萬圓減の見積り替を行つたに對し、反對黨政友會は政府は議會解散直後の閣議で五年度實行豫算の租税收入見積りは大體不成立豫算通りと爲すの方針を決定したに拘らず今回その見積り替へをしたのは、我が黨が唱へた

見込過大 の非難に屈服したものである、而して現在における不況狀態より見て僅かに一千二百萬圓程度の税收入見積り替では依然として見積り過大の非難を免れ難く、將來歲出入の辻褄を合せるためには必然苛斂誅求の結果に陷らざるを得ないと、特別議會に於ける主要材料とする計畫を樹てゝゐるので、濱口首相及び井上藏相に於てこれが答辯方針につき愼重に研究を重ねてゐるが、政府の見解は大體巨額の見積り替を餘儀なくされるやうな場合は

大藏大臣 の手腕が疑はれねばならぬが、僅に一千二百萬圓程度の事では問題とならぬ、まして不成立豫算編成後に於て輸入貿易の減退、消費節約の徹底等各種の事情が生じたのだからその實績に應じ關税、一般消費税、官業收入、印紙收入、酒税收入その他に一千二百萬圓程度の見積替を爲すことは寧ろ見積りの正確を示すものであつて、反對黨への屈服でも何でもなければ不成立豫算の税收入見積り過大を意味するものでない、更に將來物價の一般的下落により物品及び工事費に於て約一割程度の國庫餘裕を生ずる見込みであるのみならず

各省協力 して豫算奪取の惡風を棄て經費濫用を愼む決心であるから年度末に於ける歲出入の辻褄は苛斂誅求を用ひずして容易に合ふばかりでなく相當額の國庫剩餘金を生じるであらうといふにあつて、政府はこの方針により答辯し無事本問題を切拔け得るものと見てゐる、但し義務教育費國庫負擔額增額一千萬圓を計上せる根據及び財源捻出に關し

貴衆兩院 の追究に對しては政府も說明上相當苦境に立つべく首相藏相はこの點に關し愼重考慮を重ねてゐる

愈よ韓復渠氏 北平公署閉鎖

【北平二十二日發電】韓復渠氏の北平公署は廣西の命に依り本日閉鎖され事務員は全部離平した、これによりて廣西の中央服從は明白となつた

銀輸入税賦課の反對動議

【デリー二十二日發電】印度立法議會は銀一オンスにつき四アンナの輸入税を賦課せんとする政府案及びその基礎とされる政策を排斥せんとする動議を五十六對四十九にて否決した

辭令

【東京二十三日發電】二十二日左の辭令發表さる

副領事（青島）　堀公一
同（上海）　岡崎勝男
同（上海）　井口貞夫
任領事（五等）（各通）
外務事務官　田尻愛義
任領事（五等）命天津在勤

人事

▲堀尾成章氏（南滿工業取締役）二十三日入港の香港丸で歸連
▲津村雅量氏（本願寺仕職）同上
▲竹村直臣氏（陸軍中佐）同上來連
▲荒木正二氏（陸軍少佐）同上
▲浦賴一氏（廣島高師教授）同上
▲關屋敏子孃（聲樂家）廿三日午前十一時出帆の奉天丸にて青島へ
▲村岡樂童氏　同上

天氣豫報

二十四日（北東の風）曇、但し處により驟雨模樣あり
午前十時遼東半島附近を警戒

各地の溫度

	十一時	昨日最低
大連	六、七	一、〇
旅順	七、三	一、〇
奉天	一三、七	〇、四
營口	一三、二	〇、四
長春	九、〇	零下三、八

日曜日にも拘らず 白鳥、池田を嚴重取調べ

池内檢察官が午前、午後に亘り

民政署の疑獄事件

大連民政署の土地貸下不正事件はその後益々擴大の模樣あり、二十三日も日曜日に拘らず池内檢察官は川上書記と共に午前十時より檢察官第一取調室に詰めかけ、嶺前屯刑務支所から久能看守に護られて顏を見せた金州民政署土地係屬白鳥俊雄に對し扉を固く鎖し嚴重なる取調べを行つた、取調べは正午まで二時間ぶつ續けに行はれ、その間大連署の寺尾高等主任や中島警部補、岸、小川、小平特務が緊張した面持で出入し何事か打ち合せ活動を開始し、正午からは元大連市吏員池田甚太郎を同樣嶺前屯刑務支所より呼び出し引續き嚴重な取調べを行つた

臨幸の光榮に參列者感激

陸軍紀念日祝賀式に列して 岩井支部長の歸連談

全國在鄕軍人聯合會に出席中であつた大連在鄕軍人會支部長岩井勘六少將は二十三日入港の香港丸で歸連したが、サロンに訪へば氏は語る

東京に於ける全國在鄕軍人聯合會は三、四、五の三日間九段偕交社で開催されたが

出席者 は八十名餘であつた、本年は別にこれといつて取立てゝいふ重大案はなかつたが我々の會は國防完備が全使命であるため目下英京ロンドンで開催中の軍縮會議全權委員に對し現在に於ける我國防上の見地から軍縮目的貫徹に對する決議をなし、全國在鄕軍人聯合會の名によつて電報を發した位だ、會議後僕は陸軍戸山學校に於ける十日の陸軍記念二十五年祝賀式に參列したが當日は天皇陛下の御臨幸を仰ぎ且つ秩父、高松兩宮殿下が

御揃ひ 遊ばし參列者一同感激おく能はな有い樣であつたまた式場には白髮、白鬚の老武士が多くこれ等は何れも二十五年前の日露戰爭に奮戰努力した連中で第一軍に從軍した僕も實に感慨無量であつた、日露戰爭當時に於ける司令官としての生存者は奧元帥一人であるが病軀のため參列の出來なかつたことは何れも惜しがつてゐた、餘興としての馬術、武道の天覽があつたがいつもながら勇ましく頗る盛況であつた

【參内の丁抹皇太子殿下】

丁抹皇儲殿下御入洛遊ばす

【京都二十三日發電】關西御遊覽の途につかせられたデンマーク皇太子殿下御一行は二十三日午前八時五分京都驛着御入洛、都ホテルに入らせられ十時半桃山御陵御參拜一旦御歸還更に午後一時ホテル御發嵐山に向はせられ京の春光を賞で後、修學院離宮を御覽あらせられた、午後六時より寺畔の細川侯別邸に於ける晩餐會に臨ませられ同夜神戸に向はせられ碇泊中のフィオニア號に御乘艦の

來朝した伊太利歌劇團

美人揃ひでお馴染の伊太利カーピ歌劇團の一行は二十三日午前十時半東京驛着入京、……を呈した。

映寫技師と館主の死體發見

公安局で死體を引渡さぬ 吉林の慘劇取調べ

伊東附近に又も強震

石垣が崩壞

若槻全權が一日の興に イギリス名物の狐狩り

萬國植民博覽會

明年巴里で開催する わが國で出品の準備を始む

埠頭の雜沓を物語る數字

定期船の出入港日に 水上署で交通の調査

學生觀察團けふ皮切り

小林中學來る

旅大釀造業者の清酒品評會開催

來る二十八日旅順で

沼田博士奇禍

國債償還獻金

滿鐵社員獻金

北平風展覽會

張宗昌氏入京

支那學生上海へ

兒童英語學院募生

滿日軍勝つ

樓擴大火

艶色生膽秘譚(60)

伊藤松雄作
河原塚龜太郎畫

異人館(四)

急激に鳴りわたつた鈴の音に、二人はギョッとして立すくむだ。と、女は聲も朗らかに笑つた。

「お驚きなさいますな、あれは旦那様が御用でお呼になる鈴で御座います、一寸お待ち下さいまし」

對手がひつこむと左近は無腰のまゝ、テレ臭さうに三藏を顧みた

「とかくかうした異國風には慣れぬで喃」

「逢つてくれるでせうな、あの阿魔め、刀をそのまゝ持つていつちまやアがつた」

三藏は隻脚を石階へのせたまゝ及び腰にのぞきこんでゐる。

眼が薄くらがりに慣れたせいか玄關正面の廣間がはつきりと見渡された。

處せまく並べたてられた調度は蘭川屋敷のそれと大差なかつたものゝ、何かからムウッとむせ返る香料が眩めくやうに感ぜられた。

しかも壁面には生けるが如き異國女の裸像が數へきれぬほどかけ並べてある。

女はなかなか戻つて來なかつた

遠く海鳴の音がきかれて、戸外は西陽がかげりはじめた。

「まだかな、どうなるとだらう」

「こいつア蘭川先生、ここにかくまはれて、お仙までが乙う納まつてるてえ……」

「そんなことはあるまいよ」

左近はかるく頭をふつて否定したが、三藏めの戯弄口にこそ一笑を以て酬ひはしたが、さて大川の夜めぐりあふた尼僧姿の女賊あれが果してお仙ならばと、いつか心の底に芽を吹きだした淡ひ戀心に蘭川との一條は心穏かにききながしは出來なかつたのである。

處へ女が三度出て來た。

「蘭川様の御行方をさがしにお出なさつたとやら承りまして、主人もお眼にかからうと申します。どうぞお上り下さいまし」

「おお、お逢ひ下さるか、それは忝じけない」

左近は三藏にめくばせするや、ズイと上つた。

「どうぞこちらへ」

通されたは玄關突當りの應接間、女が甲斐々々しくカラカラとひけば、窓の玻璃戸をいまで蔽つてゐた緋色のカアテンがまきあがつて薄暗かつた部屋内に夕陽がさつと流れこんだ。

と、壁面の裸像は愈々命をふつこまれた如くいまにも躍動せんばかりに生き生きと輝いた。

處へ、足音重く入つて來たはヴァンギーラその人であらう。

ゆつたりしたガウン姿で、白皙肥大の壯漢、血色美るはしい双頰ににこやかな微笑をたゝへてゐたが、その眼光は極めて鋭く、左近に、三藏にギリリとむけられた

「おゝ、私ヴァンギーラです」

日本語は極めて流暢明晰である

「申遲れました。それがしは浪々の武士宮川左近、これなるは作の三藏」

「おゝ、三藏さん知つてゐます、左近さん、あなた血卍組の」

「仰せの通り」

ヴァンギーラはホッとしたらしく二人に椅子を與へて、卓上の葉巻をおしすすめたのち、いきなり唇を開いた。

「蘭川さん、どうしてゐます？もう廿日近くも見えません、病氣ですか、それとも……」

「ああ！」

蘭川の行方をヴァンギーラにこそ訊ねやうと思つてゐたに先手をうたれて左近はハッと氣をのまれた形。

「蘭川さんどうしてゐます？」

ヴァンギーラは重ねて訊く。

新劇團の惱み(二)
實際と經驗から割り出して

五斗計器

次はメンバーを擧げて血の出る様な努力の問題である。之が即ち見ると當ると相違のある問題である、芝居は決して舞臺の様な華やかなものではない事が斷り判らなければならない。新劇團は何時如何なる場合でも俳優と宣傳部員と切符賣と舞臺裝置者と効果部員と出方と警察其他外部との交渉員と一切合切が同一人でなさねばならない、金がない以上仕方がない、稽古は忙しい警察は八釜敷い客は來るか來ないか判らない、等々々兎に角恐ろしく氣の揉めるものである。

殆ど不眠不休で身神共に痩せる思ひのするものである、いゝ氣持ちになつて芝居をしやうと考へて居た人達に此の努力が果して出來るだらうか。尤も全部が努力する決心があるなら單なる努力する事に依つて解決されるが内幾人かは無責任に俳優丈を勤め他の仕事は一切しない、結局萬事に心を使つて走り廻る者は責任者と外二三人と云ふ場合が多い。斯うなると努力する者は馬鹿々々しくなる、そして其處に起る問題はメンバー相互の不和である。感情問題である。然し新劇團にはどんな端役でも一人缺けたら問題である。俳優者に對して眞面目な幹部が注意乃至は喧嘩を仕かけ様にも「では止めさせて貰ふ」と云ふ事が恐ろしくて切り出せない。そして結果は千落ち許りの出鱈目の芝居となつてしまふのである。私は過去に於て斯うした經驗は上演毎に遭遇して隨分手を燒いた。だから私は上演となると一人で一生懸命奔走し過ぎた爲のぼせて必ず眼を惡くした全く自分は誠心誠意努力して居るのに不良分子がいゝ氣持ちになつて俳優氣取りで駄ボラを吹いて居るのは拳骨で撲りたい位癪なものだ、然し其處で喧嘩をしてはいけない事を幹部たるもの充分承知して置くべきだ。だから此の問題を避ける爲にも宣傳交渉等舞臺外の一切を他に委せる事の出來る所へ後援出演等を爲して練習するのは又賢明である。

次は人物不足と女優の問題である。一體一劇團にメンバー五十人以上と云ふ新劇團があるだらうか勿論ない。いゝ所三人位の出來る人と後は理窟屋と馬の脚七八人合計十二三人と云ふ所が普通だらう。これ丈の人數では一切合切の仕事と三幕位を上演して會費を取る事は難儀である。寧ろ不可能である。其處で現在東京では須田町の角に新劇聯盟事務所を置いて時々一幕宛の競演發表をなして居る。非常に確實な方法であるから金錢問題は決して起らない。そして可成りの成績を擧げて居る。女優の問題であるが苟新劇團に一流二流の女優が出演する事は金から云つても技倆から云つても全く不可能だ。素人の研究生を使ふより仕方がないが之とて少し上手になると必ずいゝ劇團に入つてしまふ。「女にすたり物はない」と云ふが此の邊にも適用出來る樣だ、宮部靜子や谷崎龍子、廣瀬澄子等ともやつた事もあるが一寸名が知れると中々云ふ事を聞かず新劇團に取つては寧ろ玄人より素人の方がいゝ場合もある新劇團の女優難は殆ど付き物の様に惱まされる事だ。

映畫と演劇

鎭海義捐の長唄會
廿七日夜開催

長唄紫竹會並に滿洲商業新報社主催で來る廿七日午後七時から大連ヤマトホテル大廣間に於て鎭海罹災者義捐長唄演奏會を開くが、出演者は二世望月久三郎師杵屋六紫及び紫竹會連中で會費は五十錢で當夜の番組は左の如し

▲元祿花見踊(唄)春枝、幾千代、桃千代、妙吉、ゑくぼ、福助、若吉(三絃)小文、胡蝶、すみ三、駒榮、秋子
▲靏鶴三番叟(唄)桃太郎、晋千代、小久、萬作(三絃)樂次、三千代、政次、久丸(囃子)小皷晋丸、同すみ三、同秋子、同ゑくぼ、大皷お鯉、太皷八千代子、同小文
▲五郎時致(唄)晋丸、喜多八、春枝(三絃)小文、駒榮、上調子八千代子(囃子)小皷三千代、同久丸、同小久、大皷樂次、太皷晋千代、同秋子
▲新曲惜しむ春(唄)千代次、桃太郎(三絃)晋丸、しん
▲傾城(唄)お鯉、千代次(三絃)晋千代、樂次
▲新曲浦島(唄)お鯉、桃太郎、千代次(三絃)杵屋六紫、晋千代すみ三(囃子)小皷二世望月久三郎、同三千代、同小文、大皷晋丸、太皷樂次、同八千代子

中川伊勢吉 圓千代と來演

浪曲全盛の大連にまた大阪親友派の元勳として自他共に許してゐる中川伊勢吉が女流浪界に名聲のある京山圓千代と合同して近く歌舞伎座に來演することになつた、圓熟の域に達した伊勢吉の藝と美聲で有名な圓千代の藝とで必ず好浪家の喝采を博するものと期待されてゐる

關屋敏子孃 けふ青島へ

旅大及び奉天に於ける獨唱會に出演した關屋敏子孃一行は今廿三日出帆の奉天丸で青島に向つたが、廿五日青島で獨唱會を開き天津に赴き卅日再び來連し卅一日出帆のはるびん丸で内地に歸り中國筋を巡演する豫定である

ラヂオ

大連 JQAK 三月廿四日午後七時

◇露語講座(第三十二課)大連語學校グロースマン
◇ハーモニカ(一)合奏バグダットの酋長(二)同磯節し(三)二重奏騎兵(四)合奏オーバーゼアー(五)森の鍛冶屋 指揮者廣瀬進、GDハーモニカソサイテー
◇箏曲(七郷落山田流箏曲)(半雲井調後曙くづし)箏渡邊晴溪、同伊集院夫人、同渡邊春子、尺八名和榮次郎
◇長唄(新曲浦島)快樂六紫會社中、唄お鯉、同桃太郎、同千代次、三味線杵屋六紫、同晋千代同すみ三、鳴物小皷二世望月久三郎、同三千代、同小文、大皷晋丸、太皷樂次、八千代子
◇萬歳(電氣數へ唄、電氣小唄)川田梅次一行
◇料理献立
◇天氣豫報

文藝

『太陽のない街』を觀た報告、其他

大内隆雄

1

左翼劇場の「太陽のない街」を見て來ました、御承知でせう原文は。プログラムを入れて置きますから御覽なさい。四幕十一場ですでも少しもダレない處は效果の上手な點ばかりでなく熱と意氣に有ると思ひました。劇中の人物と觀客とが區別ない程度に迄引入れるだけの熱のある演出でした。

觀客も熱心でした、そして大半は大學生です、中に東洋モスの女工職工が六十人來ていました。席はギッシリです。仕事を終つてそれから來る女工さん達六十人の席を取つて置く爲めに、他に立つて居る人に話す接待掛の人の言葉が——中程に少しの空席が有りますそれは仕事を終つて見に來る東洋モスの女工さん達六十人の席なんです、半分にも足りない處へ坐つて頂くんです、何うかその點許して頂きたいと思ひます——やさしいでせう、客も——異議なし——と答へていましたわ。

一人一人の批評はやめます、凡ての人が熱心に演出していました目立つて居たのは平野郁子、高橋豐子（築地）でした。

舞臺裝置、照明は相變らず實に緻密です。そして非難の點は有りません、暗轉暗轉で幕合は緊張の間に進んで行く、それなど劇と良く觀客の心理とを掴んで居ると思ひます。

2

こゝに敢て私信の一部をそのまゝに寫したのは、私一人でそれを秘めて置くに忍びなかつたからに外ならない。私は原作小說「太陽のない街」がどれだけこの殖民地で讀まれたかを知らぬ。またその脚本の載つた「世界の動き」がどれだけ賣れたかを知らぬ。——しかし、人は世の所謂劇評家が、その劇場のこの公演を成功だと言つたのを讀んだであらう。しかも出演者の大半は素人の小市民、勞働者であることを人は聞いたであらう。——前の手紙には觀客に大學生の多かつたことを言つてゐるがそれは土曜か日曜のマチネーであつたからかも知れない、しかしその劇場に浪打つた特殊な空氣は、容易にこの報告者に感受され、彼女を動かしたのだ。——何故に？人はそれを考ふべきであらう。

3

近着の大朝には、山本安英すらが意識的に進歩的な劇團に働くことの喜びを書いてゐる。——演劇は何處に行く？それは現代藝術の一角を占める我々の問題である。

大連の三つのアマチュア劇團はそれぞれにその活動を開始した。ラヂオも確に取り上げらるべき職場である。しかし、それが郊外の宏壯な住宅のアンテナに傳へられるにとゞまるならば、私達はそれを寂しいことに思ふ。

滿洲新劇場が（私もそのメムバアの一人だが）その公演に「ドモ又の死」を選んだことは、種々の條件を考へるとき、恐らくは最も當を得たものであると言へやう。災禍の後の日比谷で、大衆のために演ぜられた場合と、今度の特殊な集會の場合とはもとより異る。しかし私達は、惜みなく私達の働きの場所を求めたのだと言ひたい「この演劇行動に關する限り、私達はあくまでも私達の藝術を目指すのであつて、既成團體や、或る宗敎とは全く無關係である（三月十五日稿）

滿洲新劇運動に關し青木實氏へ

後藤計吉

青木實君が滿鐵の東京支社に居る人だと云ふ事を確めて私は青木君及青木君の書いた物を讀む人達に申上げなければならない。私は青木君の物を常に讀んで其の演劇に對する造詣に敬服して居た。而して其の見識を持ち乍ら何故積極的に新劇運動を起さないかを疑つて居た。所が事實上滿洲に現住する人でない以上到底不可能な事が判つたと同時に先週の本欄「小劇場運動に關する悲觀的一考察」を見て君の餘りに抽象的な餘りに優越的な論旨を反駁せずには居られない。

君は先づ新劇運動の行き方を精神的文化的生活を背景としたモガモボ氣分の行き方と、左翼劇場の云ひさうな物凄いプロレタリヤ演劇運動の夫と二ツの行き方より外にないと先で獨斷してゐる。之が東京の樣な土地だつたら或はそうだと私も肯定する。然し此處は滿洲だ君も其の特殊地域たるを認めて居られる樣に現代の新劇運動の流れ乃至傾向を直ちに滿洲へ當て箝める事が果して妥當だらうか。

伊藤松雄氏が主宰される町の劇場の存在意義を君は忘却して居られる。で滿洲を背影として生れた大連の新劇運動が鄕土藝術の立場からどんな色彩と效果を生み出すだらうかの考へを缺いで居る。大連の三劇團は各其處に一つの使命があると共に又、劇運動の初期に於て芝居の見方——民衆の——に對する指導機關の役割もなして居る、即ち講演會や新聞に依つて現在の劍劇に興味を持つ樣な民衆の低級な鑑識眼を高めて地分巡業の一流劇團に出鱈目な芝居をさせない、と云ふ所に仕事の一つがある。尙滿洲と云ふ名前から無味乾燥な此の土地に假令それが如何なる行き方であらうとも一つの潤ひを持たせる爲に芝居と云ふ娛樂物を提供しやうと云ふ所に又大きな目的もある。

青木君は常に滿洲の新劇團を餘りに大きく買ひかぶつて居る。その結果決して當箝まらない藝術論の抽象的な議論倒れとなり、結論に於て「大連市の三劇團に對して現在では餘り大きな期待を持てない」と優越的な悲觀說を出さねばならなくなる。

成程私も青木君と全く同樣な意見を持ち又事實劇團進出を勸誘されて馬鹿々々しさに長い間謝絶し續けた時代がある。然し文明國の思想を以つて野蠻人を律する事が出來やうか、赤んぼを見て、その子供の將來及現在にても期待が持てないと獨斷する事が許さるだらうか。私は悟つた、百の抽象論千の小理屈が何の役に立つか、時と場合に依つては自身舞臺にも立たうと決心して遂々新劇運動の渦中に捲き込まれてしまつた。そして私はそうでなければならぬと信じて居る。

青木君の所論は尙早である二十年も文化の相違した土地に假令それが眞實であつても如何にしてそれを受け入れる事が出來やうか。も少し後の時代には私も同樣議論したいと思つて居る。青木君が現代の新劇運動に於ける如何なる位置にある人か私は全く知らない。然し滿鐵支社に在る以上全然滿洲を知らない事はない筈だ、そしたら斯うした目先のきかぬ事もない筈だ。で私は抽象的悲觀論を冒頭に投げ與へられるよりも現在三劇團創生又は更生して互に自分の劇團が一番確かりして居るんだと罪のない競爭を續けて居る幼年期に當つて寧ろ、激勵の詞でも貰つた方がどれ丈效果的であるか分らないそしても兎に角永續せしめる事が大切だと思ふ。少くとも「線香花火の如く一時的に、果かなくも解散するに過ぎない」と皮肉くるは餘りに暴言だと思ふ。最後に私は君が本社詰を志望されて大連に轉勤の曉は新劇運動の渦中に飛び込まれて豐富な識見と卓絶して居るであらう技量に依り積極的にリードされん事を希望する。

星ケ浦行

召水

三月十九日午後、大每の石村老に伴はれて星ケ浦に遊ぶ。濤聲耳に懺しく、石村老の星ケ浦の美を我に誇るしきりなり、汀に佇み、松山にのぼり、しばらくにしてホテルの卓に倚る。偶々入り來れる二人連の支那紳士、それと殆ど同時にドヤドヤと入り來れる美しくも着飾れる十數人の女群。女群の擁せる賓客といふは洋裝あでやかに今ぞときめける關屋敏子孃。かの別なる卓の二人連の支那紳士は昔ときめける前國務總理潘復氏と五省聯盟の盟主たりし孫傳芳氏。しかも孫傳芳氏は石村老の舊知、潘復氏と余とは所謂北京時代の面識の間柄なるに、四者ゆかりなくもこゝに會せるを喜び、ひとつ卓を圍みて四方山の話に談笑しぬ。その昔、五省聯盟の采配を振りし頃は新聞記者の襲擊に日本語は話せぬと、とぼけおふせる孫傳芳氏の今日は、その巧なる日本語を使驅して石村老としきりに語るも面白し。やがて石村老と余とは別の卓に退き、彼岸の海を前に、紅茶をすゝりて子規の句など語る。

石村

午過ぎの山にのぼるや春淋し

召水

松山に海の風聽く彼岸かな

大和町、石本邸に寄寓して（二階の窓から）

春曉や山の拳の五つ六つ

彌生池の夕べ

山の日の池に映るや春かなし

昨日を揚棄して明日のシネマへ

キノ・キイとアヴアンガルド （三）

大庭武年

以上で我々はシネマの「昨日」と「今日」とを檢討した。さればシネマの「明日」とは如何なるものであるか？

我々はシネマに於ても辯證法的に生成發展を考へる。未だ藝術的には第一段的過程であつた「明日」のシネマに對して「今日」のシネマはとりもなほさずテーゼに對するアンチ・テーゼの位置にあると考へられ得よう。即ち我々には茲に「昨日」の揚棄が考へられそして「明日」のシネマの出現が信ぜられるのである。そしてそれが決して空論でない事は、既に先覺者なる一部シネアストの手に依つてロシアに於てはキノキイが、フランスを中心としてはフイルム・アヴアンガルドが、シネマに於ける新しき存在を主張しつゝある事に依つて實證されてゐるのである。

此れ等新しきフイルムは、過去のフイルムからは著るしく蟬脫し乃至は甚だしく變貌してゐる。然し乍ら過去を母胎としその過去の正しきエスプリを受け繼いでゐる事は明らかな事實であり、換言せば、一層強くシネマのエスプリを掌握して來てゐるものと言ひ得られるのである。我々は將しくここに「昨日」の揚棄された姿を見るのである。そしてこれこそ我々純粹シネ・ファンが期待すべき「明日」のシネマでなければならぬと考へる。

然らば、平易に言つて、キノ・キイとは如何なるものか、フイルム・アヴアンガルドとは如何なるものであるか——。

一體シネマの表現能力には敍事的寫實性と樣式的感覺性の二つがある事は誰れにでも認識される事であらう。即ち前者はストオリイを形づくり、後者は所謂映畫美なるものを形成する。此の二つが漠然と無自覺的にミクストされてゐたものが從來のフイルムであるがそれがシネマの本質探求運動に依つて、闡然と分析され各々は各自獨特の方面にその特性を驅揚するに到つたのである。即ち、シネ藝術を敍事的寫實性のラインに沿ふて押しつめて行つたものがジガ・ヴエルトフ一派の主張する「超藝術的實寫映畫」即ちキノ・キイであり、その反對に樣式的感覺性の上に極端に尖鋭化したものがルネクレエル一派の「絕對藝術的映畫乃至純粹藝術的映畫」と稱さるゝフイルム・アヴアンガルドなのである。

ルドルフ・クルツに從へば、兩者は次の如く說明される。

「——キノ・キイにあつては、シネマは、事實の工場、事實の撮影、事實の分類、事實の擴張事實に依る感激、事實に依る宣傳、事實の拳、シネ妖術への反射、シネマの虛僞への反射である。…（云々）」

フイルム・アヴアンガルドに就ては——。

「——心理的拘束からの解放を根本的に推し進めて行けば總ての個性的な自然の形象の最後の痕跡も抹殺され、たゞその數學的の形のみが殘留すべきである何となれば數學は「無拘束なること」の主觀的形式なのであるから、これが絕對藝術の立場である。斯の如き「絕對藝術」の上に立つた「絕對映畫」にあつては、從つて物語りも筋も事件も又因習的な人間も現れて來ない。自然を根本的に排除するのを原理としてゐる故、總て歷史的な世界を顯現するものが悉く拒否されてゐるのである。そして幾何學上の形狀が相互關係をし乍ら現れて來、そのコンポジションの中に精神的なもののドラマが行はれるのである。……（云々）」

此の說明文は甚だ難解であるが二三回の反讀によつてその意味を汲取され度い。

要するに、キノ・キイは巧なるモンタアヂュに依る實寫映畫であり然もそれに注ぎ込まれたイデオロギイは異常な藝術的迫眞力を以て觀客の胸にアッピールするのである。一言にして言ふならば、キノ・キイはシネ藝術のメカニズムと社會的イデオロギイの完全なる一元化であると言ひ得よう。殘念ながら我々はキノ・キイの一篇にすら接し得られないけれどレニングラードに於ける勞農國立映畫會社「ソフキノ・ファブリカ」に働らく天才的映畫勞働者エイゼンシュテイン、又はプドウフキン等の手に依る「戰艦ポチエムキン」が、「母」が、又は「マルクス資本論」の映畫化が、如何に驚嘆すべき「明日」のシネマであるか、それは噂に依っても察するに難くないのである。（續く）

附記——勞農映畫に就ては參考書の整理を俟つて改めて稿を起す事にする。茲では簡單に有名な二三映畫名を擧げて、大體どのやうな內容のものがキノ・キイとして製作されてゐるか示して置かう。即ち前記の外に「全線」農村經濟振興を主題とする經濟實寫映畫（エイゼンシュテイン）「トゥルクシブ」鐵道建設を主題とする經濟實習映畫（トゥリン）「帝國の破片」ソヴエット十年の建國（エルムレル）「十月」十月革命の記錄等々のものがあるやうである。

ラヂオ露語講座

大連放送局三月二十四日午後七時半

講師大連語學校グロースマン

第三十二課

ТРИДЦАТЬ ВТОРОЙ УРОК.

(Продолжение разговор на почте).

А.—Пожалуйста, дайте мне три десятикопеечных марки и две семикопеечных.
Скажите пожалуйста, имеются ли у вас открытки.

Чиновник.—Конечно, имеются.

А.—Сколько оне стоят.

Чиновник.—Полторы копейки каждая.

А.—А где у вас принимаются телеграммы.

Ч.—Телеграммы принимаются в следующей комнате-дверь направо.

А.—Скажите пожалуйста, где я могу получить бланки для телеграмм.

Ч.—Бланки имеются вот на том столе

А.—Скажите пожалуйста, вы принимаете телеграммы в Москву.

Ч.—Да, с сегодняшняго дня мы принимаем телеграммы до Москвы.

А.—Сколько стоит туда телеграмма.

Ч.—Каждое слово стоит 10 копеек и плюс 15 копеек за бланк.

第三十二課

（郵便局ニテ會話續キ）

A.—何ウゾ私ニ十錢ノ切手三枚ト七錢ノヲ二枚下サイ。
何ウゾ言ツテ下サイ，貴方ノ處ニ葉書ガアリマスカ？

局員.—勿論アリマス。

A.—ソレハ如何程デスカ？

局員.—一枚一錢五厘デス。

A.—貴方ノ處デハ電報ハ何處デ受付マスカ？

局員.—電報ハ次ノ部屋デ受付ケマス—右ノ方ノ戶口デス。

A.—何ウゾ言ツテ下サイ，電報ノ用箋（賴信紙）ハ何處デ戴ケマスカ？

局員.—用箋ハソレアノ机ノ上ニ在リマス。

A.—何ウゾ言ツテ下サイ，貴方達ハモスコーヘノ電報ヲ受付ケマスカ？

局員.—ハイ，吾々ハ今日カラモスコー迄電報ヲ受付ケマス。

A.—アソコハ電報ハ如何程デスカ？

局員.—毎一語十錢ソレニ用箋ニ對スル十五錢ヲ加ヘマス。

中央公論

春季特大號 奉仕價八十錢 郵税四錢

十九日發賣 東京丸ビル五階 中央公論社

◇白刃をくぐる總選擧

落選記錄

- ◇選擧闘爭の跡を顧みて……河上肇
- ◇敗戰を語る……加藤勘十
- ◇選擧心理の大涙……内ヶ崎作三郎
- ◇「長老組」の合同運動……堺利彦
- ◇足尾を死守して……麻生久
- ◇選擧後の感想……安部磯雄
- ◇敗戰の跡を顧みて……島中雄三
- ……淺原健三

選擧闘爭から議會闘爭へ……大山郁夫

◇第二普選の勝者と敗者……山川均

- ◇金解禁後の日本農村の特殊貧困……稻村隆一
- ◇東洋社會黨新考……田中惣五郎

打倒官製青年團……大宅壯一

大民政黨論……馬場恒吾

- ◇中學校は自殺する……原田實
- ◇歌舞伎左翼俳優の大幹部裁斷錄……小納戸容
- ◇黑船・えびそおど……春海宏
- ◇銀碗盛雪……武林無想庵
- ◇現代就職希望者氣質
  - ◇線が細い
  - ◇健康が蝕まる
  - ◇暗い氣分
  - ◇就職難緩和の道
  - ……堤長述・美土路昌一・鈴木重成・五十嵐直三
- ◇アヹ・マリア……丸木砂土
- ◇娼妓自廢九百八十七人……沖野岩三郎
- ◇文藝時評……正宗白鳥

◇亞米利加發見……柳澤健

◇アメリカ通信・軍縮時代の劇の展開……清澤冽

・歌舞伎王國の落城……佐々木孝丸

- ◇男性罵倒錄……平林たい子
- ◇トンネル工事の話……宇野木忠
- ◇新大東京の顏……上司小劍
- フイルムトリック……堀野正雄

- ・世界怪奇實話 浴槽の花嫁……牧逸馬
- ◇小説 巷路過程……細田源吉
- ◇小説 手に霜燒のした女……廣津和郎
- ◇小説 勞働日記と靴……鹿地亘
- ◇長篇小説 夜明け前……島崎藤村
- ◇長篇小説 大陸……谷讓次
- ◇小説 一步前進二步退却……金子洋文

世界關税政策の動向……笠信太郎

・資本論民衆化の完成……大塚金之助

長篇三人全集

現代長篇小説全集第二回

長篇文壇を三分して鼎立の勢を成し、現下大衆興味の中心たる三氏の合同全集は出た。此の二十有餘の傑作の中には人情も世相も心理の機微も社會の諸問題も描き盡くされてゐる。あらゆる家庭に送くる可き社會讀本はこれだ。あらゆる男女に安心して薦むべき戀愛讀本はこれだ。

中村武羅夫　加藤武雄　三上於菟吉

二十二雄篇の内容

- 第一卷■地靈 戀愛時代 結婚時代 中村武羅夫
- 第二卷■沈默の塔 加藤武雄
- 同■春遠からず 加藤武雄
- 第三卷■麗人 三上於菟吉
- 同■惱める魂 三上於菟吉
- 第四卷■青春 中村武羅夫
- 第五卷■銀の鞭 加藤武雄
- 同■野茨 加藤武雄
- 第六卷■美玉 三上於菟吉
- 同■情火 三上於菟吉
- 第七卷■青春狂想曲 中村武羅夫
- 同■戀愛行進曲 中村武羅夫
- 第八卷■秋夕夢 加藤武雄
- 同■無憂樹 加藤武雄
- 第九卷■見果てぬ夢 三上於菟吉
- 同■銀座事件 三上於菟吉
- 第十卷■美貌 中村武羅夫
- 同■靜かなる曙 中村武羅夫
- 十一卷■白虹 加藤武雄
- 同■聖杯 加藤武雄
- 十二卷■炎を踏む女 三上於菟吉
- 同■戀と地獄 三上於菟吉

第一次刊行 十二卷 四六判總洋布上製 紙數五百頁以上 毎月一册づゝ刊行

三作家讃 西條八十

一册 壹圓 申込金不要 内容見本進呈

第一回配本出來

中村武羅夫著 (卷頭彩色畫 伊東深水氏)

地靈 戀愛時代 結婚時代

「地靈」一篇こそは、作者の心血を注いだ大長篇小説で、大衆的興味豐かなものであるが而も嚴正な藝術家としての氣魄と心魂とが打ち込まれてゐる。純情無垢、聰明にして智的な近代的女性の明子を女主人公として、處女としての、妻としての、母としての——この三つの時代に亙る女性の受難史を描いて、男女道徳の不合理を天下に訴へた大作。

増刷出來

本全集の作品は未だ一度も出版された事の無い傑作ばかりである。もぎたての果物のやうな新作、まだインキの香のするやうな新作で滿たされてゐる。

本全集の刊行中、三氏は他から單行本として小説を出版されない。今後本全集によらずして、三氏の新刊小説に接する事は出來ない。

東京牛込矢來町 振替東京八五六四 新潮社

社說

利權と瀆職
社會正義のため紏彈を望む

明るく、正しき政治を標榜する所の濱口內閣は、昨夏組閣以來、社會の裏面に潛在せる、總ゆる不正、邪惡の剔抉に努め、現に司直において審理中のもの少くない。曰く賣勳事件、曰く越鐵事件等は代表的疑獄事件である。斯くの如き幾多の不正の檢擧されるとは政界、財界の革正に至大の好影響を及ぼすのみならず、不正は必らず制裁を加へらるゝものであるといふ活敎訓を一般社會に與ふるもので、吾人は双手を擧げて、司直府の嚴正なる裁斷を歡び迎へる者である。殊に最近關東廳の司法當局も亦、關東州內において行はれたる不正事實の摘發に努力しつゝあるは、在滿邦人の堅實なる發展を期する上に、最も效果的なる處置であり、同時に社會正義の確保さるゝは、誠に感謝に堪へぬ。

◇

從來在滿邦人中には不正手段により利慾を貪る、所謂利權屋が多いといはれ、また實際において不當なる利權を獲得せる者あるは、幾多實例に乏しくないのである。この利權屋の跋扈は、正しき社會人に不快の念を與へ、且つその活動、發展を妨害し、更に正しき者をも誘惑する危險を伴ふこと往々あり、識者の常に深憂する所である。殊に對支、對露關係密接なる滿洲において、不正が行はるゝことは、邦人の對外的信用を傷つけること甚しく、その影響の甚大なることといふ迄もない。

◇

何故に滿洲において、不正なる利權運動が行はれるか。それはその環境に、運動の目的物の多きによること勿論であるが、其半面においては、容易に利權を與ふる所の不正なる當事者が居るためであつたともいひ得られる。即ち如何に巧妙なる運動が行はれるとしても、苟くも當事者の意思にして堅固であるならば、不正不純なる目的は達し得られるものではない。されば利權運動の行はれる餘地を與へる當事者もその責を負ふべきは當然である。目下檢擧中に在る官有地拂下乃至貸下に絡まる不正事件摘發によつて、當事者が假借なく制裁されることは、綱紀肅正上好結果を齎らすべきを信じて疑はぬ。

◇

近時何故に官公吏の瀆職事件多きか。それは物質文明の餘弊として、一定の收入によつて衣食し得るに拘はらず、淸貧に甘んずる能はず、富豪の奢侈を羨望のあまり、身分不相應の虛榮心に驅られて、昨日の君子、今日變じて諂詐の瀆職を敢てし、師直、九太夫となるのである。世に師直、九太夫を以て、武士魂なく、商人魂ありと評する者あるも、そは淺見の至りで下等なる武士魂はあるも、商人魂などは毫末も持ち合せてゐない。商人には高潔なる商人魂がある。利を求めるを職分とする純良なる商人は取引に當つて、厘毛の損得を爭ふと雖も、それは正當なる方法を以て、報酬を得やうといふので、邪なる方法を以て不勢の利得を取らんとするものではない。彼の商業都市には瀆職事件起らずと大阪商人が自負する所以は、生れながらにして、損得の觀念を有しながらにして、不勢利得を卑しむがために外ならぬ。されば官公吏にして利得を念とすれば、須らくその地位を去つて、天秤を擔ぎ、前垂姿となるべしである。官公吏たる者天分を自ら認識するならば、淸貧に甘んじ高潔なる人格者たるべきではないか。

◇

斯く內省し得ずして、利權屋に乘ぜしめ、不當利得を恣にする者に對して、法律の制裁が加へらるゝは當然である。近年宗敎がそのもてる信仰の力を失ひ、敎育がそのもてる道義的精神の發揮が阻止され、總ゆる社會現象の上に、モンマニズムが力強く働きかける時たゞ一つ吾等の信賴するは法律の力による制裁である。吾等は關東廳司直府が社會正義を基調として斷々乎として、總ゆる不正に剔抉のメスを揮ふに對し、衷心贊意を表するものである。

愈よ露支正式會議は四月中旬露都で開催か
南京政府の權限擴張の命令で莫氏がメ氏に提議

【ハルピン特電廿三日發】幾度か正式會議開催を傳へられたるもその都度露支兩國の會議範圍に關する主張の相違から行惱みを生じ最近にはモスコー政府の莫全權忌避により全くデッドロックに乘り上げたかに觀られてゐた露支正式會議は其後南京政府が莫全權に對して東鐵問題以外の廣汎な範圍に亘る商議の權限を附與する旨命令を發したので勞農側でも漸く莫德惠氏の入露を承認する迄に態度を改めるに至つたもの〻如くで廿二日莫全權は南京の命令に基きハルピン勞農總領事メリニコフ氏を訪問し四月中旬モスコーに於て正式會議の開催方を希望すると共に、廣汎な範圍に亘る露支兩國協議を行はんことを提議したるに對し、メリニコフ氏はモスコー政府に對して正式に通告回訓を仰いだ、斯て永らく露支兩國間に低迷してゐた暗雲も漸く一掃されんとするに至つたが支那側の同會議に對する腹案はハバロフスク協定を基礎として東鐵問題を協議し、政治、外交兩問題の協定は二ケ月後モスコー又はハルピンに於て第二次正式會議を開催し幾多多年の懸案たる國交恢復、通商條約問題を協議せんとするもので當地駐在各國外交界に於ては今回の露支關係の俄然好轉せんとするに對し非常なセンセーションを捲き起してゐる

政府の回訓軟化は對內外的にも困難
政府部內の一部で唱へてゐる七割拋棄は不可能

【東京廿三日發電】若槻全權に對する回訓內容につき政府部內一部には外交技術的立場より七割主張を拋棄して去る十三日アメリカの提示せる案に折り合ふべしとの軟論を唱ふるものが現はれたが、元來八吋巡洋艦總括七割、潛水艦現有勢力保持の二大原則を含む補助艦總括七割主張は既に一度閣議の決定を經、更に上奏の手續を執つた上全權に對する訓令に明記したものであるのみならず若槻全權は渡英の途次屢次之れを聲明し去る二月十七日の日英米三國首席全權會議に於ても飽くまで强硬に主張してゐるので今之れを變更する時は政府自身對內的に苦境に陷るは勿論若槻全權の面目は地に墜ち更に軍令部にては强硬に之れに反對を表明すべく斯て政府の回訓に對する態度如何に依つて對內的にも對外的にも事態愈々重大となるものと見られてゐる

ブリアン全權が來週中頃ロンドンへ

【ロンドン廿二日發電】佛主席全權タルヂユ氏のロンドン行は軍縮會議の形勢が氏の出席に依り有望となる見極めが付かぬ限り之を見合せるに決し其の代りブリアン氏が來週火曜又は水曜頃ロンドンへ出掛けることゝならうと

特別會計新規事業公債發行

【東京廿二日發電】大藏省發表＝政府は今回昭和四年度に屬する各特別會計新規事業公債の發行未濟額合計三千五十萬圓を發行した右は全部預金部引受けにてその要項左の如し

名稱　五分利公債(第一回)
發行額面　三千五十萬圓
內譯
一、鐵道會計法第二條に依るもの二千四百萬圓
一、朝鮮事業公債法第一條に依るもの三百五十萬圓
一、臺灣事業公債法第一條に依るもの二百五十萬圓
一、關東州事業公債法第一條に依るもの五十萬圓
發行價格額面　百圓につき九十一圓二十五錢
償還期限　昭和九年迄五年据置き同十年より五十年內
利率　年五分
發行日　三月二十二日
利廻り步合　單利　五、六五五分　複利　五、五〇分

政友會が見た「國產品獎勵策」

【東京二十三日發電】政府が二十二日の閣議にて決定した國產品獎勵方策に對し政友會は
政府の緊急政策は行詰り金解禁後の財界對策と云ひ、失業者の救濟策といひ、全く無爲無策の現內閣としては國產品獎勵等でお茶を濁すの外はあるまい、然し國民の消費力を增大させない國產品獎勵は何等の意味を爲さない
と批評してゐる

近く隴海線で戰端を開く
韓復渠軍を挾擊して既に前哨戰開始さる

【北平二十三日發電】馮玉祥氏は韓復渠氏の中央加擔明白となるや先づ河南東部の孫殿英と連絡隴海線の障害たる韓軍の攻擊を爲さしめ一方石友三軍にも連絡し鄭州に向軍は鄭州より、孫楚軍は大名方面より韓軍を挾擊するに決した斯くて十九日以來開封東部で孫、韓兩軍の前哨戰が開始されて居り之を機に愈々隴海線にて中央對反蔣軍の戰端が開始される模樣である

蔣介石氏長江巡閲の目的

【北平二十二日發電】軍事專門家の說によれば蔣介石氏今回の長江巡閲は閻錫山氏を中心とする反蔣團結意外に鞏固なるを知り、自己勢力の基礎を固め目下の蔣閻關係は單なる南北戰爭に非ず國民黨對地方反動軍閥の戰爭であるといふ事を宣傳するにありといはれてゐる

鎭江要塞檢閲

【寧波二十三日發電】蔣介石氏は二十二日午前八時軍艦楚泰にて鎭江に到着要塞を檢閲後午後十時汽車にて夫人宋美齡、陳海軍次長、副官等十數名を伴ひ鄕里奉化に向つた、奉化には二、三日滯在展墓を爲し當地より海路上海に歸り上る

震手問題は進展の模樣なし
遂ひに確證が纏らず隅田麥酒重役を釋放

【東京二十三日發電】二十二日遂に釋放された帝國ビール取締役隅田伊賀彥氏に就ては同日右に先立ち元同會社經理部長福井甚吉氏を東京檢事局にて取調べ又數日前には同會社の親會社たる鈴木商店の支配人金子直吉氏の調書をも取つて全力を擧げ隅田氏の證據固めに努めたが、遂に確證纏まらず隅田氏の釋放となつたもので斯て例の震災手形問題も今後新たな材料を握らぬ限り今の處急速に進展の模樣はない

南京代表赴奉す
宋諮議と共に

南京政府代表吳鐵城氏は張學良氏の密命を帶び南京政府を訪問したが、二十三日入港の榊丸で南京政府代表吳鐵民氏と相攜え來連、二十一時三十發列車にて赴奉した船中宋氏は口を緘して語らざるも現下中華民國のため和平統一のため努力すると洩らした點からまた商人と僞名乘船してゐる南京政府代表吳鐵民氏の赴奉等から押して蔣介石氏と張學良氏との間には一脈の連絡がありはせぬかと見られ、閻、閻兩氏の討蔣宣傳の流布される今日吳氏赴奉は相當興味あるものとして觀測されてゐる

宋諮議は過般來張學良氏の密令を帶び南京に在りて軍費調達につき財界と折衝の豫定である

黑パン？痛飲？
馮玉祥軍の士氣振ふに反して一向に煮へ切らない閻錫山軍
南北開戰は廿五日頃

◇…馮、閻兩氏の約成りて分袂する太原城外の朝、馮玉祥氏は堅く閻錫山氏の手を握り――事成れば南京にて痛飲せむ成らざれば甘肅の山居に黑パンを嚙じらむ――と悲壯な決心を示したが閻氏は笑つて之に答へなかつたとの秘話が最近太原から歸つた人より洩らされたので、馮玉祥派の人々は狂喜してその堅き決心を讃へ既に南京城を取つたやうに喜んでゐる

◇…その眞僞は保證の限りではないが事實馮玉祥氏及びその全軍の今回の士氣は凄いもので、黑パンか痛飲かの岐るゝところまで去る十五日通電を發して以來非常な勢ひで東進を開始し、二十一日には早くも孫良誠軍は鄭州に到着したといふ、十五、六萬の大兵が動くのだからなほ戰爭を見るには時日を要するであらうがこれに反して閻錫山氏及び山西軍の態度は依然首鼠兩端の觀を呈し馮玉祥軍の進出を疑つてゐるかのやうに見へる

◇…即ち李生達軍を滄州に、傅作義軍を河間に、而して平漢線には張蔭梧軍を正定に、楊効歐軍を石家庄に、張會紹、孫楚軍を順德一帶に駐めてゐるも防備線を馬廠、河間、石家庄の線に張り塹壕を築いてゐるだけで眞實に進出した場合の馮玉祥軍と協同作戰するのが疑はしいやうな陣容を立てゝゐる、これが爲め馮玉祥派では切齒扼腕して苦情を並べると同時に「若し今回もまた馮玉祥軍をして河南に傷つかしむるならば直ちに退却して歸途山西を襲はむのみ」と豪語せしめつゝある

◇…一方中央軍では馮玉祥氏愈よ再起したことを知つてから急に作戰を改め山東に防戰し、これを右翼據點としてその擁護の下に隴海線から一擧に鄭州を攻めむといふ姿勢を取り陳調元軍を濟南に、顧祝同、王均、陳誠軍を兗州、泰安一帶に集中し、而して約十一、二萬の大軍を徐州より西進せしめつゝある

◇…かくて濟寧、濟南は兩軍の要點となつたが、山西軍の陣容が前記の如くで反蔣側は甚だ心細いとは某軍事通の觀測である、これについて山西派では中央軍の作戰は津浦線より天津を、平漢線より北平を、併進して攻略するものと認められるを以て隴海線にて馬廠附近まで誘引し平漢線にて其左翼を擊破する方針であるる兩軍の開戰は二十五日ごろであらうと語つてゐる【天津特電二十三日發】

中學校卒業生の志望傾向が變る
實業專門校入學が全盛　殊に工專が激增

知識階級の失業は益々深刻化し先般內務省に於いて調査せるところに據ると、知識階級の失業者は全調査人口の五・五パーセントを示し而も近來大學專門學校の卒業生の就職する者は平均して僅々二割弱といふ有樣でその給料も四十圓そこ〳〵なのでこの實狀が漸く一般青年學生の胸裡にも泌み込んで來たものか當地中學卒業生の上級學校志望傾向の上にも著るしく表はれて來た、卽ち大連第二中學校大正十五年の卒業者の內高等學校大學豫科を志望せる者全體の五割あつたに比し本年卒業生の同上志望者は三割といふ減少で一中も略之と變りないが、大部分は實業專門學校を望み尙且學校を選ぶにも卒業後の就職成績を第一の考慮に入れて志望を決定する有樣で昔に比べて青年學生の頭も隨分變つて來たが、之も學校卒業者の就職難が彼等の頭に深く反映した結果であらうと云はれてゐる、尙又四、五年前迄は當地中學卒業生から比較的志望者の少かつた南滿工專が斷然增加したのは學費の關係から負擔の少くて濟む土地の學校を選ぶ樣になつたものである、試みに大正十五年及び本年の二中卒業生の志望上級學校數を比較例示せば左の如くである

	大正十五年	本年
高等學校	一五	一八
奉天醫大豫科	一	四
旅順工大豫科	四	五
京都府立醫大豫科	〇	三
北海道大學豫科	〇	一
私立大學豫科	一	三
高等商業學校	三	一七
高等工業學校	一	八
高等農林學校	〇	六
敎育專門學校	三	八
南滿洲工業專門學校	二	一八
醫學專門學校	二	三
鐵道敎習所	〇	二
其他專門學校	六	八
計	三八	一〇四

建設時代回顧 【二】
社員會編纂『滿鐵側面史』打合せ

丘　色々な方面のお話が多くあると思ひますが、存外斯ういふことを澤山聽き込んで居る人は僧侶に多い戰爭後も此方に來て居りますが、西本願寺の人達は各方面に始終行つて居りますし僧侶は極閑ですから自然材料も多いと思ひます。京都の西本願寺に前田君と云ふ滿洲に始めから關係のあつた人が滿洲會と云ふものを作つて居りまして、春秋に會を開いて滿洲の新しい人もありませうが最も古い人を招ぶと云ふことにして居ります。此の滿洲會に行つて斯う云ふ趣旨であると云ふことを話したら各方面の存外人の知らないことがありはせぬかと思ひます。又極古い人から聞いたことで面白い話が思ひ出されることがあるかも知れぬと思ひます。若し必要なら御紹介しても宜いと思ひます。

保々　是非一つ何か書いて戴ければ非常に結構だと思ひます。

貝瀨　今日のお催しは非常に結構なことですが、場面が非常に廣い、今迄昔話しを文化協會等でも二、三度やり、我々も技術の立場から電氣創業時代の座談會をやつたが、一寸した一つの問題でも種が澤山ある、それを何う云ふやうにやられるか、此の間一寸城所さんにお話したのは一般的だと思ひますが、各方面に依つてはそれ〴〵又人があります。それを何う云ふやうにやられるかゞ第一の問題と思ひます。

保々　要するに十年史、二十年史に書いてあるやうなことは皆拔かして、何と云ひますか、逸話式のやうなものを集めたいのですが……

貝瀨　それは隨分ありますよ、例へば貴下の言葉を藉りて言へば社會的の地位の低い人でもと云ふことになると隨分面白い種がある、其の部門を何ういふやうにされるかといふことが問題だと思ひます。

保々　實はシステムを極めて貰はぬと餘り場合が廣いだと思ひます。先づシステムを決めて貰はぬと餘り場合が廣いので困ると思ひます。

保々　實はシステム迄お智惠を借りたいと思つて居るのです。非常に滂浩なものになつても效果がない、面白さうなものだけを二、三百頁の普通の少さい本位に纏まる位になれば非常に結構だと思ひます。

中村　本にされる積りですか。

保々　究極は本にでもしたいと思つて居ります。會社の費用で出しても宜いと云ふ話です。

上村　本になるとしても何處から材料が出たと云ふやうなことは考慮に入れないで、その邊は編纂者に委して頂きたいと思ひます。

保々　要するに斯う云ふことにしたら如何ですか、出來るだけ紹介して頂いて、此方の方で面白くないと云ふやうなのはお斷りすることにすると云ふことにしては……二萬の社員に面白く讀ませようと云ふには出來るだけ面白いものが宜い、此の間の濱町の女のは少し非道いかも知れぬが、面白いことは面白い、僕はあれを一向猥褻には感じない、面白く感じた。

貝瀨　此の前「協和」で昔話を載せた時に田村さんから聞かされたが隨分種があるらしい。

藤田　こゝにお集りの方以外の所へ話を聞きに行かれると云ふのですか。

保々　此方の人ならば城所君に行つて貰つても宜いが、出來れば梗概だけでも書いて貰へれば非常に結構だと思ひます。

田村　東京のやうな所は東京支社の速記の出來る者でも向ふの都合の宜い時に差し向けるやうにでもしなければ、書けと云はれると一寸困るだらう。

上村　東京支社の方では社友會と云ふのが出來て居りますからその方にでも交涉してみませうか。

田村　兎に角速記する者でも差し出すと云ふ位にしないと却々集らないと思ふ。

藤根　誰それは斯う云ふことを知つて居る筈だ、あの人に聞けば斯う云ふことが解るだらうと云ふやうな人をけふ集つた人に聞かして頂いたら如何です。

保々　それです、それさへ解れば書にやつても、又編纂者な人なら書いて貰ふと云ふことも出來るのですから……

丘　時代は何時頃からですか、隨分古い話も出ると思ひますが

竹中　別に三十七、八年以後とヘツキリしないで、其の前のことも幾つか入つても妨げないでせう。

田村　古い方が値打がある。

竹中　三十七、八年以前の話が十か二十あつても宜い、古い日淸戰爭時代の話でも面白いのがあれば……

小野木　名前は何と付けますか。

保々　「滿鐵側面史」と云ふと關東軍の軍のことは何うすると云ふやうなことになるから、そこは後から、集つたものを見て適當に付けられると思ひます、要するに滿洲がこんなになるには先人がこんなに苦勞したものだといふ感じを興へさせたい、だから名前は先人苦心談でも何でも宜い。

田村　今日集つた人から片つ端から話を伺つて行けば自然と人のこと等も出て來ると思ふ。

敬老の喜の字祝ひ

本紙創刊廿五周年並びに社屋新築落成記念事業の一つとして設置された「社會奉仕部」では先きに發表した通り第一回の事業として「在滿陸海軍諸部隊及び警察團への慰安娛樂器具寄贈」の計畫と共に滿蒙開發の第一線に活動し、又は子弟を激勵しつゝある高齡者の意氣を尊敬する意味に於て在滿邦人にして本年六月を以て七十七歲以上の高齡者に對し「喜の字祝ひ」に因み記念品を贈り表彰する事になつた。高齡者又は高齡者を御存じの方は左の規定によつてお知らせ願ひたい

尙御知らせあつた高齡者には官憲に依賴し調査の上記念品を贈呈する

樣式　高齡者最近の寫眞一葉、但し裏面又は別紙に姓名、生年月日、原籍地及び現住所を明記せるものを添へて差出す事
締切　本年六月末日迄
宛名　滿洲日報社々會奉仕部

昭和五年三月　**滿洲日報社**

大汽社長歸連
青島上海から

安田大連汽船社長は島田總務課長同伴の上青島、上海の各支店を視察中であつたが廿三日入港の榊丸にて歸連した、同船に訪へば語る
着任後未だ廻つてもゐなかつたし、また廻る必要もなかつたけれども今度廻る必要になつたから廻つたまでのことだが、何も皆シッカリやつてるよ、然し僕は今後更に勉强するよういふて來た、近くまた天津の支店にも行く筈だ、店のことのほかなことは一切何も見て來なかつた、また出來るだけ人と會ふこともさけたから何等土產話もない

安眠子

昭和製鋼所州內設置期成同盟會より上京し東奔西走の忙中に閑を得て大に若返り意氣揚々歸つて來た立川老に▲上京中面白い收穫でもなかつたですか――と訊くと「ソリヤ君大いに有りさ」と例の頤髯を撫でながら得意滿面▲丁度惠比須さまを砂糖漬にしたやうに機嫌頗るうるはしかつたが誰かゞ「罰だ、罰だ、老人れ〳〵」と云つたので▲折角の甘い陶醉を滅茶苦茶に破られた老人怒るまい事か顏面忽ち朱を濺いで「君等は俺の艶聞を惡う言ふのだらうソンナ事を何う言ふ奴は俺を嘲罵してゐる侮辱してゐるんだ」とプン〳〵▲立石市議取りなしに「立川さん、東京の女は何うですか」と際遊辯を鷄うして伺ひを立てると「俺に女をきくのはクリストに酒の味をきくのと同じことだ」と相變らずプン〳〵▲若草山觀測所の天氣豫報は晴れ後ち雨―でなかつたのに

本日廳報及廳報附錄を添ふ

更生の都大路を けふ聖上の御巡幸

東京市民の胸は喜に高鳴り 輝きに滿つ復興祭

【東京二十三日發電】七ヶ年の忍苦と七億の財寶を捧げて築き上られた大東京市の復興祭に 聖上陛下には鹵簿肅々親く更生の市街をみそなはせらるゝが、御巡路に添ふて市民の赤心をもて裝飾された市内を展望すれば 陛下の臨幸を仰ぐ**二重橋前の復興祭場は**既に紅白の幔幕に用意萬端整ひ馬場先門にそゝり立つ綠の奉迎門はなごやかな春光に輝いてゐる夫より二十哩に亘る御巡路は各區思ひ〳〵に紅白の幔幕はでやかに「奉祝」「奉迎」提灯と國旗が春風に搖いでゐる、繁華の中心街銀座には櫻の造花が咲き亂れ各商店、カフエー、百貨店の思ひ〳〵の裝飾と照り映へ宛然花の國である、築地病院の御臨幸所から展望すると前には東京驛の波が春の日を浴びて白く輝き後は京橋、丸の内一帶の摩天樓が一望の內に收まり近代東京の心臟が浮き上つてゐる、七萬の生靈を失つた本所被服廠跡は記念堂も殆ど完成し**門前には花賣る乙女の**顏も喜びの色が見える、上野公園西鄕銅像前の御展望所に立てば劫火に折擱された下谷、淺草、本所、深川から日本橋迄家並も新らしく復興してゐる、國技館のドームが其の彼方に浮ぶ、更に九段上御展望所からは神田一帶の各大學ビルデングが赤く、白くそれぞれの色を現はして空に突き立つてゐる、各御展望所、各御立寄所始めて御巡路は忙しく立働らく市の道路總動員に依つてすつかりはき清められ帝都はまばゆき迄に輝き亘つてゐる、隅田公園への御巡路では復興淺草の歡樂鄕の新裝は賑はしく更に大川に跨るあまたの新橋は**近代建築の粹を現はし**てゐる、市民の亢奮は喜びに高まり帝都は古今未曾有の祝典に市民の胸は喜びに高鳴つてゐる

御巡幸廿哩の 御發着御時刻

七ヶ所にて御展望

【東京二十三日發電】帝都二百萬市民の喜びの日、光榮の日は遂に來て今日こそ 天皇陛下には慘狀を極めた七年前の震害から全く其の姿を變へて復興した帝都を御巡幸あらせられる、此の朝 天皇陛下には陸軍御通常禮裝に大勳位略章を御佩用鈴木侍從長以下供奉、安達內相、中川長官、堀切市長を從へさせられ九時四十五分宮城御出門御里程實に二十哩に亘り御巡幸あそばされ七ヶ所の御展望所を經られ午後二時二十五分宮城に御還幸遊ばされる、その間の御發着の時刻左の如くである

▲午前十時十七分　九段坂上御着
▲同　十時二十七分　同所御發
▲午前十時三十二分　府立工藝學校御着
▲午前十時五十八分　同所御發
▲午前十一時七分　上野公園御着
▲同　十七分　御發
▲午前十一時二十七分　隅田公園御着
▲同　三十九分　御發
▲午前十一時四十六分　震災記念堂御着
▲同　五十二分　御發
▲正午　千代田小學校御着
▲午後一時二十五分　御發
▲午後一時四十五分　築地病院御着
▲同　二時五分　御發
▲同　二時十五分　還幸

北支の御日程

丁抹皇儲殿下

【天津特電二十三日發】デンマーク皇太子フレデリック殿下の御一行は三月二十七日秦皇島に御着、京奉線の特別列車にて北平に赴かれ四月四日天津を御訪問、翌五日天津御發秦皇島にて御乘船と北支那御訪問の御日程が北平デンマーク公使館から發表された

各映畫會社が 假裝大行列

四月封切の特作品に因んで あすの廣告祭の催し

【東京特電二十三日發】帝都復興祭を機會に沈滯してゐる興行界を華やかな昔に返すべく各映畫會社ではそれ〴〵趣向を凝らし復興ニユースを全國に上映して花のお江戶へお上りさんを集める計畫もあるが明二十五日に行はれる廣告祭には日活、松竹、マキノ、帝キネ(東亞のみ不參加)の各社はいずれも四月に封切する特作映畫に因んで大々的の假裝行列を行ひ芝公園から上野公園まで都大路を練り步くが各社ともその趣向を秘してゐるのでハッキリしないが松竹では林長二郎を京都から連れて來るといふ說もあり日活はいづれ「大忠臣藏」に因んだ素晴らしい行列をやる事になるであらうと

哈市郵務局員 罷業し騷ぐ

高局長が李主席の信書を 開封した事から紛糾

【ハルビン特電二十三日發】濱江縣政府主席李科元氏は二十一日信書を郵便局に發送せんとした際切手代が足らぬところから、新市街の郵務局長高永安氏が違法郵便物といふ理由により封筒を開き內部を檢閱したゝめ問題を起し、李氏は高局長を逮捕し監禁したゝめ郵務工會はストライキを以て對抗した、原因は單なる郵便物開封にあるが李氏は郵務工會內に左傾分子あるを發見せんため特にかゝる手段を用ひたもので高局長はその犧玉に擧げられたものと宣傳されてゐる

復興帝都の見物

入京した張宗昌氏談

【東京廿三日發電】別府に亡命中の問題の人張宗昌氏は既報の如く一行八名を以て二十三日午前十時五十分東京驛着、直ちに帝國ホテルに入つた、流石の豪傑であるが今日の一行は女氣一つもないホテルでは二階の四室を借切と云ふ豪勢振りで張氏はロイド眼鏡に五分刈り頭、コンサージを着込んで靴ばかり大入道姿をどつかりソフアに腰をおろし葉卷をくゆらし早くも押寄せた面會人に丁寧に握手の手を差出し愛嬌を振りまいてゐるが刺客が狙ふ賞金五萬元の快傑とも見えない、今回の上京は復興帝都見物の爲めと云つてゐるが滯在一週間の內には各方面の人々と會見を遂げる事になつてゐる氏は語る

私も御蔭で體もすつかり良くなつたが、歸國期はまだはつきり決つてゐない、昨夜は箱根で地震に驚かされました

氏は午餐を濟ますと警察の護衛をも辭退して自動車で早速市中見物に出掛けた

池塘の春　きのふ中央公園で

操縦士なしで 飛ぶ飛行機

ドイツ人の新發明

飛行機の發達は今なほ停止する處を知らぬ有樣であるが最近ドイツでは更に驚くべき發明が行はれたそれは操縦者なしに飛行機を飛ばせることである。最近この新しい裝置を施した飛行機にドイツ航空局長エルンスト・ブランデンブルグ氏が同乘して實地に新發明の見學を行つたが飛行士が操縦席を離れてブランデンブルグ氏の居る客室に來た時には既にその裝置あることは知つて居たものゝ少からず驚いた。然し飛行機はその儘三十分にわたり自動的に飛行し次で飛行士は操縦席に歸り安全に着陸した。右飛行に使用した飛行機はユンケル氏W三十三型で飛行士は前水上機操縦士エッチ・ボイカウ大佐であつた。同大佐が此の安全裝置を發明したのであるが稱して「自動操縦機」と云つて居る。氏の說明によればこの裝置さへあれば誰もハンドルを握らず數哩の間を安全に飛行することが出來るとのことである。尚之より先き右の新裝置を施した飛行機は霧深く嵐模樣の天候で普通の定期航空も中止された日に試驗飛行を行つたが何等の故障もなく直線飛行や旋回飛行を難なくやつてのけた。之が實用化されたら飛行機の操縦技術上一大革命を齎すであらう【ベルリン發】

支那の航空母艦

始めて上海で竣工す 飛行機二臺を積める

【上海二十三日發電】當地支那側海軍造船所にて支那最初の空航母艦咸勝の艤裝を完成したので二十四日當地發南京に上航する、該艦は飛行機二臺を積込み得る

故三浦大佐の 遺骨が歸る

【東京特電二十三日發】去る一月二十八日佛國で客死した前佛國帝國大使館附武官三浦省三大佐の遺骨は未亡人が携帶して鹿島丸で二十四日神戶入港二十五日午前九時東京驛着の豫定で葬儀は來る二十九日水交社で執行の筈である

大掃除の延期を 疊職組合が嘆願

仕事を緩和したいと

大連署の春季清潔法は每年四月下旬から五月上旬にかけて施行されるを例としてゐるが、疊職工組合ではこれを五、六月下旬に御指令下さる樣と二十三日大連署衞生係に嘆願して來た、施行延期の理由は清潔法施行の前後が丁度疊換の時期に相當し清潔法を控へて一般家庭の疊換が一時に行はれるので相當多忙なのみならず、各諸官公署の宿舍に於ける疊工事もまた施行され右組合員のみではその需要を充たし兼ねる狀態であり內地各方面より臨時募集して之に當らしむるも彼等に責任感なく就業に際して徒らに競爭しその結果は施行の不備不完を招くに至り需要者に迷惑をかける場合が多い斯くの如き次第で清潔法施行前に於ては一時に仕事が殺倒し組合員のみでは手不足を感ずるも清潔法施行後になると反對に減少し現組合員のみでも多過ぎる位であるから仕事を緩和する意味に於て五月下旬か六月上旬ごろに延期して貰ひたいと云ふのである

後藤新平伯の銅像 原型が出來上る

臺石を合せて高さは四十尺 朝倉文夫氏が製作

【東京特電二十三日發】故後藤新平伯の功績を永久に記念するため關東廳、滿鐵及民間有志の發起で大連星ケ浦公園に建立する後藤伯の銅像は彫刻家朝倉文夫氏が創作中であつたが廿三日原型が出來上つた、銅像高さ一丈六尺、臺石の高さ二丈四尺を合せ四十尺に達し東京市內には未だ之に匹敵すべきものがないといふ大きさで堂々たる裝ひである、近く鑄造に着手し本年九月大連に於て盛大な除幕式が擧行される豫定であるが、廿三日下谷區谷中天王寺町のアトリエに朝倉氏を訪へば左の如く語つた

東京市の復興祭が行はれる時に當り伯の銅像が出來上つたことは何等かの因緣があるのではないかと思ひます、雛形及設計に約一ヶ年を費し原型の作製は本年正月から始めました、伯の特徵である眼鏡、口、顎等を充分に表現すると共に銅像全體にも美しい表情を發揮するに努めました

バ卿葬儀

濕かに執行

【スコットランド・ウイテンガム廿二日發電】イギリス政界の長老バルフオア卿の葬儀はラマームア丘陵の間に在る土地の敎會に濕やかに行はれ夫より遺骸は農家用の質素な馬車でウイテインガム領の古城の傍らなる墓地に埋葬された同時にエヂンバラのセントルイス寺院でも遙拜式が行はれた

追悼會に各 國全權參列

【ロンドン廿二日發電】バルフオア卿の追悼會は廿二日午後二時よりウエストミンスター寺院に於て行はれた參會者一千餘名各國軍縮全權も此の軍縮の先覺者の遺靈を悼んだ特にイギリス皇帝陛下には第二皇子ヨーク公を御名代として御差遣あらせられた

武田春園氏 作品頒布會

皇朝書道振興に盡した小野鵞堂先生逝いて茲に七年今回斯華會本部に於て翁が建碑の企てありたるは偉人の靈を弔ふと共に社會思想の善導上寔に意義あることであるが斯華會大連支部長武田春園氏は鵞堂先生の門に學び翁の流れを酌むこと茲に二十餘年今度建碑委員として推擧せられたるに就ては恩師に酬ゆる奉仕として作品頒布會を催し同好諸士の贊同を仰ぎ得た淨財を擧げて建碑基金の一部に寄附することゝなり平野正朝、永雄策郎、上村哲彌、松崎鶴雄、池內瑞洲、高山漁江、藤森無畏の諸氏が後援者となつて二百口を限り小雅仙牛藏條幅、扁額(書體、選文は可成揮毫者に一任されたし)各一口を一圓として頒布することゝなつた、希望者は市內沙河口黃金町一六番地武田春園氏宛申込んで貰ひたいと

溫故知新　東庵平野春園題

滿電と對戰し 大商軍勝つ

シーズン最初の試合で 滿倶球場の大賑ひ

5A—4

滿電對大連商業の野球戰は二十三日午後二時十分から滿倶球場に於て二宮(球審)五百旗頭兩氏審判の下に擧行、今シーズン皮切りの試合とて時節離れの寒さにもめげず觀衆多く結局五A對四で大商側勝つ閉戰四時二十分、經過左の如くである

試合經過

第一回 ▲滿電二死後芥田二飛失に出で和田の左翼二壘打に芥田生き和田三壘を衝いたが二三壘間に挾殺さる▲大商無爲
第二回 ▲滿電一死後大藤三壘強襲單打持原四球今泉投前に二走者滿壘大藤ホームスチールして成り橫山遊飛▲大商無爲
第三回 兩軍とも無爲
第四回 ▲滿電無爲▲大商白石三壘右單打谷口も亦二塁左單打に出でたが谷口牽制球に死し因藤遊擊前單打梅本遊飛工藤二個失
第五回 ▲滿電無爲▲大商伊藤左翼單打原田三壘左單打德永の犧打に走者それ〴〵送られ再び白石の犧打に伊藤生還同點となつたが谷口三振
第六回 ▲滿電芥田投前和田左翼二壘打藤枝左翼飛失に生き走者滿壘大藤三振鈴木二壘トンネルに二走者生還今泉遊前に二點を勝ち越す(大藤藤枝と交替す)▲大商一死後梅本左翼二壘打工藤左翼單打に梅本生還、工藤盜壘堀邊伊藤共に四球(藤枝大藤と交替す)原田二飛に工藤生還德永投飛に再び同點となる
第七回 ▲滿電チャンスあるも成らず▲大商白石二飛失に生き谷口因藤投前に走者進み梅本二壘右單打に白石生還一點を勝ち越したが後續かず
第八回 兩軍無爲
第九回 滿電最後の攻擊を開始せしも遂に成らず五A對四で敗れる

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	合計
滿電	1	1	0	0	0	2	0	0	0	4
大商	0	0	0	1	1	2	1	0	A	5A

	打	安	犧	盜	三	四	失
滿電	35	4	0	3	2	4	4
大商	32	10	2	4	1	3	7

二壘打和田一、三壘打梅本(兄)一、死球因藤一、併殺工藤—白石—伊藤

太田選手 優勝す

日英庭球戰

【イギリス、フオレストヒル二十二日發電】フオレストヒル日英庭球トーナメント本日の決勝成績左の如し

△男子シングルス決勝
太田 六—一 六—三 三木

△混合ダブルス決勝
三木、マッドフオード孃 六—二 七—五 太山、ジヨンソン孃

△男子ダブルス決勝
イームス、ホイートクラフト 一—六 六—四 六—三 太田、三木

自動車が 列車と衝突

三名卽死

【福島二十三日發電】二十三日午前一時十二分常磐線上り二百六號列車が湯本驛を發し直ぐ踏切に差し掛つた際海邊側より活動寫眞機械、フイルムを積み乘客六名を乘せて疾走し來つた自動車と衝突し自動車は二十五メートルを引ずられ大破し運轉手及び乘客三名卽死し四名重傷を負ふた

大連灣內に 濃霧襲ふ

昨日午後から

二十三日正午頃から大連灣近海の濃霧が次第にその度を加へ午後一時半頃は全く灣內一帶濃霧に閉されて船舶の航行を不能ならしめ午後零時半入港豫定であつた榊丸は午後一時頃三山島附近まで入港せしも濃霧のため徐行危險となり海務局廟島丸に水先され三時半頃辛うじて着埠した

危險な空氣銃

春光に惠まれて子等は戶外に遊び戲れてゐるが、南山麓方面の兒童中街路にて空氣銃を濫りに放ち通行人を傷つけ或は窓硝子を破るなど危險が屢々起るので同方面居住者は非常に迷惑してゐると

鞍中生歸る

鞍山中學生二十四名は宮師正恭、武田英之輔兩敎師に引率され南支方面の旅行中であつたが、二十三日午後三時半入港の榊丸にて來連同日二十二時發にて歸鞍した

滿日地方版

奉天

滿洲醫大出の新學士さん　盛大な卒業證書授與式

今年第二回の新醫學士を送り出す滿洲醫科大學では同大學並に專門部の卒業證書授與式を廿二日午前十時半から同大學體育館に於て擧行した

來賓は

森岡領事、鈴木少將、保々地方部長、庵谷會頭、鹽尻地方委員議長、木下在鄉軍人分會長、前波敎專校長、高橋奉天取引所長、衛藤圖書館長、安藤高女校長、それに支那側敎育廳長、公安局長、交涉署長各代理陶尙銘氏等總て百餘名で一同着席後、式辭に次いで卒業生（本科卅三名、專門部十五名）に對し卒業證書が授與され、稻葉學長の訓辭に次いで保々地方部長の總裁告辭代讀あり、森岡領事は支部大臣の祝辭を代讀し、更に來賓側森岡領事は林總領事を代理として

祝辭を　述べ續いて旅順工大學長の祝辭代讀、西田氏の祝辭、支那側數名の祝辭代讀あり、森幹事祝電を朗讀、秋元龜次氏は同窓生總代として祝辭を述べ、田中武君在校生日本側總代として趙恩傑君は中國學生總代として、黃順記君は專門部在學生總代として日本學生は中國語、中國學生は日本語でそれぞれ祝辭を朗讀、これに對し、安井修一君は日本側卒業生總代として、馬宣驊君は中國側卒業生總代としてまた高金立君は專門部卒業生總代として日本語、中國語の答辭を朗讀し十一時四十五分

盛大裡　に閉式した、なほ式後健武館に於て來賓職員卒業生一同の祝賀宴が催され卒業生の前途を祝福する處があつた

浙江省民　十五萬人　東北省に移住

浙江省代表三名はこの程來奉し東北省當局に對し何事か折衝中であるが、聞く處によれば浙江省政府は同省々民十五萬人を東北省に移住せしめる意志で東北省政府に對しても大體諒解が出來たものゝ如く、既に東北移民運搬辦法等も制定され近く具體化されるべく移住地は黑龍江省肇州、肇東、呼蘭各縣になるらしいと

久保田博士　近く洋行する

近く洋行する滿洲醫大の久保田博士は語る

まだ身體がさつぱりしないので少し保養し全快したら出かけやうと思つてゐるが出發の期日はまだ確定しない、本年特別に派遣される譯でなく毎年一回歐米の醫學を見に行くことになつてゐる、行くとすれば相當收穫ある樣に自分でも努める考へである

奉天製麻重役

奉天製麻取締役鈴木、監査役持田の兩氏は廿一日午後東京より來奉し中山常務と協議し善後策につき腐心して

奉天商議々員會

奉天商議では二十日午後三時半より議員會を開き庵谷、富村、三谷正副會頭外十三議員それに鄭永、古仁所、右近、鈴木各特別議員、內海勸業係長等出席、先づ野添書記長の滿洲商議聯合會の經過報告あり、次いで公會堂失火罹災に對する善後處置につき協議をなし峰、向野、吉川の三議員及び上田奉天俱樂部部長を修繕委員に指名し火災保險會社の仕拂額の程度で燒失個所修繕を一任することゝしまた理事者で必要と認めたる時はその都度議員會を開催することになつて散會した

馮氏代表來奉す

廿日北寧線にて來奉せる馮玉祥氏代表門致中氏は廿一日張學良氏を訪問し懇談するところがあつたと

高紀毅氏滿鐵全線視察か

北寧鐵路局長高紀毅氏は鐵道行政改革に資するため局員數名を伴ひ四月一日から滿鐵全線の視察をなすと傳へられてゐるが、滿鐵側には何等通知して來てゐない、しかし滿鐵沿線を視察するといふだけなら滿鐵も承諾するであらうと鐵道事務所の某氏は語つてゐた

人事

▲中村第十九旅團長　廿一日遼陽へ
▲保々滿鐵地方部長　廿二日朝來奉
▲筒井高等法院判官　廿一日夜安奉線にて來奉
▲高木奉天守備隊長　廿二日開原へ
▲滿尾鐵道省副參事　廿一日京城へ
▲龍山第二十師團將校團一行　廿一日旅順へ
▲山口奉天鐵道事務所次長　廿一日赴連
▲山口縣會議員一行　二十一日公主嶺より來奉
▲熊本縣第一師範生七十五名　二十一日撫順より來奉
▲同第二師範生百二十名　二十一日夜來奉大丸旅館へ

町の便り

春日尋常高等小學校では廿二日午前十時から同校講堂に於て第廿二回卒業式を擧行した

◇

奉天高女校では本年は創立十周年に相當するので四月廿三日同校に於て盛大な記念展覽會を開催すべく目下準備を急いでゐる

◇

廿二日午前五時五十分頃山東省生れ國際運輸會社支店苦力劉孟科（三六）が金溝線を橫切らんとする際入替への貨車が進行し來り同列車に觸れ右腿右腕を轢斷されて即死を遂げた奉天署から太田警部補が出張し檢視をなし死體は會社側に引渡した

金州

三日仕事すれば一日は休む　懶けものゝ白鳥俊雄　大連民政署疑獄事件

大連民政署に於ける官有土地貸下不正事件は今後一味の敗容に連れ益々擴大する模樣であるが、事件の首魁白鳥俊雄につき調査する處に依れば昨年末關東廳に於ける人事大異動のをり前記大連民政署財務課官有財產係より金州民政支署法務係に轉勤し來たつた者で

關係者　の談に依れば未だ赴任後三ヶ月に滿たぬのに勤務振りは非常に懶け勝で三日仕事をすれば一日休むと言つた具合であつた、轉勤後未だ日も淺いので深く付き合つた者もなく日常の生活振りや、性格を充分に知つた者も無い模樣である、白鳥の處分問題に就き民政支署に平井總務課長を訪へば氏は憤慨して語る

曰くつきの者を一言の引繼もなく押しつけるのは實に不都合である、聞く處に依れば轉勤當時から此の問題は少しは判つて居つた樣だが、當署在勤中に

事件を　惹起せなかつた事だけは明言する、若し土地係に勤めさせたら又復こんな事件を起したかも知れぬが之は幸であつた、何れにしても非常な迷惑である、處分問題も未だ犯罪も確定して居らぬが辭めさせるのは當然でしよう

引ツ張り凧　金州農業學堂の卒業生　廿二日卒業式を擧ぐ

州內唯一の中等程度の農業敎育を施して居る當地農業學堂では廿二日午前十時半より關東長官代理湖務課長臨席のうへ卒業式を擧行本年の卒業生は日本人二名と支那人廿一名であつたが、これ等卒業生の就職口は

卒業前　に既に決定し、支那人二十一名の內一名は東京[illegible]農科大學實科を受驗に、殘り二十名に對しては二十四名からの申込あり中には直ちに三十圓の月給を給するから是非承諾してくれる樣にと懇願する者さへもある狀態でこゝ許引つ張り凧といつた有樣である、一方日本人卒業生の二名は一名は金州、一名は撫順だが兩名共自家農業に從事する事になり、折角の希望者も二の足踏んで殘念がつて居る

本年度　の日本人志望者は遙く長春より一名大連南山麓より一名、同じく伏見臺より一名、[illegible]店より一名、內地より一名都合五名であるが何れも卒業後は自家の農業に從事する者ばかりであるが、日本人學生の特長は內地卒業者に比し滿洲に必要なる敎授を受くる事、支那人を使用するに支那語を十分に解し得る事等が特長で卒業早々直ぐ間に合ふので

非常に　珍重されてゐる、今後日本人支那人を問はず廣漠積の耕地を有する滿洲で而も粗雜な作付を爲す支人に對して之等卒業生の善良な指導はやがて大なる成功を齎すであらう

長春

閑散期に運動奬勵　森田驛長の計畫

森田長春驛長は長春驛は多季特産出廻りで他驛には見られないやうな繁忙振りなのに引かへ夏季は俄に閑散となり多季緊張しきつてゐた驛員が兎角だれ氣味に陷り却つて事務の進捗を妨げるとあつて森田式とでも云ひたい面白い計畫を立てゝゐる、それは夏季閑散期になつたら驛務を遂行するに必要な最少限度に驛員を減員して他の驛員は休業させ大いに運動を奬勵し體力を練磨させ多季の活動に必要な精力を蓄積させると云ふのであるが之が一般滿鐵社內に適用されると所謂溫室氣分を脫して生氣を帶びることであらう

書記長歸來談

大連に於ける商議書記長會議に出席した大垣長春商議書記長は二十一日歸長したが氏は語る

今度の會議で問題になつたのは製鋼所問題、消費組合問題、會議所令問題だが製鋼所の設置については新義州に設けることは單に三百萬圓の補助金だけで關稅の如きは關東州に設けても同じであるから鞍山に設けるのが不可なら關東州內に置くやう建議すること、商議問令題は外務省との關係が複雜であるから商埠地の商人は任意入會することゝし商議會は附屬地のみに適用すべしと一決した

吉林

漸く判明した燒死者氏名　入院中の重傷者も判る

既報吉林朝陽門內永吉活動寫眞館出火に因る燒死者六十七名中氏名判明せる者及び入院中の重傷氏名次の如くである

△城內長安胡同二號男陳太平（一一）△湖廣會館男王福江（一二）△女韓家鳳△女林盖氏（五三）△女林盖鳳（一四）△男井玉明（一五）△北倉胡同謝陳氏の女謝文琴（一二）△劉雲閣の女劉貫蓮（一一）△男劉達恒（一〇）△劉達玉（八ツ）共三名△城內維新街十四號男徐茂業（一一）同徐正業（九ツ）△城內河南街劉秀峰の女劉勝子（一二）△東寺胡同傅楊氏（六〇）△巴虎門裏三號〇海蓮（一七）、△步兵第三十四團騎兵連馮成如（三四）△臥虎溝六號男李連（一三）△男鄧占海（三五）△城內同升當舖許息（四五）城內白旗堆子男牛仲衡（一一）△張伯田の妻張耿氏（五二）同女兒（七ツ）男兒張仲祥（一四）の三名△北倉胡同潘克明の嫂潘張氏（五二）△城內通天街馬號男馬寶山（三〇）△趙榮久（三〇）△楊奎（一五）△邵洪文（五〇）△男吳普臣（一六）△律師李澤人の子東玉光（一三）△榮閣子五號解鴻圖の甥邵鑑昌（一四）△高鴻學（一一）△高桂香（一三）△城內廻水灣三號傳文華（一八）△明王事胡同六號解楊氏（三八）△白旗堆子號吳喜全（五〇）△白旗堆子一號男李丙午（一三）△巴虎屯趙子明（五二）△城內河南街吉東印刷社謝炳昌の女謝平（一八）謝順（一六）謝頌（一一）二謝喜計四名△男陣治忠△男桂英△省會公安局督察長尹保榮△陸軍訓練處曹長回某△廻水灣子崔萬榮の子二名△地方法院飽判事の次男△律師王俊巖の四男△局子街胡同金醫福の女婿景科員の二名△毓文中學生徒張紹昌、齊桂元△吉林邊防副司令官公署調官處錄事吳某以上合計五十六名其他全然住所氏名不詳者男女十一名

入院中の重傷患者左の如し

▲路加醫院▲朱究武（三五歲河龍縣治指導員松江旅館滯在中）△謝安（一二省立第一中學生）△史瑞光（二五歲、稅務縣人吉林警官學校學生）△延生醫院△韓李氏（三六歲、廻水灣子居住）△祝成（一二歲、實業廳西胡同第一號居住）△張鴻辰の孫（二〇歲吉林省城江岸）△王心瀚（三〇歲延吉縣人、區長訓練所學員）△松江醫院△王德軒の子（一三歲城內福祥胡同居住）△勝德章（一四歲）▲吳麺醫院△曲瑞瑤（三一歲吉林副司令部副官處員）▲施療男醫院△張興清（四六歲大東門內居住危篤）△榮雲亭（三二歲）△王維玉（三一歲（第三區商埠地）其他診治所に於て手當中の者三名

間島調査委員

吉林省政府建設廳に於ては今回間島一帶の稻田、水利及汽車道路其他電政一切の建設事項を調査することになり、同廳委員史國瑋、甘瓛氏の兩氏を調査員に任命したが右兩氏は二十日吉林出發吉敦線經由間島に向つた

瀨川氏來吉

外務省對支文化事業部の瀨川淺之進氏は來る二十三日來吉し、三四日滯在の豫定であるが、吉林研究會では之を好機に講演會を催し同氏に一席の講演を請ふ筈である

營口

商議員の當選者

二十二日執行されたる商業會議所議員選擧の結果は左の通りである

一級　營口水道電氣株式會社、橫濱正金銀行牛莊支店、朝鮮銀行營口支店、正隆銀行營口支店、三井物產株式會社牛莊出張所、關甲子郞、國際運輸株式會社營口支店、東亞煙草株式會社營口製造所、日本棉花株式會社牛莊出張所、營口興業株式會社

二級　乃美熊太郞、安彥英三、山住市藏、盛進商行、秋山保太郞、加藤讓次、黑川宗藏、須崎原右衞門、田邊源吉、營口海運合資會社

三級　加來實、丸日豐吉、後藤美知治、深江治平、三井八五郞、酒井壽太郞、山村長吉、尾崎菊三、伊藤金次郞、池田桑作

安東

石炭節約の表彰祝賀式　廿一日安東機關區で　四年上半期節約一萬八千餘圓

安東機關區に於ては昭和四年上半期運轉用石炭節約表彰祝賀式を廿一日午前十時より同區內講習室に於て擧行せしが、近藤機關區長は全區員に對し賞與金八百圓を分配し將來の節約實行につき奬勵的訓示をなし盛會裡に十二時閉式した

同區今回の成績は二等賞にして六ヶ月間に於ける標準炭は九十九百四十八噸であるが實際使用炭は八千三百八十六噸に止まり千六百六十二噸を節約し得たる譯にて此金額は實に一萬八千二百八十二圓であると

新義州

道路使用者から料金を徵收する　交通整理の爲新義州で

新義州府では府內における交通整理のため今回新に道路使用徵收規程を設け道路使用者より一定の料金を徵收する事となつた、即ち

道路使用徵收規定

第一條　府は公益を目的せざる道路使用者に對し左の區分に依り使用料を徵收す但し特別の事情ありと認むる場合は之を免除する事を得

一等道路　一坪に付一日金二錢
二等道路　一坪に付一日金一錢
三等及等外道路　一坪に付一日金五厘

第二條　使用料は許可の際之を徵收す

第三條　使用許可後使用者に於て之が使用を停止し又は使用許可を取消さるゝ事あるも既納の料金は還付せず但し官廳の都合に依り許可を取消したる場合は日割を以て計算し其の翌日以後に屬する使用料は之を還付す

附則　本規程は發布の日より之を施行す

鞍山

醫藥學集談會

鞍山滿鐵醫院醫藥學集談會三月例會は既報の如く二十五日午後二時より同院三階會議室に於て開催されるが演題は左の如し

一、姙娠と齒牙疾患に就て
一、鞍山小學校に於ける眼屈折機檢査成績（特に近視）に就て　高太郞
一、高度に發生せる多性軟骨性外骨腫の一例　松島茂

撫順記者團

撫順記者團一行八名は二十五日午前九時二十五分發列車にて來鞍し製鐵所を見學し鞍山記者團と懇談し午後二時二十三分發急行にて歸撫の豫定である

開原

神社附近の兇賊逮捕　嚴重取調中

廿一日午後六時より開原神社附近及び中央大街一帶に亘り特別警戒中同六時五十分頃守備隊將校官舍北側路上に於て東方石家臺方面より開原驛方面に向ひ來れる擧動不審者を認め其行動を觀察中の逆瀨川刑事に向つて彼れは「誰呀」と呼び掛け近寄り來る氣配以なるをて機先を制して接近組付きたるに右手に長さ一尺位の鐵棒を所持し居り頑強に抵抗し逆瀨川刑事が拳銃を所持せるに氣付たる彼は之を奪取せんと一層激しく格鬪中島名吉田兩巡査金巡捕の姿を見たる彼れは隙を見て北方畑中に逃入せるを以て之を射擊し腹部脚部に銃創を負はせ逮捕し本署に引致取調べたるに同人は河北省遷安縣李家窩子住所不定無職李長陞（三九）と稱し義和屯居住の原籍[illegible]河蘇永和（三七）原籍山東省夏津縣新城店住所義和屯玉喜堂ボーイ馬金龍（三七）原籍河北省新城梁寺住所義和屯瓦匠楊鳳造（三七）の三名と强盜を敢行すべく密議を凝らし當夜中央大街に三名の來るを待ちつゝ徘徊中なりし旨を自白せるにより直ちに江藤刑事金巡捕は義和屯に赴き三名共搜査の上逮捕し本署に引致取調中なるが同夜九時三十分頃渡部刑事は共榮街路上に於て擧動不審者を認め本署に連行せるが原籍開原縣和順屯住所開原縣石家臺王家花店內徐鼎春（三九）と稱し双渡り四寸餘の支那刀を所持し居たるが何れも强盜嫌疑濃厚にて目下嚴重取調べ中なりと過般來開原神社附近に出沒せる辻强盜は彼等の所爲ならんと

下士現地戰術

中尚附近に於て奈良第一中隊長統裁の下に第二大隊下士の現地戰術を廿二日午前九時半より施行せり

公學堂卒業式

關原公學堂にては二十四日午後一時より第十五回卒業式を擧行する

大石橋

衣類處理講習

二十四五の兩日に亘り每日午前十時より午後まで俱樂部に於て東京家政學院敎授山崎鐵一氏講師となり社會係主催の下に講習會を開催する事となつたが會費は金一圓講習課目は左の通りである

洋服の手入法、洋服の綻ひ方、簡易クリーニング、洋服の洗濯法、毛織物の洗濯法、カラーワイシャツの洗濯法、銘仙類の洗張、木綿物の洗濯の仕方、簡易シミ拔き法

修養講演會

修養團大石橋支部に於ては來る二十五日午後七時滿鐵俱樂部に於て滿洲修養團聯合會主事遠藤哲郞氏講演する由である

新舊局長迎送會

當地郵便局長片桐讓八氏は旅順に榮轉する事となり後任として吉川周平氏旅順より赴任する事になつたので來る二十六日離任にて兩氏及び伊藤保線區長の後任として赴任する大藏今保線區長等三氏迎送會を催す事になつた

戀と地獄（79）

三上於菟吉作　鶴田吾郎畫

女郎蜘蛛（四）

「おや、郵便ではないですれ？使が持つて來たの？」

と、彼女は訊ねた。

「えゝ、只今、車屋さんが持つて來て、返事はいらないと言つて歸つてしまひました」

と、おかみさんは說明してそして下りて行つた。

綾子は封筒の文字を眺めながら詮三の許へ歸つて來た。

「詮さん、妙な手紙よ。どこから來たのかよこした人の名も何も書いてないわ」

詮三は頭をもたげて、封筒を受け取つて封を切つた。內容を一讀した時、今迄貧血だつた彼の顏にサッと血が上つて來た。

彼は椅子から飛び上つて、窓の側に行つて外を眺め下した――。

しかし夕ぐれの巷路には人のゆき來も杜絕えてゐた。

綾子は詮三の手から手紙を取つて讀んだ。

親愛なる藤田君――。

やつぱし僕の豫感通り、君は僕たちと行動を共にするにはあまりに柔しい青年だつた。一個の美しき女性の投げかけた魅惑の網のうちに、君は美しき魔術を夢まれるがよい。

例の問題については幸ひに心を勞する勿れ。適當なる果敢の士が君に代つて事を執るであらう　盟友より

「あの人もなかなか素早い人だと見えるわね」

と、綾子は反感に充ちた聲で言つた。

「わたしたちのことをちゃんと知つてしまつたと見えますわ。でもその方が却つて都合がいゝことよ。もう二度とあんたを仲間に引つ張り込まうとはしないでせうから――」

詮三は恥辱と憤怒とに、思はずズボンの後かくしを探つてピストルを握らうとした。

彼は同志と自己との誇りのために――殺してしまひたかつた。――

けれども、彼はすぐに反省した――今此處で、自分が自殺などしたら、綾子の口から前後の事情はすぐに洩れるであらう……愈々岸川等の行動を窮迫せしめるだけだ……。

おゝ、僕はもうだめだ――。發り者だ――。

彼はさう呟いて、もう灯がなくては物の見えない裏巷路の窓から眺め下して突き立つてゐた――。

滿日文藝

滿日川柳　『春雜吟』

大連　錠月
安かつた春簞へ襟を又ねだり
沙河口　水楊
外套を脫いで漸く春心地
旅順　都一
背に陽を浴びてまた讀む新聞紙
瀋陽　迷夢
解氷になつて渡航の苦力群
撫順　愛美
掘り起す土の下にも春の色
時事吟
チャンバラのシーズンとなる支那の國
皮口　松風
震ふてる合服へ先づ春の風
花の山浮いたいたの足拍子
沙河口　啞佛
此のところ天下御免の花に醉ひ
大連　露愁
春雨へ蒼仇が來て夜を更し
沙河口　峯康
ストーブも邪魔にされてる春の宵
撫順　晴岳
春の陽にスコップ光る露天掘
大連　太初
老人の腰のしてゐる春の椽
旅順　桑丸
櫻咲く頃膽くりで神詣り
撫順　障子
當選者初めて日比谷の春を知り
大連　凡稚
新春の穩のびやかな唄になり
むくむくと大地を割つて出る靑菜
沙河口　月步
春雨に一しほ冰ぐ池の鯉
春の雪島田にのこる一と雫
安東　征志
花吹雪浮かれ小唄の下り坂
親不幸春の日曜の勤め役
旅順　千潭
春雨に一句もならず酒はつき
沙河口　眞砂子
襟垢が急に目立つて春はくれ
奉天　寄峰
新柄がちらちら見える町の春
奉天　胃春
浪人になつて冷たい春の宵
旅順　櫻巷
懷しく未だ見ぬ母國へ春の旅
うらゝかさ今日も子供にせがまれる
大連　紫浪
大自然笑ひそめてる春の色
石炭の豫算春宵に仕向けられ
旅順　樂臺
春服も矢つ張り月賦のにきめ
花見前要に新柄ねだられる
撫順　喜良久
露の香に一杯はづむ父の酒
うらゝかさ日傘に今日も誘はれる
大連　靑々庵
霜降の服も交つて新學期
南から風背負ふて苦力來
沙河口　新生
里の母梅一輪を入れて書き
野も山も春の光へ呼びかける
沙河口　喜一
踏まれても地肌を割つて綠の芽
春の陽へ木の芽一皮脫いだ色
遼陽　花飄
梅信へ選擧騷ぎを乘せて來る
合傘の蹴出しにざれる春の雨
大連　愛申
捨てられた塵の下にも春は萌え
春風にくすぐられてる花鋏
大連　岳泉
傘さして行くほどでない春の雨
スケートが邪魔にされてる庭の隅
大連　くれがし
春雨にとけてるやうな辻街燈
外套をぬいで足どり輕うなり
撫順　嶺鳳
春風に初戀いつそ燃えさかり
瓦房店　保雄
春淺くテニス姿の心地よし
旅順　亞鳳
木魚も長閑に聞ゆ春の宵
沙河口　一笑
花よりも花見る人を見るこゝろ
大連　農夫
立話カメラに這入る麗かさ
雪解をこぼしと女は下駄を替へ
大連　滿山
ピクニック娘年より派手に跳ね
若人の春は胸から躍り出し
柳河　金線魚
花見酒知らぬ同志が肩をくみ
小鳥籠外へ持ち出す春になり
うらゝかさ豆屋を圍む桃の里
ピクニック子供になつて蝶を追ひ
沙河口　啞佛
雪肌のそばかすに似た春となり
草花の溫室を出る暖かさ
大連　みち子
姉さんの供を邪魔がる春になり
春の宵昔の痴話を笑ひ合ひ
大連　玉江
花の位置話合つてる麗かさ
浮れ過ぎ人手を借りる花の山
沙河口　呑宇
輕快な裳裾若葉へ戲れる
パラソルへもう春らしい氣をつかひ
大連　夢良夫
煤煙がうすれて春へ近くなり
節約を忘れて春を派手に着る
旅順　紀南
雛箱を出せば戶棚の位置かはり
煙突屋御用濟ひの顏の色
大連　德月
看板の塗り替へられる春の街
大連　陰石
男の子雛より馳走待つ節句
大連　白山
飄鐘の手入れも濟んで花を待ち
大連　柳子
ウインドーの春衣に妻の眼はすわり
旅順　柳月
食客に着せた春衣の似合ひすぎ
春の宵また恨しい雨となり
營口　克典
表具屋へさきがけに來る春の使
山火事の下へ若草待つてゐる
解氷になつて民國の職ごと

夕刊 滿洲日報
三月廿三日

會議の成否見込つき次第 財部全權一足先に歸朝

二週間以内にロンドンを出發 準備をとゝのへ沙汰をまつ

【ロンドン二十二日發電】わが全權財部海相は軍縮會議が豫定の二月を越ゆるもまだ何等結着を見ず、この調子で昨年末渡英以來四月以上も滯在するにおいては海軍部内の事務上の支障を來す惧れあり、本國政府より何等かの沙汰あり次第何時にてもロンドンを發つて歸國の途につくやう準備を調へてゐる、勿論財部全權の歸朝は會議の現狀とは何等關係なきもので、恐らく會議の成否見込みつき次第若槻全權と充分打合せのうへ出發すべくその時期は二週間以内と見らる（寫眞は財部全權）

海軍省の回訓原案 きのふ外務省に廻付さる

【東京二十三日發電】二十二日午後二時半、海軍省軍務局第一課長澤本大佐は堀軍務局長の代理として外務省に堀田歐米局長を訪問して海軍省側の回訓原案を手交したが、右回訓原案は軍令部側の根本主張を

無視する を得ない海軍省の立場上、先日來の軍令部側の研究協議によつて得た數種の案を基礎としてその根本主張を何等變更することなく海軍省の手によつて幾分潤色されて出來上つたものであるので、海軍原案骨子は從來の軍部側の主張たる八吋巡洋艦絕對七割、潛水艦現有勢力保持の二大眼目を包含する補助艦總括七割であつて、たゞ前記八吋巡洋艦七割獲得方法としては、米國が八吋巡洋艦の

十五隻を 超へて第十六隻目以後第十八隻目を起工するに至る時、これに對抗して日本は八千八百噸級八吋巡洋艦二隻を建造せんとするにあるもの丶如くである

佛伊兩國 倫敦での協議を望まず

【ロンドン二十二日發電】信ずべき筋より聞くに佛伊兩國全權は佛伊均勢問題に關する歩み寄りは困難で、今後これが解決を試みるとも目下の處では兩國の友誼を危ふくするのみだらうといふに意見一致したと、佛伊の問題は獨立にパリ又はローマにて議するを得策としロンドン會議の空氣は餘りに峻嚴で好ましからぬといつてゐる

三國協約の成否 日本の回答如何で決す

五國協約はほとんど不可能 ロンドン各紙の論調

【ロンドン二十二日發電】勞働黨機關紙ヘラルド紙を始め今朝のロンドン諸新聞は一齊に五國協約が殆ど不可能なりとの觀測に一致し同時に三國協約の可能性を指摘し

ヘラルド紙は 三國協約の成否は松平、リード案に對する日本政府の回答如何により決せられると述べ、また諸紙は三國協約の形式に關し目下考慮されてゐる諸件につき報道してゐるが、要するに三國協約の場合には華府條約第二十一條を改變したものとして調印國がその海軍計畫を變更し得る場合を更に明確にすると共に、他の調印國にもその變更を實施し得る事とし英國の對佛立場を容易ならしめんとしてゐる、然し一方にはまた出來得れば五國協約として保有量を決めず單に向ふ五ケ年間の建造量だけを協定し曲りなりにも五國協約を得んとする計畫も傳へらる

日曜閑話

餘り讀み過ぐる 春ではあるが少し考へたい

われ〳〵は餘りに多く濫讀せぬであらうか。一ころ流行を極めた圓本や半圓本は、やゝ下火になつたけれども、それでもまだ出版界は洪水のやうな有樣である。無論その景氣、不景氣に支配せられる出版界にありて、文化の尖端を表象するやうな立派な書物も出て來る。が併し、多くは有るも可なり無きもまた可なり、否、場合によつては有害無益といつたやうな讀み物も決して稀ではない。まづ肩の凝らぬ程度の讀み物を大量生產し、それを廣告宣傳で賣るのであるから、書物の内容など一々かまつてゐられぬことになる。甚だしい雜誌になると、この滿洲にあつても來月號を今月に讀まされるといふ奇怪事に遭遇する。さすがの官憲も、かかることには例の手が伸びぬと見える。

◇

それは兎にかくとして、大量生產的に出版される書籍、それが直ちに文化のバロメーターであるかの如くに思ふものあらば、それこそ大なる間違ひといはねばならぬ濫讀される多くのものは、却つて讀書子の趣味性を向上、否、向下せしむるやうなものではあるまいか。われ〳〵は現代人が餘りに多く本を讀まな過ぎるといふよりも、餘りに多く讀み過ぎるとさへ感ぜしめられるのである。否、餘りに多く讀み、しかも殆ど全く何も讀んでゐぬとさへ思はしめられるのである。われ〳〵はもつと多く考へ、より多く行ふことが肝要ではあるまいか。講談雜誌や講談倶樂部を毎月々々讀破したとしてそこに果して何物が殘るであらうか。精神的に、肉體的に。われわれは、もつと他に多くの讀むべきもの、讀まねばならないもの、否もつと考へねばならぬこと、もつと實行せねばならないことが多いのではあるまいか。

◇

無學文盲國ロシヤでは、文盲清算といふことを計畫し、去る一九二〇年、男四割、女六割五分の文盲者をして、一九二七年には男二割五分、女三割七分までに開眼したといふ。これは非常なる努力といはねばならぬ。わが日本國民の現狀からすれば、目に一丁字なきものなどいふことは、殆ど想像だも出來ぬぐらゐに教育なるものは普及してゐる、誠に結構なことである。が併し、その折角、教育せられた學力を以て、たゞ讀んで益なく、場合によつて有害であり、危險でさへあるやうなものを餘りに多く耽讀するといふことは、決して感服したことではあるまいと思ふ。

◇

新らしいといふことは、確に何らかの眞理があらう。併しながらたゞ新らしいといふことだけで、他に何らの底力もないやうなものに對し、一般の趣味性を吸引するといふやうなことは、時代の趨勢とはいへ、決して喜ばしき現象ではあるまいと思はれる。もう反動が來てもと思はるゝ頃である。同じく出版界とはいふものゝ、一般向き、大衆向きの多くものには、一般興業物に課税するが如くに、相當の税金を賦課してもと思はれることさへある。玉石を混淆し、出版界を數量を以て、文化のバロメーターとなすが如きは愚の骨頂といはねばならぬ。出版界にも、量の時代より質の時代が擡頭し來るのではあるまいか。われわれは先づ雜草を刈り取らねばならぬと思ふ。それには、われ〳〵は餘りに多く讀み、而して餘りに多く何も讀まぬのではあるまいか。よし執務後の肩の凝りを醫すべく興味中心のものを讀むにしても、も少しく趣味の向上に資するやうなものを讀むべきではあるまいかと思ふ。春の出版界を展望し、讀書界の傾向を觀察し、敢て一言するを禁ぜざるを得ない。これらの論法は活動映畫その他の現代的娛樂機關などにも、これを活用することが出來やうと思ふ。

伏見總裁宮、令旨を賜ふ

「海と空」の博覽會賑かな發會式

春の上野不忍池畔を飾る「海と空」の博覽會第一會場の開會式は春雨煙る二十日午前十時より伏見總裁宮殿下の台臨を仰ぎ盛大に擧行された、この日東郷元帥を始め陸海軍の將星、各國務大臣等多數出席あり、霞ケ關よりは四十二の飛行機帝都に雁行し來り天地呼應して頗る賑ひを呈した、

【寫眞は（上）開會式――御令旨を賜る伏見總裁宮殿下と右より二人目東郷元帥、井上大將、俵商相、左端小泉遞相（下）會場の賑ひ】

國民の支持で財界は安定

私用で太田長官に會ひに來た 森田代議士けさ來連

衆議院議員森田茂氏は二十三日入港の香港丸で來連、直ちにヤマトホテルに入つたが、船中に訪へば「ナニ太田關東長官に私用があつて來たまでだ」と冒頭して語る

特別議會は來月二十一日からだが別に問題になることもあるまい、生糸補償法案や金解禁など僕は專門でないから單に農林大臣や大藏大臣等から説明を聞いたゞけだが、生糸補償法案なども農林大臣の手によつて兎角それが假りに

一時的 にもせよ財界に安定を與へたことは時宜の處置といはねばならぬ、これに對し政友會がどの程度まで攻撃的質問を發するか知らぬが思つたほどのこともあるまい、金解禁後の財界も無論豫想は許さぬが歐洲戰後の日本が餘り浮かれてゐた結果、今日の悲境を招致したといふので、國民一般も明るい政治をモットーとする現内閣の方針を支持して緊縮といふ一大決心の下に立つてゐる有樣で惡くならうとは思はれぬ、然し

現内閣 だつて緊縮一點張りといふ譯にもゆくまいから財界の安定を見れば更に明るく更に積極的にゆく機會も勿論あらう、今日はホテルに泊つて明日赴旅、太田長官に會つてこの香港丸で歸國しやうと思つてゐる若し風が強いやうであつたら或は鮮鐵經由汽車で歸るやうになるかも知れぬ

特別議會に臨む民政の陣容

議長には藤澤氏內定

【東京二十二日發電】特別議會に臨む民政黨の正副議長候補者初め院內役員については絕對過半數を制せる今日、出來るだけ閥歷、手腕、力量の點より考慮して公平に銓衡のうへ陣容を固むる方針であるが、議長には豫定通り藤澤幾之輔氏內定、副議長には小山松壽、中村啓次郎、廣瀨德藏、牧山耕藏の諸氏有力なるも小山氏に落つく形勢となつた、全院委員長には西村丹治郎、豫算委員長には森田茂、決算委員長には淺川浩、若し全院委員長を革新の大竹貫一氏に讓る場合には西村氏は請願委員長に廻ることゝなつてゐる、その他懲罰委員長に小野眞行、八並武治氏有力、院內總務は前議會通り十名とし、頼母木桂吉、中村啓次郎、小山松壽、廣瀨德藏、田中萬逸、小池仁郎、櫻井兵五郎、原夫次郎、木檜三四郎の九氏が再選され他の一名は山道襄一氏の呼聲が高い、なほ議會の議事進行係には院內筆頭幹事として岡本實太郎氏が當ることになつてゐる

英米駐日大使より異議申込説

【ロンドン二十二日發電】日米間暫定案を日本にてアメリカ提案としてゐるに對しマクドナルド氏は若槻全權に異議を述べたるは既報の如くであるが、英米側はこれよりさきそれ〴〵駐日大使を通して直接日本政府に異議を申込んだとの説がある、なほ兩大使は同時に戰鬪艦問題につき兩國の採るべき或種の態度を暗示し該案の承認を求めたといはれてゐる

租税收入の見積替へは我黨の非難に屈服だ

政府側は無事切拔け得ると樂觀 政友、飽く迄追究の肚

【東京二十三日發電】大藏省議で決定した五年度一般會計歲入實行豫算に於て租税收入約一千二百萬圓減の見積り替を行つたに對し、反對黨政友會は政府は議會解散直後の閣議で五年度實行豫算の租税收入見積りは大體不成立豫算通りと爲すの方針を決定したに拘らず今回その見積り替へをしたのは、我が黨が唱へた

見込過大 の非難に屈服したものである、而して現在における不況狀態より見て僅かに一千二百萬圓程度の税收入見積り替では依然として見積り過大の非難を免れ難く、將來歲出入の辻褄を合せるためには必然苛斂誅求の結果に陥らざるを得ないとて、特別議會に於ける主要材料とする計畫を樹てゝゐるので、濱口首相及び井上藏相に於てこれが答辯方針につき愼重に研究を重ねてゐるが、政府の見解は大體巨額の見積り替を餘儀なくされるやうな場合は

大藏大臣 の手腕が疑はれねばならぬが、僅に一千二百萬圓程度の事では問題とならぬ、まして不成立豫算編成後に於て輸入超過の減退、消費節約の徹底等各種の事情が生じたのだからその實績に應じ關税、一般消費税、官業收入、印紙收入、酒税收入その他に一千二百萬圓程度の見積替を爲すことは寧ろ見積りの正確を示すものであつて、反對黨への屈服でもなければ不成立豫算の税收入見積り過大を意味するものでない、更に將來物價の一般的下落により物品及び工事費に於て約一割程度の國庫餘裕を生ずる見込みであるのみならず

各省協力 して豫算奪取の惡風を棄て經費濫用を愼む決心であるから年度末に於ける歲出入の辻褄は苛斂誅求を用ひずして容易に合ふばかりでなく相當額の國庫剩餘金を生じるであらうといふにあつて、政府はこの方針により容易に無事本問題を切拔け得るものと見てゐる、但し義務教育費國庫負擔額增額一千萬圓を計上せる根據及び財源捻出に關し

貴衆兩院 の追究に對しては政府も説明上相當苦境に立つべく首相藏相はこの點に關し愼重考慮を重ねてゐる

愈よ韓復渠氏 北平公署閉鎖

【北平二十二日發電】韓復渠氏の北平公署は廣西の命に依り本日閉鎖され事務員は全部離平した、これによりて廣西の中央服從は明白となつた

銀輸入税賦課の反對動議

【デリー二十二日發電】印度立法議會は銀一オンスにつき四アンナの輸入税を賦課せんとする政府案及びその基礎とされる政策を排斥せんとする動議を五十六對四十九にて否決した

辭令

【東京二十三日發電】二十二日左の辭令發表さる

副領事（青島）　堀公一
同（上海）　岡崎勝男
同（上海）　井口貞夫
任領事（五等）（各通）
外務事務官　田尻愛義
任領事（五等）命天津在勤

人事

▲堀尾成章氏（南滿工業取締役）二十三日入港の香港丸で歸連
▲津村雅量氏（本願寺住職）同上
▲竹村直臣氏（陸軍中佐）同上來連
▲荒木正二氏（陸軍少佐）同上
▲浦廉一氏（廣島高師教授）同上
▲關屋敏子孃（聲樂家）廿三日午前十一時出帆の奉天丸にて靑島へ
▲村岡樂童氏　同上

天氣豫報

二十四日（北東の風）曇、但し處により驟雨模樣あり
午前十時遼東半島附近を警戒す

各地の溫度

	十一時	昨日最低
大連	六、七	一、〇
旅順	七、三	一、〇
奉天	一三、七	〇、四
營口	一三、二	〇、四
長春	九、〇	零下三、八

日曜日にも拘らず 白鳥、池田を嚴重取調べ

池內檢察官が午前、午後に亘り

民政署の疑獄事件

大連民政署の土地貸下不正事件はその後益々擴大の模樣あり、二十三日も日曜日に拘らず池內檢察官は川上書記と共に午前十時より檢察官第一取調室に詰めかけ、嶺前屯刑務支所から久能看守に護られて顔を見せた金州民政署土地係屬白鳥俊雄に對し扉を固く鎖し嚴重なる取調べを行つた、取調べは正午まで二時間ぶつ續けに行はれ、その間大連署の寺尾高等主任や中島警部補、岸、小川、小平特務が緊張した面持で出入し何事か打ち合せ活動を開始し、正午からは元大連市吏員池田甚太郎を同樣嶺前屯刑務支所より呼び出し引續き嚴重な取調べを行つた

臨幸の光榮に參列者感激

陸軍紀念日祝賀式に列して 岩井支部長の歸連談

全國在鄕軍人聯合會に出席中であつた大連在鄕軍人會支部長岩井勘六少將は二十三日入港の香港丸で歸連したが、サロンに訪へば氏は語る

東京に於ける全國在鄕軍人聯合會は三、四、五の三日間九段偕行社で開催されたが

出席者 は八十名餘であつた、本年は別にこれといつて取立てゝいふ重大案はなかつたが我々の會は國防完備が全使命であるため目下英京ロンドンで開催中の軍縮會議全權委員に對し現在に於ける我國防上の見地から軍縮目的貫徹に對する決議をなし、全國在鄕軍人聯合會の名によつて電報を發した位だ、會議後僕は陸軍戸山學校に於ける十日の陸軍記念二十五年祝賀式に參列したが當日は天皇陛下の御臨幸を仰ぎ且つ秩父、高松兩宮殿下が

御揃ひ 遊ばし參列者一同感激おく能はない有い樣であつたまた式場には白髮、白鬚の老武士が多くこれ等は何れも二十五年前の日露戰爭に奮戰努力した連中で第一軍に從軍した僕も實に感慨無量であつた、日露戰爭當時に於ける司令官としての生存者は奥元帥一人であるが病軀のため參列の出來なかつたことは何れも惜しがつてゐた、餘興としての馬術、武道の天覽があつたがいつもながら勇ましく頗る盛況であつた

參內の丁抹皇太子殿下

丁抹皇儲殿下 御入洛遊ばす

【京都二十三日發電】關西御遊覽の途につかせられたデンマーク皇太子殿下御一行は二十三日午前八時五分京都驛着御入洛、都ホテルに入らせられ十時半桃山御陵御參拜一旦御歸還更に午後一時ホテル御發嵐山に向はせられ京の春光を賞でさせられた後、修學院離宮を御參觀あらせられた、午後六時より洛東南禪寺畔の細川侯別邸に於ける晩餐會に臨ませられ同夜大阪を經て神戸に向はせられ碇泊中のフイオニア號に御乘艦の筈である

來朝した伊太利歌劇團

美人揃ひでお馴染の伊太利カーピ歌劇團の一行は二十日午前十時半東京驛着入京、松竹女優連の出迎へを受け驛頭華やかなる光景を呈した。

映寫技師と館主の死體發見

公安局で死體を引渡さぬ 吉林の慘劇取調べ

【吉林特電二十二日發】大慘事を惹起した當面の責任者永吉活動寫眞館營業主于仁清及び映寫技師龐某兄弟とも出火と同時に踪跡を晦ましたもの如く喧傳せられたが其後調査の結果右三名共火災の現場に燒死してゐた事が判明し其遺族から死體引取方を申出でたが、公安局では事件未解決と稱して引渡さない許りでなく活動寫眞館の保證人裕華工廠主、豐順棧主の兩名及映寫技師の遺族までも拘引した、又吉林副司令部でも出資關係者である軍醫處員印振民、元寶山二名を逮捕取調中である

尚永吉縣長王煬氏は二十日各病院に至り入院中の罹災患者を慰問したが其最も重傷患者は十五六名で內危篤に陷つて居る者が數名あつたと、省會公安局では二十日迄に引取らざる死體十七個を巴虎門外の桃園墓地に假埋葬した

伊東附近に又も强震

石垣が崩壞

【東京二十三日發電】伊豆伊東町では二十二日午後四時三十分頃から連續的に地震が起り午後五時五十分强震襲來し震幅五十ミリ、震源地は伊東町から二里の沖合海底であると中央氣象臺伊東臨時出張所から發表された、同町では强震と同時に屋根瓦落下し石垣が崩れ瀬戸物其の他の商品の破損したもの頗る多く初震以來の最大の强震とて地震に馴れ切つた町民も狼狽して戸外に飛出した、中には家財道具を持ち出し避難準備をしたものもあつた

熱海、伊東間の東海自動車會社の乘合自動車は網代、宇佐美間で此の地震に遭ひ山上より岩石落下し窓硝子四枚を破壞し自動車の天井に大穴を開けたが乘客は無事なるを得た、因に同町は二月以來三千回の地震があつた

若槻全權が一日の興に イギリス名物の狐狩り

【ロンドン二十二日發電】ロンドン滯京三月の我が若槻全權は久し振りで南イギリスの山野を跋渉イギリス名物の狐狩りに一日の興をやることゝなつた、令息有格氏等を從へロンドンより南へ五十哩日本協會員ウイリアム、グランサム式の所有リュース市に近いビイバアブリッヂの獵場である

萬國植民博覽會 明年巴里で開催する

わが國で出品の準備を始む

【東京二十三日發電】今回フランスパリーに世界各植民國の植民事業の現狀を相互に紹介し植民地に對する移出品をも展覽し以て未開半開種族の指導啓發事業につき先進國の協力を圖る目的で萬國植民博覽會を來年度中に六月間に亘つて開催される事となり此の程フランス政府から我政府宛招請狀が到達した

參加諾否に就ては外務、拓務、商工、大藏、各省間で合議の上決定する筈であるが拓務省では植民博覽會と云ふ如きは今回が始めてでもあり相當意義ある事で極力參加の方針である各植民地當局に出品準備につき非公式通牒を發した

學生視察團 けふ皮切り

小林中學來る

既に觀光視察團のシーズンに入つたが二十三日入港の香港丸で宮崎縣小林中學校新四年生二十七名が山崎教師ほか二名の教師に引率されて來連し本年の學生視察團としてのトップを切つた、一行は十二日の豫定だといふから可なり忙しい旅行だが旅大視察後奉天撫順を見て鮮鐵經由歸國の途につくと

沼田博士奇禍

【東京廿三日發電】小石川區原町一二三九文學博士沼田賴輔(六〇)氏は廿二日午後一時三十分頃同區瀧籠町廿三番地先で自動車に觸れ轢き倒され腦震盪を起し順天堂病院に入院したが重態である

埠頭の雜沓を物語る數字

定期船の出入港日に 水上署で交通の調査

定期船の出入港毎に潮の樣に大連埠頭に集りそして散つて行く人達陽氣になると共に愈々その雜沓が輪をかけられて行くが、水上署保安係りでは「一體一時間に平均何臺の車が通り何人の人達が出入するか」最近六日間の定期船の出入港日に據り調査をしたところによると最も交通頻繁な時刻の一時間平均步行者が千四百六十名、電車七十八臺乘降者千八百七十四名、自動車四百九十八臺人力車百六十七臺、乘用馬車二百十五臺自轉車五百卅九臺、オートバイ十三臺といふ數字を示してゐると

旅大釀造業者の清酒品評會開催

來る二十八日旅順で

關東州酒造組合旅順支部では來る二十八日市役所樓上に於て旅大酒釀造業者の第九回清酒品評會を開催して新酒の品評を行ひ、二十九日午後零時三十分から優良釀造業者に對して西山署長から褒賞狀の授與式を擧行するが、出品者豫定數十五名出品點數六十點に及ぶ豫定で、出品希望者は本月二十六日迄に民政署迄申込まれ度いと審查員の氏名は左の通りである

▲審查委員長滿鐵中央試驗所長世良正氏▲審查員保坂泰三、河野政明、黑岩德太郎

國債償還獻金

國債償還獻金としてその後大連民政署に申出た者左の如し

▲一圓大連八幡町世外生▲十二圓十二錢山城町修養寮員松井寛二外三名▲百圓大連婦人會田中キヨ子外百四十九名▲三十圓大正小學校吉岡喜三郎▲一圓同森脇達子▲五十七錢同南三仁▲五千十四圓十五錢滿鐵社員會▲二百八十五圓(有價證券)同上▲二十圓九十五錢大連神明高等女學校四年梅組卒業生木下初枝外四十三名

滿鐵社員獻金

滿鐵社員會取扱の獻金第五回は債券六百六十五圓を二十四日大連民政署を通じて納入されることゝなつた、獻金は現金のみ取扱はれてゐる關係上これ等債券は多分大連民政署に於て現金に交換されることにならうと見られてゐる

北平凧展覽會

大連にある支那歷史風俗資料蒐集會では豫てから北平凧並に玩具の雅致を紹介する意味にて蒐集中のところその大部分が到着したので二十五日(火)午前九時から午後五時まで市內紀伊町中日文化協會內に於て北平凧並に玩具展覽會を開催し廣く日支同好の觀覽に供することになつた

張宗昌氏入京

【東京廿三日發電】張宗昌氏は前渤海艦隊司令官溫樹德氏以下を從へ廿三日東京着帝國ホテルに投宿

支那學生上海へ

馮庸大學學生一行二十名は馮庸氏引率の下に、又哈市特別區中學生十三名女學生五名は李又晟氏に引率され杭州に於ける大運動會參加のため二十三日午前十一時出帆の奉天丸にて上海に向つた

兒童英語學院募生

市內敷島町基督教青年會兒童英語學院にては四月五日開始の新學期に入學を許すべき尋常四學年以上の兒童四十名を募集中だが詳細は同院に照會ありたしと

滿日軍勝つ

二十三日午前九時より滿洲日報C倶樂部對大廣場青年訓練所とスポンヂ野球試合を大廣場小學校々庭に於て擧行したが十二對八にて滿日辛勝した

模擬火災

大連家庭防火普及會では沙河口警察署及び大連消防署後援のもとに來る廿四日午後四時から沙河口市場裏空地に於いてアンプル式輕便消火器實驗模擬火災を行ふと

キネマ座談會

本社主催

火災を起し易い映寫室の注意

觀客は火を見たゞけでも騷ぐ

映畫館の防火設備(一)

時日 廿二日午後六時

場所 滿鐵社員倶樂部

出席者(順序不同)

大連署保安係主任 原田貞一

映畫檢閲官 內田愛吉

消防署長 今井民造

大連二中校長 丸山英一

朝日小學校長 櫻井勤四郎

滿鐵社會課 能登博

滿鐵社會課 花井隆一

滿鐵情報課 芥川光藏

滿鐵社員倶樂部 眞殿星麿

帝國館主 南信二

大日活館主 長次郎吉

常盤座主 小泉友男

演藝館主 小田本澄

寶館代表者 姫路紘二郎

滿洲日報記者 青山捨夫

同 長谷部貫一

同 工藤興吉

工藤 本夕は御多用中にもかゝはらず多數御列席下さいましてまことに有難う御座いました、過日鐵海の大慘事に引續きまして吉林にも同樣の事件があり時節柄映畫上映に關して防火設備の研究が必要であると思ひますが先づ最初に此の問題を話題として御意見を承はりたいと思ひます、今井さんの御意見は如何ですか

今井 さあ、僕が話してはどうかと思ひますが、司會者の御指名もあり、私の現在たづさはつてゐる仕事の關係もありますので私の意見を簡單に申しませう、防火設備については興行取締規則に明記されてはゐるが、細部に亘つては規定されてゐないのです、しかし非常口については嚴然たる規定が出來てゐます、鐵海や吉林のあつた大慘事は實に痛心の到りですが、兩所共映寫場は非常時に對する何等の設備がなかつたのだと思ひます、これに比べると當地にある各常設館は相當完備してゐると思ひますが、理想的と言ふまでにはまだ〳〵距離があります、映畫館の火災といふも先づフイルムから發火することに決つて居ます、此の間も大阪毎日に載つてゐましたが、如何にしてフイルムの燃燒を防ぐかについては十分研究されてゐます、しかし經費の關係もあるので、すべての映畫館にさうした設備を要求することは困難でせう、それで結局映寫技師が優れた技術者であることが必要となります、防火の方法としては平素から砂だとか、濡れ毛布などを用意して置くのが最もよい方法だと思ひます、粉末消火機なども非常に有効です、こうした防火設備をして置けば、萬一フイルムに燃燒するやうなことがあつても大した慘禍も起らないで濟むと思ひます、上海では映畫館の非常時に對する監督を消防夫がやつて居て現に興行場には警察官は行つて居りません、その他上海の常設館は非常時に對する設備が完備してゐるので觀衆も安心して見られるわけです、非常口については大日活や常盤座などは新設館であるだけに相當考慮されてゐますが更に一歩を進めて建築も完全な耐火設備にして貰ひたいものです、機械室の設備も現在のものでは極めて不完全です、フイルムが燃燒すると火の手がパツと上りそれが映寫窓に映るため觀衆に大なる恐怖を與へるのであるから、逸早く窓を閉ぢるやうな設備にするのがよいと思ひます、百度なり百二十度なりの熱度に遭へば自働的にシヤツターが閉ぢるやうな設備になつて居れば甚だ結構なんですがね

工藤 協和會館でも何か防火設備をするやうな話を聞きましたが……

能登 麻袋だとか其の他適當なものを備へることにしてゐます

工藤 大日活はどうなつてゐますか

長 私の方はたとへフイルムに火がついても機械場から火が出ることがないやうになつてゐます

工藤 こゝの常設館はいづれも天井の防火設備がないため、いざといふ時には直ちに火が天井にぬけるだらうとは某專門家から聞いた話ですが今井さんの方ではこの點についてどうお考へですか

今井 何とかしなければなりますまいね

艶色生膽秘譚（60）

伊藤松雄作　河原塚龜太郎畫

異人館（四）

急激に鳴りわたつた鈴の音に、二人はギヨツとして立すくむだ。と、女は聲も朗らかに笑つた。

「お驚きないますな、あれは旦那様が御用でお呼になる鈴で御座います、一寸お待ち下さいまし」

對手がひつこむと左近は無腰のまゝ、テレ臭さうに三藏を顧みた。

「とかくかうした異國風には慣れぬで喃」

「逢つてくれるでせうな、あの阿魔め、刀をそのまゝ持つていつちまやアがつた」

三藏は隻脚を石階へのせたまゝ及び腰にのぞきこんでゐる。

眼が薄くらがりに慣れたせいか玄關正面の廣間がはつきりと見渡された。

處せまく並べたてられた調度は蘭川屋敷のそれと大差なかつたものゝ、何かからムウツとむせ返る香料が眩めくやうに感ぜられた。

しかも壁面には生けるが如き異國女の裸像が數へきれぬほどかけ並べてある。

女はなかなか戻つて來なかつた。

遠く海鳴の音がきかれて、戸外は西陽がかげりはじめた。

「まだかな、どうなるとだらう」

「こいつア蘭川先生、ここにかくまはれて、お仙までが乙う納まつてるてえ……」

「そんなことはあるまいよ」

左近はかるく頭をふつて否定したが、三藏めの戯弄口にこそ一笑を以て酬ひはしたが、さて大川の夜めぐりあふた尼僧姿の女賊あれが果してお仙ならばと、いつか心の底に芽を吹きだした淡ひ戀心には出來なかつたのである。

處へ女が三度出て來た。

「蘭川様の御行方をさがしにお出なさつたとやら承りまして、主人もお眼にかからうと申します。どうぞお上り下さいまし」

「おお、お逢ひ下さるか、それは忝じけない」

左近は三藏にめくばせするや、ズイと上つた。

「どうぞこちらへ」

通されたは玄關突當りの應接間

女が甲斐々々しくカラカラとひけば、窓の玻璃戸をいままで蔽つてゐた緋色のカアテンがまきあがつて薄暗かつた部屋内に夕陽がさつと流れこんだ。

と、壁面の裸線は愈々命をふきこまれた如くいまにも躍動せんばかりに生き生きと輝いた。

處へ、足音重く入つて來たはヴランギーラその人であらう。

ゆつたりしたガウン姿で、白皙肥大の壯漢、血色美るはしい双頰にはにこやかな微笑をたゝへてゐたが、その眼光は極めて鋭く、左近に、三藏にヂリリとむけられた。

「おゝ、私ヴランギーラです」

日本語は極めて流暢明晰である。

「申遲れました。それがしは浪々の武士宮川左近、これなるは伴の三藏」

「おゝ、三藏さん知つてゐます、左近さん、あなた血卍組の」

「仰せの通り」

ヴランギーラはホツとしたらしく二人に椅子を與へて、卓上の葉巻をおしすすめたのち、いきなり唇を開いた。

「蘭川さん、どうしてゐます？もう廿日近くも見えません、病氣ですか、それとも……」

「ああ！」

蘭川の行方をヴランギーラにこそ訊ねやうと思つてゐたに先手をうたれて左近はハツと氣をのまれた形。

「蘭川さんどうしてゐます？」

ヴランギーラは重ねて訊く。

新劇團の惱み（二）

實際と經驗から割り出して

五斗計器

次はメンバーを擧げて血の出る様な努力の問題である。之が即ち見るゝ當ると相違のある問題である、芝居は決して舞臺の様な華やかなものではない事が斷り判らなければならない。新劇團は何時如何なる場合でも俳優と宣傳部員と切符賣と舞臺裝置者と効果部員と出方と警察其他外部との交渉員と一切合切が同一人でなさねばならない、金がない以上仕方がない、稽古は忙しい警察は八釜敷い客は來るか來ないか判らない、等々々兎に角恐ろしく氣の揉めるものである。

殆ど不眠不休で身神共に瘦せる思ひのするものである、いゝ氣持ちになつて芝居をしやうと考へて居た人達に此の努力が果して出來るだらうか。尤も全部が努力する決心があるなら非常なる努力する事に依つて解決されるが內幾人かは無責任に俳優丈を勤め他の仕事は一切しない、結局萬事に心を使つて走り廻る者は責任者と外二三人と云ふ場合が多い。斯うなると努力する者は馬鹿々々しくなる、そして其處に起る問題はメンバー相互の不和である。感情問題である然し新劇團にはどんな端役でも一人缺けたら問題である。幹部に對して眞面目な幹部が注意乃至は喧嘩を仕かけ様にも「では止めさせて貰ふ」と云ふ事が恐ろしくて切り出せない。そして結果は千落ち許りの出駄羅目の芝居となつてしまふのである。私は過去に於て斯うした經驗は上演毎に遭遇して隨分手を燒いた。だから私は上演となると一人で一生懸命奔走し過ぎた爲のぼせて必ず眼を惡くした全く自分は誠心誠意努力して居るのに不良分子がいゝ氣持ちになつて俳優氣取りで駄ボラを吹いて居るのは拳骨で撲りたい位癪なものだ、然し其處で喧嘩をしてはいけない事を幹部たるもの充分承知して置くべきだ。だから此の問題を避ける爲にも宣傳交渉等舞臺外の一切を他に委せる事の出來る所へ贊助出演等を爲して練習するのは又賢明である。

次は人物不足と女優の問題である。一體一劇團にメンバー五十人以上と云ふ新劇團があるだらうか勿論ない。いゝ所二人位の出來る人と後は理窟屋と馬の脚七八人合計十二三人と云ふ所が普通だらう。これ丈の人數では一切合切の仕事と三幕位を上演して會費を取る事は難儀である。寧ろ不可能である其處で現在東京では須田町の角に新劇聯盟事務所を置いて時々一幕宛の競演發表をなして居る。非常に確實な方法であるから金錢問題は決して起らない。そして可成りの成績を擧げて居る。女優の問題であるが荀新劇團に一流二流の女優が出演する事は金から云つても姑勞から云つても全く不可能だ。素人の研究生を使ふより仕方がないが之とて少し上手になると必ずいゝ劇團に入つてしまふ。「女にすたり物はない」と云ふが此の邊にも適用出來る樣だ、宮部靜子や谷崎龍子や、廣瀨澄子等ともやつた事もあるが一寸名が知れると中々云ふ事を聞かず新劇團に取つては寧ろ玄人より素人の方がいゝ場合もある新劇團の女優難は殆ど付き物の様に惱まされる事だ。

演藝

鎭海義捐の長唄會

廿七日夜開催

長唄紫竹會並に滿洲商業新報社主催で來る廿七日午後七時から大連ヤマトホテル大廣間に於て鎭海罹災者義捐長唄演奏會を開くが、出演者は二世望月久三郎師杵屋六紫及び紫竹會連中で會費は五十錢で當夜の番組は左の如し

▲元祿花見踊（唄）春枝、幾千代、桃千代、妙吉、ゑくぼ、福助、若吉（三絃）小文、胡蝶、すみ三、駒榮、秋子

▲雛鶴三番叟（唄）桃太郎、晉千代、小久、萬作（三絃）樂次、三千代、政次、久丸（囃子）小鼓晉丸、同すみ三、同秋子、同ゑくぼ、大鼓お鯉、太鼓八千代子、同小文

▲五郎時致（唄）晉丸、喜多八、春枝（三絃）小文、駒榮、上調子八千代子（囃子）小鼓三千代、同久丸、同小久、大鼓樂次、太鼓晉千代、同秋子

▲新曲惜しむ春（唄）千代次、桃太郎（三絃）晉丸、しん

▲傾城（唄）お鯉、千代次（三絃）晉千代、樂次

▲新曲浦島（唄）お鯉、桃太郎、千代次（三絃）杵屋六紫、晉千代、すみ三（囃子）小鼓二世望月久三郎、同三千代、同小文、大鼓晉丸、太鼓樂次、同八千代子

中川伊勢吉

圓千代と來演

浪曲全盛の大連にまた大阪親友派の元勳として自他共に許してゐる中川伊勢吉が女流浪界に名聲のある京山圓千代と合同して近く歌舞伎座に來演することになつた、圓熟の域に達した伊勢吉の藝と美聲で有名な圓千代の藝とで必ず好浪家の喝采を博するものと期待されてゐる

關屋敏子孃

けふ青島へ

旅大及び奉天に於ける獨唱會に出演した關屋敏子孃一行は今廿三日出帆の奉天丸で青島に向つたが、廿五日青島で獨唱會を開き天津に赴き卅日再び來連し卅一日出帆のはるぴん丸で內地に歸り中國筋を巡演する豫定である

ラヂオ

大連　JQAK　三月廿四日午後七時

◇露語講座（第三十二課）大連語學校グロースマン

◇ハーモニカ（一）合奏バグダツトの酋長（二）同磯節し（三）二重奏輕騎兵（四）合奏オーバーゼアー（五）同森の鍛冶屋　指揮者廣瀨進、GDハーモニカソサイテー

◇箏曲（七郷落山田流箏曲）（中雲井調後曙くづし）箏渡邊晴溪、同伊集院夫人、同渡邊春子、尺八名和榮次郎

◇長唄（新曲浦島）快樂六紫會社中、唄お鯉、同桃太郎、同千代次、三味線杵屋六紫、同晉千代同すみ三、鳴物小鼓二世望月久三郎、同三千代、同小文、大鼓晉丸、太鼓樂次、八千代子

◇萬歲（電氣數へ唄、電氣小唄）川田梅次一行

◇料理獻立

◇天氣豫報

文藝

「太陽のない街」を觀た報告、其他

大内隆雄

1

左翼劇場の「太陽のない街」を見て來ました、御承知でせう原文は。プログラムを入れて置きますから御覽なさい。四幕十一場ですでも少しもダレない處は効果の上手な點ばかりでなく熱と意氣に有ると思ひました。劇中の人物と觀客とが區別ない程度に迄引入れるだけの熱のある演出でした。

觀客も熱心でした、そして大半は大學生です、中に東洋モスの女工職工が六十人來ていました。席はギッシリです。仕事を終つてそれから來る女工さん達六十人の席を取つて置く爲めに、他に立つて居る人に話す接待掛の人の言葉が——中程に少しの空席が有りますそれは仕事を終つて見に來る東洋モスの女工さん達六十人の席なんです、半分にも足りない處へ坐つて頂くんです、何うかその點許して頂きたいと思ひます——やさしいでせう、客も——異議なし——と答へていましたわ。

一人一人の批評はやめます、凡ての人が熱心に演出していました目立つて居たのは平野郁子、高橋豐子(築地)でした。

舞臺裝置、照明は相變らず實に簡短です。そして非難の點は有りません、暗轉暗轉で幕合は緊張の間に進んで行く、それなど劇と良く觀客の心理とを摑んで居ると思ひます。

2

こゝに敢て私信の一部をそのまゝに寫したのは、私一人でそれを秘めて置くに忍びなかつたからに外ならない。私は原作小說「太陽のない街」がどれだけこの殖民地で讀まれたかを知らぬ。またその脚本の載つた「世界の動き」がどれだけ賣れたかを知らぬ。——しかし、人は世の所謂劇評家が、その劇場のこの公演を成功だと言つたのを讀んだであらう。しかも出演者の大半は素人の小市民、勞働者であることを人は聞いたであらう。——前の手紙には觀客に大學生の多かつたことを言つてゐるがそれは土曜か日曜のマチネーであつたからかも知れない、しかしその劇場に浪打つた特殊な空氣は、彼女を動かしたのだ。——何故に?人はそれを考ふべきであらう。

3

近着の大朝には、山本安英すらが意識的に進歩的な劇團に働くことの喜びを書いてゐる。——演劇は何處に行く?それは現代藝術の一角を占める我々の問題である。

大連の三つのアマチュア劇團はそれぐにその活動を開始した。ラヂオも確に取り上げらるべき職場である。しかし、それが郊外の宏壯な住宅のアンテナに傳へられるにとゞまるならば、私達はそれを寂しいことに思ふ。

滿洲新劇場が(私もそのメムバアの一人だが)その公演に「ドモ又の死」を選んだことは、種々の條件を考へるとき、恐らくは最も當を得たものであると言へやう。災禍の後の日比谷で、大衆のために演ぜられた場合と、今度の特殊な集會の場合とはもとより異る。しかし私達は、惜みなく私達の働きの場所を求めたのだと言ひたいこの演劇行動に關する限り、私達はあくまでも私達の藝術を目指すのであつて、既成團體や、或る宗敎とは全く無關係である(三月十五日稿)

滿洲新劇運動に關し青木實氏へ

後藤計吉

青木實君が滿鐵の東京支社に居る人だと云ふ事を確めて私は青木君及青木君の書いた物を讀む人達に申上げなければならない。私は青木君の物を常に讀んで其の演劇に對する造詣に敬服して居た。而して其の見識を持ち乍ら何故積極的に新劇運動を起さないかを疑つて居た。所が事實上滿洲に現住する人でない以上到底不可能な事が判つたと同時に先週の本欄「小劇場運動に關する悲觀的一考察」を見て君の餘りに抽象的な餘りに優越的な論旨を反駁せずには居られない。

君は先づ新劇運動の行き方を精神的文化的生活を背景としたモガモボ氣分の行き方と、左翼劇場の云ひさうな物凄いプロレタリヤ演劇運動の夫と二ツの行き方より外にないと先で獨斷してゐる。之が東京の様な土地だつたら或はそうだと私も肯定する。然し此處は滿洲だ君も其の特殊地域たるを認めて居られる様に現代の新劇運動の流れ乃至傾向を直ちに滿洲へ當て箝める事が果して妥當だらうか。

伊勢松雄氏が主宰される町の劇場の存在意義を君は忘却して居られる。で滿洲を背景として生れた大連の新劇運動が郷土藝術の立場からどんな色彩と効果を生み出すだらうかの考へを缺いで居る。大連の三劇團は各其處に一つの使命があると共に又、劇運動の初期に於て芝居の見方——民衆の——に對する指導機關の役割もなして居る、即ち講演會や新聞に依つて現在の劇に興味を持つ様な民衆の低級な鑑識眼を高めて地分巡業の一流劇團に出鱈目な芝居をさせない、と云ふ所に仕事の一つがある。倘滿洲と云ふ名前から無味乾燥な此の土地に假令それが如何なる行き方であらうとも一つの潤ひを持たせる爲に芝居と云ふ娛樂物を提供しやうと云ふ所に又大きな目的もある。

青木君は常に滿洲の新劇團を餘りに大きく買ひかぶつて居る。その結果決して當箝まらない藝術論描象的な議論倒れとなり、結論に於て「大連市の三劇團に對して現在では餘り大きな期待を持てない」と優越的な悲觀說を出さねばならなくなる。

成程私も青木君と全く同樣な意見を持ち又事實劇團進出を勸誘されて馬鹿々々しさに長い間謝絶し續けた時代がある。然し文明國の思想を以つて野蠻人を律する事が出來やうか、赤んぼを見て、その子供の將來及現在にても期待が持てないと獨斷する事が許さるだらうか。私は悟つた、百の抽象論千の小理屈が何の役に立つか、時と場合に依つては自身舞臺にも立たうと決心して遂々新劇運動の渦中に捲き込まれてしまつた。そして私はそうでなければならぬと信じて居る。

青木君の所論は倘早である二十年も文化の相違した土地に假令それが眞實であつても如何にしてそれを受け入れる事が出來やうか。もう少し後の時代には私も同樣議論したいと思つて居る。青木君が現代の新劇運動に於ける如何なる位置にある人か私は全く知らない。然し滿鐵支社に在る以上全然滿洲を知らない事はない筈だ、そしたら斯うした目先のきかぬ事もない筈だ。で私は抽象的悲觀論を冒頭に投げ與へられるよりも現在三劇團創生又は更生して互に自分の劇團が一番確かりして居るんだと罪のない競爭を續けて居る幼年期に當つて寧ろ、激勵の詞でも貰つた方がどれ丈効果的であるか分らない。そしてもう兎に角永續せしめる事が大切だと思ふ。少くとも「線香花火の如く一時的に、果かなくも解散するに過ぎない」と皮肉くるは餘りに暴言だと思ふ。最後に私は君が本社詰を志望されて大連に轉勤の曉は新劇運動の渦中に飛び込まれて豐富な識見と卓絶して居るであらう技量に依り積極的にリードされん事を希望する。

星ケ浦行

召水

三月十九日午後、大每の石村老に伴はれて星ケ浦に遊ぶ。濤聲耳に懐しく、石村老の星ケ浦の美を我に誇るしきりなり、汀に佇み、松山にのぼり、しばらくにしてホテルの卓に倚る。偶々入り來れる二人連の支那紳士、それと殆ど同時にドヤドヤと入り來れる美しくも着飾れる十數人の女群。女群の擁せる賓客といふは洋裝あでやかに今ぞときめける關屋敏子孃。かの別なる卓の二人連の支那紳士は昔ときめける前國務總理潘復氏と五省聯盟の盟主たりし孫傳芳氏。しかも孫傳芳氏は石村老の舊知、潘復氏と余とは所謂北京時代の面識の間柄なるに、四者ゆかりなくもこゝに會せるを喜び、ひとつ卓を圍みて四方山の話に談笑しぬ。その昔、五省聯盟の采配を振りし頃は新聞記者の襲擊に日本語は話せぬと、とぼけおふせる孫傳芳氏の今日は、その巧なる日本語を使驅して石村老としきりに語るも面白し。やがて石村老と余とは別の卓に退き、彼岸の海を前に、紅茶をすゝりて子規の句など語る。

午過ぎの山にのぼるや春淋し　石村

松山に海の風聽く彼岸かな　召水

大和町、石本邸に寄寓して(二階の窓から)

春曉や山の拳の五つ六つ

彌生池の夕べ

山の日の池に映るや春かなし

昨日を揚棄して明日のシネマへ

キノ・キイとアヴアンガルド

(三)

大庭武年

以上で我々はシネマの「昨日」と「今日」とを檢討した。されば シネマの「明日」とは如何なるものであるか?

我々はシネマに於ても辯證法的生成發展を考へる。未だ藝術的には第一段的過程であつた「明日」のシネマに對して「今日」のシネマはとりもなほさずテーゼに對するアンチ・テーゼの位置にあると考へられ得よう。即ち我々には茲に「昨日」の揚棄が考へられそして「明日」のシネマの出現が信ぜられるのである。そしてそれが決して空論でない事は、既に先覺者なる一部シネアストの手に依つてロシアに於てはキノキイが、フランスを中心としてはフイルム・アヴアンガルドが、シネマに於ける新しき存在を主張しつゝある事に依つて實證されてゐるのである。

此れ等新しきフイルムは、過去のフイルムからは著るしく蟬脫し乃至は甚だしく變貌してゐる。然し乍ら過去を母胎としその過去の正しきエスプリを受け繼いでゐる事は明らかな事實であり、換言せば、一層强くシネマのエスプリを掌握して來てゐるものと言ひ得られるのである。我々は將しくここに「昨日」の揚棄された姿を見るのである。そしてこれこそ我々純粹シネ・ファンが期待すべき「明日」のシネマでなければならぬと考へる。

然らば、平易に言つて、キノ・キイとは如何なるものか、フイルム・アヴアンガルドとは如何なるものであるか——。

一體シネマの表現能力には敍事的寫實性と樣式的感覺性の二つがある事は誰れにでも認識される事であらう。即ち前者はストオリイを形づくり、後者は所謂映畫美なるものを形成する。此の二つが然と無自覺的にミクストされてゐたものが從來のフイルムであるがそれがシネマの本質探求運動に依つて、截然と分析され各々は各自獨特の方面にその特性を顯揚するに到つたのである。即ち、シネ藝術を敍事的寫實性のラインに沿ふて押しつめて行つたものがジガ・ヴエルトフ一派の主張する「超藝術的實寫映畫」即ちキノ・キイであり、その反對に樣式的感覺性の上に極端に尖鋭化したものがルネクレエル一派の「絕對藝術的映畫乃至純粹藝術的映畫」と稱さるゝフイルム・アヴアンガルドなのである。

ルドルフ・クルツに從へば、兩者は次の如く說明される。

「——キノ・キイにあつては、シネマは、事實の工場、事實の攝影、事實の分類、事實の擴張事實に依る感激、事實に依る宣傳、事實の擧、シネ妖術への反射、シネマの虛僞への反射である。…(云々)」

フイルム・アヴアンガルドに就ては——

「——心理的拘束からの解放を根本的に推し進めて行けば總ての個性的な自然の形象の最後の痕跡も抹殺され、たゞその數學的の形のみが殘留すべきである何となれば數學は「無拘束なること」の主觀的形式なのであるから、これが絕對藝術の立場である。斯の如き「絕對藝術」の上に立つた「絕對映畫」にあつては、從つて物語りも筋も事件も又因習的な人間も現れて來ない。自然を根本的に排除するのを原理としてゐる故、總て歷史的な世界を聯現するものが悉く拒否されてゐるのである。そして幾何學上の形狀が相互關係をし乍ら現れて來、そのコンポジションの中に精神的なもののドラマが行はれるのである。……(云々)」

此の說明文は甚だ難解であるが二三回の反讀によつてその意味を汲取され度い。

要するに、キノ・キイは巧なモンタアヂュに依る實寫映畫であり然もそれに注ぎ込まれたイデオロギイは異常な藝術的迫眞力を以て觀客の胸にアッピールするのである。一言にして言ふならば、キノ・キイはシネ藝術のメカニズムと社會的イデオロギイの完全なる一元化であると言ひ得よう。殘念ながら我々はキノ・キイの一篇にすら接し得られないけれどレニングラードに於ける勞農國立映畫會社「ソフキノ・ファブリカ」に働らく天才的映畫勞働者エイゼンシュテイン、又はプトウフキン等の手に依る「戰艦ポチエムキン」が、「母」が、又は「マルクス資本論」の映畫化が、如何に驚嘆すべき「明日」のシネマであるか、それは噂に依つても察するに難くないのである。(續く)

附記——勞農映畫に就ては參考書の整理を俟つて改めて稿を起す事にする。茲では簡單に有名な二三映畫名を擧げて、大體どのやうな內容のものがキノ・キイとして製作されてゐるか示して置かう。即ち前記の外に「全線」農村經濟振興を主題とする經濟實寫映畫(エイゼンシュテイン)「トゥルクシブ」鐵道建設を主題とする經濟實寫映畫(トウリン)「帝國の破片」ソヴエツト十年の建國(エルムレル)「十月」十月革命の記錄等々のものがあるやうである。

ラヂオ露語講座

大連放送局三月二十四日午後七時半

講師大連語學校グロースマン

第三十二課

ТРИДЦАТЬ ВТОРОИ УРОК.

(Продолжение разговор на почте).

А.—Пожалуйста, дайте мне три десятикопеечных марки и две семикопеечных.
Скажите пожалуйста, имеются ли у вас открытки.

Чиновник.—Конечно, имеются.

А.—Сколько оне стоят.

Чиновник.—Полторы копейки каждая.

А.—А где у вас принимаются телеграммы.

Ч.—Телеграммы принимаются в следующей комнате-дверь направо.

А.—Скажите пожалуйста, где я могу получить бланки для телеграмм.

Ч.—Бланки имеются вот на том столе

А.—Скажите пожалуйста, вы принимаете телеграммы в Москву.

Ч.—Да, с сегодняшняго дня мы принимаем телеграммы до Москвы.

А.—Сколько стоит туда телеграмма.

Ч.—Каждое слово стоит 10 копеек и плюс 15 копеек за бланк.

第三十二課

(郵便局ニテ會話續キ)

A.—何ウゾ私ニ十錢ノ切手三枚ト七錢ノヲ二枚下サイ。
何ウゾ言ツテ下サイ，貴方ノ處ニ葉書ガアリマスカ?

局員.—勿論アリマス。

A.—ソレハ如何程デスカ?

局員.—一枚一錢五厘デス。

A.—貴方ノ處デハ電報ハ何處デ受付マスカ?

局員.—電報ハ次ノ部屋デ受付ケマス—右ノ方ノ戶口デス。

A.—何ウゾ言ツテ下サイ，電報ノ用箋(頼信紙)ハ何處デ戴ケマスカ?

局員.—用箋ハソレアノ机ノ上ニ在リマス。

A.—何ウゾ言ツテ下サイ，貴方達ハモスコーヘノ電報ヲ受付ケマスカ?

局員.—ハイ，吾々ハ今日カラモスコー迄電報ヲ受付ケマス。

A.—アソコハ電報ハ如何程デスカ?

局員.—每一語十錢ソレニ用箋ニ對スル十五錢ヲ加ヘマス。

滿洲日報

社説

利權と瀆職
社會正義のため糺彈を望む

明るく、正しき政治を標榜する所の濱口内閣は、昨夏組閣以來、社會の裏面に潛在せる、總ゆる不正、邪惡の剔抉に努め、現に司直において審理中のもの少くない。曰く賣勳事件、曰く越鐵事件等は代表的疑獄事件である。斯くの如き幾多の不正の檢擧されるとは政界、財界の革正に至大の好影響を及ぼすのみならず、不正は必らず制裁を加へらるゝものであるといふ活教訓を一般社會に與ふるもので、吾人は双手を擧げて、司直府の嚴正なる裁斷を歡び迎へる者である。殊に最近關東廳の司法當局も亦、關東州内において行はれたる不正事實の摘發に努力しつゝあるは、在滿邦人の堅實なる發展を期する上に、最も效果的なる處置であり、同時に社會正義の確保さるゝは、誠に感謝に堪へぬ。

◇

從來在滿邦人中には不正手段により利慾を貪る、所謂利權屋が多いといはれ、また實際において不當なる利權を獲得せる者あるは、幾多實例に乏しくないのである。この利權屋の跋扈は、正しき社會人に不快の念を與へ、且つその活動、發展を妨害し、更に正しき者をも誘惑する危險を伴ふこと往々あり、識者の常に深憂する所である。殊に對支、對露關係密接なる滿洲において、不正が行はるゝことは、邦人の對外的信用を傷つけること甚しく、その影響の甚大なることといふ迄もない。

◇

何故に滿洲において、不正なる利權運動が行はれるか。それはその環境に、運動の目的物の多きによること勿論であるが、其半面においては、容易に利權を與ふる所の不正なる當事者が居るためであつたともいひ得られる。即ち如何に巧妙なる運動が行はれるとしても、苟くも當事者の意思にして鞏固であるならば、不正不純なる目的は達し得られるものではない。されば利權運動の行はれる餘地を與へる當事者もその責を負ふべきは當然である。目下檢擧中に在る官有地拂下乃至貸下に絡まる不正事件摘發によつて、當事者が假借なく制裁されることは、綱紀肅正上好結果を齎らすべきを信じて疑はぬ。

◇

近時何故に官公吏の瀆職事件多きか。それは物質文明の餘弊として、一定の收入によつて衣食し得るに拘はらず、富豪の奢侈を羨望のあまり、清貧に甘んずる能はず身分不相應の虛榮心に驅られて、昨日の君子、今日變じて謠詐の瀆職を敢てし、師直、九太夫となるのである。世に師直、九太夫を以て、武士魂なく、商人魂ありと評する者あるも、それは淺見の至りで下等なる武士魂はあるも、商人魂などは毫末も持ち合せてゐない。利を求めるを職分とする純良なる商人には高潔なる商人魂がある。商人は取引に當つて、厘毛の損得を爭ふと雖も、それは正當なる方法を以て、報酬を得やうといふので、邪なる方法を以て不勞の利得を取らんとするものではない。彼の商業都市には瀆職事件起らずと大阪商人が自負する所以は、生れながらにして、損得の觀念を有し不勞利得を卑しむがために外ならぬ。されば官公吏にして利得を念とすれば、須らくその地位を去つて、天秤を擔ぎ、前垂姿となるべしである。官公吏たる者大分を自ら認識するならば、清貧に甘んじ高潔なる人格者たるべきではないか。」

◇

斯く内省し得ずして、利權屋に乘ぜしめ、不當利得を恣にする者に對して、法律の制裁が加へらるゝは當然である。近年宗教がそのもてる信仰の力を失ひ、教育がそのもてる道義的精神の發揮が阻止され、總ゆる社會現象の上に、モンマニズムが力強く働きかける時たゞ一つ吾等の信頼するは法律の力による制裁である。吾等は關東廳司直府が社會正義を基調として斷々乎として、總ゆる不正に剔抉のメスを揮ふに對し、衷心賛意を表するものである。」

廿二日市會で可決した大連市の五年度豫算
百十三萬二千六百二十五圓
前年度に比し六萬六千餘圓の大減額

大連市の昭和五年度歳入歳出豫算は特別委員會で愼重審議の結果歳入歳出とも百十三萬二千六百二十五圓に修正し別稿二十二日開會された第四十六回市會に議事日程として提案され満場一致で可決されたが、原案と比較し二萬六千六百五十六圓の減額で更に前年度豫算に比較する時は六萬六千餘圓の大減額である、尚修正内容は左の通り

歳入 一金百十三萬二千六百二十五圓

歳出（經常部）一金九十七萬四千三百九十二圓

同（臨時部）一金十五萬八千二百三十三圓

計 金百十三萬二千六百二十五圓

歳入經常部

科目	修正案	増減
三、繰越金	一三、四〇〇	増 一〇、〇〇〇
七、市税	八〇七、四三五	減 三六、六五六
經常部計	一、一三二、六二五	減 二六、六五六
合計	一、一三二、六二五	減 二六、六五六

歳出經常部

科目	修正案	増減
二、市役所費	一七〇、六四六	減 五、五四六
九、衛生費	二七九、〇二五	減 一〇、一三五
十二、火葬場墓地費	一一、一四三	減 二〇四
十三、街燈費	二一、五二七	減 三、五二四
十五、社會事業費	一九、五一九	増 一、四〇九
十八、小賣市場費	七、六四四	減 一、四四六
二十、雜支出	三三、一〇〇	増 九、三一〇
經常部計	九七四、三九二	減 一〇、一三六

歳出臨時部

科目	修正案	増減
一、營繕費	一七、二八五	減 一四、三二〇
三、補助費	三二、八五〇	減 二、二〇〇
臨時部計	一五八、二三三	減 一六、五二〇
合計	一、一三二、六二五	減 二六、六五六

満場一致で豫算案を可決
二十二日の大連市會

大連市の昭和五年度歳入歳出豫算の第四十六回市會（第二日）は二十二日午後三時、議員二十八名の出席を得て開會、議事日程に先立ち鈴木議員緊急質問ありと登壇

行商人の取締緩慢に過ぎ勝手に門戸を明け一般家庭を脅す事勘なからず、市は何故に傍觀視するや、警察當局に對し徹底的に取締るやう警告を發せられたしと質問追及し瀨谷助役之に對し最善の方法を講ずる事にすると簡單に應酬早速議事日程に入り有馬委員長登壇、委員會に於ける審査の經過および結果を報告、田中、小野兩議員の質問後、宮崎議員登壇、委員長に質問すと前提し第二十款雜支出の十項退職給與金に一萬五千圓を計上してゐるが何故これを特別會計にしなかつたか歳出經常部に計上したのは只今これを必要としてか或ひは他意あつてか

有馬委員長 退職給與金は當初特別會計とせしも法規に觸れる處れあるより理事者側より自發的に撤回した、歳出經常部に計上したのは今之れだけ支出すると云ふ意味でなく、必要あらば何時でも出さうと云ふに外ならぬ

宮崎議員 歳出臨時部第四款公園改良費の附記中テニスコート跡洋式花壇築造費二千圓とあるが運動熱の旺盛な昨今既設のテニスコート迄洋式花壇とするは遺憾に堪へない

田中市長 希望に添ふやう盡力する

笠原議員は中央卸賣市場に關し理事者の説明が參事會と委員會で異つてゐるのを遺憾とすると述べ、小野議員の動議で委員長の報告通り議事第一號より第七號まで一括して満場一致可決、相川、小野兩議員署名同四時十分閉會した

特別會計新規事業公債發行

【東京廿二日發電】大藏省發表＝政府は今回昭和四年度に屬する各特別會計新規事業公債の發行未濟額合計三千五十萬圓を發行した右は全部預金部引受けにてその要項左の如し

名稱 五分利公債（第一回）
發行額面 三千五十萬圓
內譯
一、鐵道會計法第二條に依るもの二千四百萬圓
一、朝鮮事業公債法第一條に依るもの三百五十萬圓
一、臺灣事業公債法第一條に依るもの二百五十萬圓
一、關東州事業公債法第一條に依るもの五十萬圓
發行價格額面百圓につき九十一圓二十五錢
償還期限 昭和九年迄五年据置き同十年より五十年內
利率 年五分
發行日 三月二十二日
利廻り歩合 單利 五、六五分 複利 五、五〇分

政友會が見た國産品奬勵策

【東京二十三日發電】政府が二十二日の閣議にて決定した國産品奬勵方策に對し政友會は政府の緊急政策は行詰り金解禁後の財界對策と云ひ、失業者の救濟策といひ、全く無爲無策の現內閣としては國産品奬勵等でお茶を濁すの外はあるまい、然し國民の消費力を增大させない國産品奬勵は何等の意味を爲さないと批評してゐる

廿二日歡迎會で太田長官と交驩
廿五日迄は旅順滯在
國際聯盟阿片視察團一行

曩に開催せられたる國際聯盟阿片委員會議に依り今般わが日本政府の統治下たる滿鐵沿線及關東州內に於ける阿片專賣並吸食狀況等を視察する

國際聯盟 極東阿片事情視察委員、委員長アルゼンチン駐都スエーデン公使エクストランド氏並に委員マクス、レオ、ゲラード氏（白）同ジャン、ハプラナ氏（チエッコ）外隨員、速記者一行六氏の賓客は二十二日豫定の如く大連着、午後五時埠頭まで出迎への樣居拓務書記官を初め關東廳日下秘書、河相外事、增田衞生各課長の東道にて自動車にて來旅、直に官邸に入つて太田長官と會見、挨拶の上一先づヤマトホテルに落ち着いたが、七時より官邸に於て開催されたる長官以下關東廳首腦者との歡迎交驩會に臨席、シャンパンを擧げて大いに交驩する所あつたが、同夜は

ホテルに 一泊今廿三日は旅の疲れを勞ふため、一日間自由行動として一行は戰跡其他を思ひ／＼に視察靜養する由、尚廿四、廿五日は同樣滯在、關東廳接室に於て當局と質問應答を試み具さに管內阿片事情を調査する筈で更に廿六、廿七日は大連に於て阿片吸食の現況を視察、之に對する質問をなし廿八日後は左記の通り沿線の實況視察に向ふ豫定である

△廿八日金州（湯崗子一泊）△廿九日奉天△卅日撫順△卅一日五龍背△四月一日安東

黒パン？痛飲？
馮玉祥軍の士氣振ふに反して一向に煮へ切らない閻錫山軍
南北開戰は廿五日頃

◇…過般、閻馮兩氏の約成りて分袂する太原城外の朝、馮玉祥氏は堅く閻錫山氏の手を握り――事成れば南京にて痛飲せむ成らざれば甘粛の山居に黒パンを嚙じらむ――と悲壯な決心を示したが閻氏は笑つて之に答へなかつたとの秘話が最近太原から歸つた人より洩らされたので、馮玉祥派の人々は狂喜してその堅き決心を稱へ既に南京城を取つたやうに喜んでゐる

◇…その眞僞は保證の限りではないが事實馮玉祥氏及びその全軍の今回の士氣は凄いもので、黒パンか痛飲かの岐るゝところとて去る十五日通電を發して以來非常な勢ひで東進を開始し、二十一日には早くも孫良誠軍は鄭州に到着したといふ、十五、六萬の大兵が動くのだからな戰爭を見るには時日を要するであらうがこれに反して閻錫山氏及び山西軍の態度は依然首鼠兩端の觀を呈し馮玉祥軍の進出を疑つてゐるかのやうに見へる

◇…即ち李生達軍を滄州に、傅作義軍を河間に、而して平漢線には張蔭梧軍を正定に、楊效歐軍を石家庄に、張會紹、孫楚軍を順德一帶に駐めてゐるも防備線を馬廠、河間、石家庄の線に張り塹壕を築いてゐるだけで眞に進出した場合の馮玉祥軍と協同作戰するのが疑はしいやうな陣容を立てゝゐる、これが爲め馮玉祥派では切齒扼腕して苦憤を並べると同時に「若し今回もまた馮玉祥軍をして河南に傷つかしむるならば直ちに退却して歸途山西を襲はむのみ」と豪語せしめつゝある

◇…一方中央軍では馮玉祥氏愈よ再起したことを知つてから急に作戰を改め山東に防戰し、これを右翼據點としてその掩護の下に隴海線から一擧に鄭州を攻めむといふ姿勢を取り陳調元軍を濟南に、顧祝同、王均、陳誠軍を兗州、泰安一帶に集中し、而して約十一、二萬の大軍を徐州より西進せしめつゝある

◇…かくて濟寧、濟南は兩軍の要點となつたが、山西軍の陣容が前記の如くで反蔣側は甚だ心細いとは某軍事通の觀測である、これについて山西派では中央軍の作戰は津浦線より天津を平漢線より北平を、併進して攻略するものと認められるを以て津浦線にて馬廠附近まで誘引し平漢線にて其左翼を驅破する方針である兩軍の開戰は二十五日ごろであらうと語つてゐる【天津特電二十三日發】

我が掛値なき要求を米國側もつひに諒解
新なる妥協案を提出

【東京廿二日發電】廿二日其筋に入つた倫敦電報によれば米國は最近日本の八吋巡洋艦七割、潛水艦現有勢力保持を二大眼目とする補助艦總括七割要求が日本無脅威軍備として全く掛値なきを諒解したもの〻如く、去る十三日提示した所謂最後案を讓歩し昨廿一日新なる妥協案を日本側に示した

建設時代回顧【二】
社員會編纂『滿鐵側面史』打合せ

丘 色々な方面のお話が多くあると思ひますが、存外斯ういふことを澤山聽き込んで居る人は僧侶に多い。戰爭後も此方に來て居りますが、西本願寺の人達は各方面に始終行つて居りますし僧侶は極閑ですから自然材料も多いと思ひます。京都の西本願寺に前田君と云ふ滿洲に始めから關係のあつた人が滿洲會と云ふものを作つて居りまして、春秋に會を開いて滿洲の新しい人もありませうが最も古い人を招ぶと云ふことにして居ります。此の滿洲會に行つて斯う云ふ趣旨であると云ふことを話したら各方面の存外人の知らないことがありはせぬかと思ひます。又極古い人から聞いたにとで面白い話が思ひ出されることがあるかも知れぬと思ひます。若し必要なら御紹介しても宜と思ひます。

保々 是非一つ何か書いて戴ければ非常に結構だと思ひます。

貝瀬 今日のお催しは非常に結構なことですが、場面が非常に廣い、今迄昔話しを文化協會等でも二、三度やり、我々も技術の立場から電氣創業時代の座談會もやつたが、一寸した一つの問題でも種が澤山ある、それを何う云ふやうにやられるか、此の間一寸城所さんにお話したのは一般的だと思ひますが、各方面に依つてはそれ／＼又人があります。それを何う云ふやうにやられるかゞ第一の問題と思ひます。

保々 要するに十年史、二十年史に書いてあるやうなことは皆拔かして、何と云ひますか、逸話式のやうなものを集めたいのですが……

貝瀬 それは隨分ありますよ、例へば貴下の言葉を藉りて言へば社會的の地位の低い人でもと云ふことになると隨分面白い種がある、其の部門を何ういふやうにされるかといふことが問題だと思ひます。先づシステムを極めて貰はぬと餘り場合が廣い

保々 實はシステム迄お智惠を借りたいと思つて居るのです。此非常に瀚浩なものになつても效果がない、面白さうなものだけを二、三百頁の普通の少さい本位に纒まる位になれば非常に結構だと思ひます。

中村 本にされる積りですか。

保々 究極は本にでもしたいと思つて居ります。會社の費用で出しても宜いと云ふ話です。

上村 本になるとしても何處から材料が出たと云ふやうなことは考慮に入れないで、その邊は編纂者に委して頂きたいと思ひます。

保々 要するに斯う云ふことにしたら如何ですか、出來るだけ紹介して頂いて、此方の方で面白くないと云ふやうなのはお斷りすることにすると云ふことにしては……二萬の社員に面白く讀ませようと云ふには出來るだけ面白いものが宜い、此の間の濱町の女のは少し非道いかも知れぬが、面白いことは面白い、僕はあれを一向猥褻には感じない、面白く感じた。

貝瀬 此の前「協和」で昔話を載せた時に田村さんから聞かされたが隨分種があるらしい。

藤田 こゝにお集りの方以外の所へ話を聞きに行かれると云ふのですか。

保々 此方の人ならば城所君に行つて貰つても宜いが、出來れば硬骨だけでも書いて貰へれば非常に結構だと思ひます。

田村 東京のやうな所は東京支社の速記の出來る者でも向ふの都合の宜い時に差し向けるやうにでもしなければ、書けと云はれると一寸困るだらう。

上村 東京支社の方では社友會と云ふのが出來て居りますからその方にでも交渉してみませうか。

田村 兎に角速記する者でも差し出すと云ふ位にしないと却々集らないと思ふ。

藤根 誰それは斯う云ふことを知つて居る筈だ、あの人に聞けば斯う云ふことが解るだらうと云ふやうな人をけふ集つた人に聞かして頂いたら如何です。

保々 それです、それさへ解れば書にやつても、又筆達者な人なら書いて貰ふと云ふことも出來るのですから……

丘 時代は何時頃からですか、隨分古い話も出ると思ひますが

竹中 別に三十七、八年以後とハッキリしないで、其の前のことも幾つか入つても妨げないでせう。

田村 古い方が値打がある。

竹中 三十七、八年以前の話が十か二十あつても宜い、古い日清戰爭時代の話でも面白いのがあれば……

小野木 名前は何と付けますか。

保々 「滿鐵側面史」と云ふと關東軍の軍のことは何うすると云ふやうなことになるから、そこは後から、集つたものを見て適當に付けられると思ひます、要するに滿洲がこんなになるには先人がこんなに苦勞したものだといふ感じを與へさせたい、だから名前は先人苦心談でも何でも宜い。

田村 今日集つた人から片つ端から話を伺つて行けば自然と人のことも出て來ると思ふ。

蔣介石氏 長江巡閲の目的

【北平二十二日發電】軍事專門家の談によれば蔣介石氏今回の長江巡閲は閻錫山氏を中心とする反蔣團結意外に鞏固なるを知り、自己勢力の基礎を固め目下の蔣閻關係は單なる南北戰爭に非ず國民黨對地方反動軍閥の戰爭であるといふ事を宣傳するにありといはれてゐる

敬老の喜字の祝ひ

本紙創刊廿五周年並びに社屋新築落成記念事業の一つとして設置された「社會奉仕部」では先きに發表した通り第一回の事業として「在滿陸海軍諸部隊及び警察團への慰安娯樂器具寄贈」の計畫と共に滿蒙開發の第一線に活動し、又は子弟を激勵しつゝある高齢者の意氣を尊敬する意味に於て在滿邦人にして本年六月を以て七十七歳以上の高齢者に對し「喜の字祝ひ」に因み記念品を贈り表彰する事になつた。高齢者又は高齢者を御存じの方は左の規定によつてお知らせ願ひたい

尚御知らせあつた高齢者には官憲と協力調査の上記念品を贈呈する

樣式 高齢者最近の寫眞一葉、但し裏面又は別紙に姓名、生年月日、原籍地及び現住所を明記せるものを添へて差出す事

締切 本年六月末日迄

宛名 滿洲日報社々會奉仕部

昭和五年三月 **滿洲日報社**

課長事務取扱

木村人事課長は東京に於ける社員採用銓衡のため二十二日出帆のうらる丸にて上京したが、その不在中人事係主任參事大嶋峰吉氏が課長事務取扱を命ぜられた、尚業務課長向坊盛一郎氏は二十二日賜暇歸國したゝめ鷲谷利濟氏が、また調査課長佐多弘治郎氏は十五日上京不在にて木村正直氏がそれ／＼課長事務取扱を命ぜられた

人事

△千秋寛氏（鞍山製鋼所長）二十二日夜來連ヤマトホテルへ

安樂椅子

△昭和製鋼所州內設置期成同盟會より上京へ東奔西走の忙中に閑を得て大に若返り意氣揚々歸つて來た立川老に▲上京中面白い收穫でもなかつたですか――と訊くと「ソリヤ君大いに有りさ」と例の顎鬚を撫ながら得意滿面▲丁度惠比須さまを砂糖漬にしたやうな機嫌顏がうるはしかつたが誰かゞ「罰だ、罰だ、容れ／＼」と云つたので▲折角の甘い陶醉を滅茶苦茶に破られた老人怒るまい事か顏面忽ち朱を濺いで「君等は俺の艶聞を恁く言ふのだらうソンナ事を何う言ふ奴は俺を嘲罵してゐる侮辱してゐるんだ」とプン／＼▲立石市議取りなしげに「立川さん、東京の女は何うですか」と懇勲辭を聽うして伺ひを立てると「俺に女をきくのはクリストに酒の味をきくのと同じことだ」と相變らずプン／＼▲若草山觀測所の天氣豫報は晴れ後ち雨――でなかつたのに

須藤憲兵隊長謝電

去る十九日出帆のはるびん丸で離連した前大連憲兵分隊長須藤裕氏は二十二日神戸着我社に左の謝電を寄せた

在連中の御厚情を感謝す、無事神戸に上陸す

拓大同窓會

拓殖大學同窓會大連支部では來る廿五日午後五時半埠頭食堂に於て例會を開催する由

關東廳辭令（廿日附）

任關東廳遞信書記補 勳六等 友永清四郎
依願免本官 關東廳中學校教諭 古林光二
同（廿二日附）
依願免本官 關東廳遞信書記補 友永清四郎

定期叙位【東京二十二日發電】

叙從二位 正三位勳一等功三級 河合操

辭令【東京二十二日發電】

命上海在勤 領事 上原蕃

帝都の復興式典
聖上の臨御を仰ぎて 來る二十六日行はる

【東京二十二日發電】天皇陛下は來る二十六日宮城前に於ける復興式典に臨御遊ばされ、復興關係諸員並に市民に對し優渥なる勅語を賜はり完成を嘉せらるゝが、當日の式典次第二十二日左の如く發表された

午前十時三十分　宮城發御
同三十二分　式典出御（各宮殿下扈從）參列員一同最敬禮
同三十三分　内務大臣式辭
同四十分　勅語一同最敬禮
同四十三分　内閣總理大臣發聲天皇陛下萬歳三唱參列員一同之に和す
同四十五分　式典入御
同四十七分　式場御車寄發御還幸

御救恤金下賜の御沙汰
復興完成に際して

【東京廿二日發電】畏き邊りでは今回帝都復興式典に際し廿二日午前左の如く御救恤金御下賜の御沙汰があつた

一金三萬圓　東京府知事、東京市長
右今般帝都復興完成に際し救恤の思召を以つて下賜
一、銀花瓶　一對
一、祭粢料金一千圓　震災記念堂
右今般復興帝都御巡幸につき思召を以つて下賜

昭和の一大盛事
首相のステートメント

【東京二十二日發電】三月二十六日の帝都復興完成式典が擧げらるるにつき濱口首相は左の如きステートメントを發した

曠古の難事業たる帝都復興の大事業は六年有半の歳月を費し八億の巨費を投じ茲に漸く完成の境に達するを得たのであります惟に大正十二年九月の大震火災は史上稀に見るの慘事にて帝都は一夜にして殆ど潰滅に歸したのであります、此の時に當り畏くも聖上陛下には帝都復興に關する優渥なる詔書を煥發あらせられ民心の歸趨を御示しになつたのであります、而して官民一致の努力に依つて茲に市街の面目全く一新せる帝都に畏くも陛下の御巡幸を仰ぎ奉り且つ復興完成式典に御親臨を忝ふするの光榮に浴したるは恐懼措く能はざる處、正に是れ昭和一大盛事にして國民の歡喜感激に堪へざる處であります、茲に復興の完成に當り震災以來多大の後援を與へられた全國民並に救援と好意を惜まざりし友邦の官民に對し絶大の敬意を表する次第であります

御陪食の光榮

【東京廿二日發電】天皇陛下には來る二十七日正午宮中豐明殿に復興事業關係者並に濱口首相以下を御慰勞の思召から御陪食仰付らる

御奉告祭
參列總代決定す

【東京廿二日發電】天皇陛下には來る二十六日震害復興の事を親く宮中賢所三殿に御奉告遊ばされるが、特に前復興院總裁水野錬太郎氏を前官禮遇總代に、現復興局長官中川望氏を親任同待遇總代に、勅任總代として潮内務次官・奏任總代に復興局技師佐藤茂助氏を夫々參列せしめられる旨二十二日仰出された、尚此の外に親王御總代として閑院元帥宮御參列遊ばされるが各官の總代左の如く決定した

山本大勲位、濱口首相、倉富樞府議長、一木宮相、牧野内府、上原元帥、平沼樞府副議長、吉田豐彦陸軍大將、加藤寛治海軍大將、蜂須賀貴族院副議長、阪谷芳郎男、一條實輝公、東久世男、矢島帝室林野局事務官

大連民政署土地係の醜事又新に暴露さる
周水子官有鑛山區を二重貸下 福昌華工と支那人有力者へ

大連地方法院檢察局は官有地貸下問題に絡る不正事件摘發に着手して以來寢食を忘れて本舞臺へと漕ぎつけつゝあるが、先づ贈賄者側より手をつけ漸次證據固めを行つたうへ

伏魔殿視 されてゐる大連民政署官有財産土地係の本據を突くべく鋭意内偵中のところ、果して大連民政署官有財産土地係主任志賀庄七氏及び土地貸下係淺川某等に絡る不正事件の端緒を得たものゝ如く、廿二日大連署司法係は池内檢察官指揮の下に俄然周水子方面に活動を開始した、事件の内容を探聞するに、さきに福昌華工株式會社が關東廳より貸下げを受けた周水子管内金家屯の

官有鑛山區 を前屯會長某支那人有力者の運動により大連民政署土地係主任志賀、淺川兩名が又貸下げの許可を與へたもので今なほ福昌華工と支那有力者間に紛糾中と云はれ事件は極めて奇怪視されてゐる、この間瀆職行爲が介在してゐると睨まれてゐるが、これが橋渡しは土地ブローカー某々等が巧に立廻つた事實もあるらしく、取調の進展につれては志賀土地係主任及び淺川貸下係の身邊も危險視され、事件は意外に擴大するものと見られてゐる

溫室の春

寄附電話抽籤

大連中央電話局並に沙河口分局の昭和四年度寄附電話追加募集の抽籤は既報の通り二十二日午後二時から大廣場小學校講堂に於て土屋電話局長司會の許に行はれた、中央に於ける申込數六百六十七口に對する二百個の決定は同三時半終り、次いで沙河口分局の分申込み百九口に對する四十個の決定は同一四時半終了した

州内漁業者を保護の政策
關東廳の新しい規定

關東廳では今般左記の如き機船底曳網漁業の制限に關する公文を管内各民政署、内地各府縣並に農林拓務兩省當局に通達して州内漁業者の保護策に出てたが、右は却て

當業者側よ りの陳情にもありたる如く、近年渤海漁場を中心とせる機船底曳網漁業はその機船の増加と、一般經濟界の不況かてゝ加へて昨秋來の銀貨暴落による漁價低落等の爲め州内當業者の經營は甚だしく困難を來し、若し此の儘に放任する時は遂に收拾すべからざる結果に陷るより外なしと云ふので、此の際州内漁業者を保護し同時にその堅實なる發達を促さんとするものであるが、今後當分の間は右の通り實施する由

一、内地出漁船は現在許可を受けゐるもの、乃至その繼續出願に限り許可す、但許可船と雖もその期間内に州内市場に上場をなさゞりしものはこの限りあらず
二、五月一日より六月三十日までの間に於ける渤海灣の内地出漁船は之を許可せず、但し同期間内に於ける既許可の分は其勢力を妨げず
三、管内に住居を有せざる者、又は住居を有するとも管内に從籍せざる機船の底曳網漁業は之れを許可せず、又支那漁船け管内に三年以上居住し漁業の經營をなす者の所有船は之を從籍船と見做す、但し支那官憲に於て支那船として取扱はれ居るものはこの限りに非ず
四、四十噸十馬力未滿にして船齡三年を經過せる漁船を用ふる底曳網漁船の新規出願は本年五月三十一日を以つて之を許可せず

北支の御日程
丁抹皇儲殿下

【天津特電二十三日發】デンマーク皇太子フレデリック殿下の御一行は三月二十七日秦皇島に御着、京奉線の特別列車にて北平に赴かれ四月四日天津を御訪問、翌五日天津御發秦皇島にて御乘船と北支那御訪問の御日程が北平デンマーク公使館から發表された

近く來連する野球新選手
實業滿倶紅白試合に其妙技を示すべく

滿洲球界のシーズン開きとして來る四月三日午後二時より滿倶球場に於て擧行される本社主催の實業滿洲兩倶樂部混合紅白試合も愈々一旬後に迫り、すでに兩軍メンバーに屬する國際、滿電、消費の諸チームも練習を開始し、實業側には新たに來連の選手も略確定し滿鐵は二十二日出帆のうらる丸で上京した木村人事課長の歸京の上銓衡會議後に發表される筈であるが、新選手としては左の顏觸れが確定した模樣である

立石選手　徳島商業學校卒業後早稲田大學に入學半途退學後大毎に就職京城府廳に入り現在に及ぶ同選手は徳島商業時代より現代に至る迄遊擊手として唱へられ昨夏全國都市對抗戰には全京城軍の遊擊手として活躍したる選手で今回國際運輸に入社と同時に實業團選手として活躍するもので三壘を守るものと思はれる

源川選手　新潟中學出身後早稲田に學び本年目出度く學窓を出づ新潟中學在學中名投手として北陸の地に名を馳せ後早大チームに入り大正十五年秋シーズンに大いに活躍し一躍リーグに名をなしたが昭和二年同部を退き現在に及ぶもので同選手はアンダー、スローにてリーグ戰の各强打者を血祭りに上げ心膽を寒からしめたもので來連の曉には滿倶側の苦手となることゝ思ふ、又同選手は飛田先輩の推薦に依るものでツーリスト、ビューロー大連支社に勤務することになつた

針原選手　奉天中學を本年卒業本社主催の全國中等學校野球大會滿洲豫選會に活躍したるはファンの末だ忘れ得ない選手である、長驅中堅手として活躍するも遠くはあるまい、又すばらしい打擊の所有者として實業團先輩より囑望されて居るが卒業と同時に國際入りに決定した

頴原選手　京城中學卒業後旅順工科大學に入學本年卒業本社主催關東州大會に工大チームを雙肩に荷ひ投手として活躍したる選手で滿電に入社小松投手の後を受けて滿電滿倶兩チームの投手として活躍するであらう

尚明大出安田投手の瓦斯會社入社及び松山商古味三壘手の消費入りも略確定したらしく滿電にも早大出一名、明大出一名入社することになるかも知れない

武田春園氏作品頒布會

皇朝書道振興に盡した小野鵞堂先生逝いて茲に七年今回斯華會本部に於て翁が建碑の企てありたるは偉人の靈を弔ふと共に社會思想の善導上意義あることであるが斯華會大連支部長武田春園氏は鵞堂先生の門に學び翁の流れを酌むこと茲に二十餘年今度建碑委員として推擧せられたるに就ては恩師に酬ゆる奉仕として作品頒布會を催し同好諸士の贊同を仰ぎ得た淨財を擧げて建碑基金の一部に寄附することゝなり平野正朝、永井策郎、上村哲彌、松崎鶴雄、池内瑞洲、高山漁江、藤森無窮の諸氏が後援者となつて二百口を限り小雅仙牋、截條幅、扁額（書體、選文は可成揮毫者に一任されたし）各一口を一圓として頒布することゝなつた、希望者は市内沙河口黄金町一六番地武田春園氏宛申込んで貰ひたいと

溫故知新　春園題

中等學校教育改善案成る
支那語を正科に加ふ 文部省調査委員會

【東京二十二日發電】文部省の中學校教育改善案に伴ふ教授要目改正に關する調査委員會總會は二十二日午前十一時より帝國教育會館に開會、過般來小委員會にて決定した原案につき協議の結果之を決定したが、現在の教授要目と異る點は左の如し

一、修身科の第五年に現代思想の批判が入つた事
二、現在の法制經濟を公民科として擴張し政治教育をすること
三、實業教育徹底の爲め實業科目を置いた事
四、外國語の中に支那語を入れた事

哈市郵務局員罷業し騒ぐ
高局長が李主席の信書を開封した事から紛糾

【ハルビン特電二十三日發】濱江縣政府主席李科元氏は二十一日信書を郵便局に發送せんとした際切手代が足らぬところから、新市街の郵務局長高永安氏が違法郵便物といふ理由により封筒を開き内部を檢閲したゝめ問題を起し、李氏は高局長を逮捕し監禁したゝめ郵務工會はストライキを以て對抗した、原因は單なる郵便物開封にあるが李氏は郵務工會内に左傾分子あるを發見せんため特にかゝる手段を用ひたもので高局長はその槍玉に擧げられたものと宣傳されてゐる

バ卿葬儀
濕かに執行

【スコツトランド・ウイテンガム廿二日發電】イギリス政界の長老バルフオア卿の葬儀はラマームア丘陵の間に在る土地の教會に濕やかに行はれ夫より遺骸は農家用の質素な馬車でウイテインガム領の古城の傍らなる墓地に埋葬された同時にエヂンバラのセントルイス寺院でも遙拜式が行はれた

追悼會に各國全權參列

【ロンドン廿二日發電】バルフオア卿の追悼會は廿二日午後二時よりウエストミンスター寺院に於て行はれた參會者一千餘名各國軍縮全權も此の軍縮の先覺者の遺靈を悼んだ時にイギリス皇帝陛下には第二皇子ヨーク公を御名代として御差遣あらせられた

太田選手優勝す
日英庭球戰

【イギリス、フオレストヒル二十二日發電】フオレストヒル日英庭球トーナメント本日の決勝成績左の如し

△男子シングルス決勝
太田（六—一、六—三）三木
△混合ダブルス決勝
三木、マツドフオード孃（六—二、七—五）太山、ジヨンソン孃
△男子ダブルス決勝
イームス、ホイートクラフト（六—一、六—四、六—三）太田、三木

自動車が列車と衝突
三名即死

【福島二十三日發電】二十三日午前一時十二分常磐線上り二百六號列車が湯本驛を發し直ぐ踏切に差し掛つた際海邊鑛業所より活動寫眞機械、フイルムを積み乘客六名を乘せて疾走し來つた自動車と衝突しその自動車は二十五メートルを引ずられ大破し運轉手及び乘客二名即死し四名重傷を負ふた

西本願寺で日曜學校
人事相談所も

長春西本願寺原師は日曜學校を開校し當地方に於ける小國民に皇室尊敬、祖先崇拜の觀念から家長本意の精神、敬老撫幼の戒め等我が國體の精華として誇る道徳思想の涵養に勗むべく準備中であつたが漸く完成を告げ愈々近く開校の運びに至れると共に既に入學を申込むものも多き狀勢にあるが更に同師は茶谷榮治郎氏の獻策を容れ去る二十一日より同寺院に人事相談所を置き世相百般の出來事につき明快なる指針を與へるといふのである而して同相談所の顧問としては夙に卓越せる正論家として聞こゆる茶谷榮治郎氏を推戴する由

雨亭公園に銅像建設
寄附金を募集

故張作霖氏の功績を稱ふるため今般奉天に雨亭公園を設け且銅像を建設すべく遼寧大元帥葬儀籌備處から去る十日付を以て之が費用の寄附を各華商公議會に依頼したが寄附金は甲現大洋二百元、乙百五十元、丙五十元、丁二十元の四種であると

社員會幹事
二十四日判明

滿鐵社員會第一次幹事選擧は既に終了したが第二次選擧は二十二日擧行されしも沿線の投票未着のため當選者の發表を見なかつたが、二十四日には全部判明する筈、尚來る二十九日午後三時より社員倶樂部にて新舊合同の幹事會を開催することゝなつた

危險な空氣銃

春光に惠まれて子等は戸外に遊び戲れてゐるが、南山麓方面の兒童中街路にて空氣銃を濫りに放ち通行人を傷つけ或は窓硝子を破るなど危險が頻々起るので同方面居住者は非常に迷惑してゐると

鞍中生歸る

鞍山中學生二十四名は宮師正恭、武田英之輔兩教師に引率され南支方面の旅行中であつたが、二十三日午後三時半入港の榊丸にて來連同日二十二時發にて歸鞍した

消費組合理事會

滿鐵社員消費組合理事會は十二日午前九時より午後四時半迄行はれ決算報告をなし五年度豫算を附議したが、原案通り可決した、なほ所謂消費組合問題につき懇談的に懇談を爲したが別に意見を纏めるやうなことはなかつた模樣である

赤十字看護婦生

日本赤十字社滿洲委員部の第十二回看護婦入學生八名は二十二日來旅、關東廳及び委員部を訪れたが廿三日朝急行にて赴奉すると、尚今期赤十字看護婦志願者は全國で百七十五人でうち卅六人が採用されたと

神明高女團京城着

【京城二十二日發電】神明高女見學團一行は今朝七時十分無事京城着先づ朝鮮神宮に參拜して前途の平安を祈り麗かな春光を浴びつゝ昌德宮、景福宮、總督府等を見學驛前二見館に投宿した、總員元氣明朝十時出發釜山に向ふ筈

滿日地方版

奉天

滿洲醫大出の新學士さん
盛大な卒業證書授與式

今年第二回の新醫學士を送り出す滿洲醫科大學では同大學並に專門部の卒業證書授與式を廿二日午前十時半から同大學體育館に於て擧行した

來賓は 森岡領事、鈴木少將、保々地方部長、庵谷會頭、鹽尻地方委員議長、木下在郷軍人分會長、高岡奉天取引所長、前波教育校長、安藤高女校長、衛藤圖書館長、それに支那側教育廳長、公安局長、交渉署長各代理陶尚銘氏等總て百餘名で一同着席後、式辭に次いで卒業生(本科卅三名、專門部十五名)に對し卒業證書が授與され、稻葉學長の訓辭に次いで保々地方部長の總裁告辭代讀あり、森岡領事は支部大臣の祝辭を代讀し、更に來賓側森岡領事は林總領事を代理して

祝辭と 述べ續いて旅順工大學長祝辭代讀、西田氏の祝辭支那側數名の祝辭代讀あり、森幹事祝電を朗讀、秋元龜次氏は同窓生總代として祝辭を述べ、日中武君在校生日本側總代として超恩綠君は中國學生總代として、黄順記君は專門部在學生總代として日本學生は中國語、中國學生は日本語でそれぞれ祝辭を朗讀、これに對し、安井修一君は日本側卒業生總代として、馬宮驥君は中國側卒業生總代として、また高金立君專門部卒業生總代として日本語、中國語の答辭を朗讀し十一時四十五分

盛大裡 に閉式した、ほ式後體育館に於て來賓職員卒業生一同の祝賀宴が催され卒業生の前途を祝福する處があつた

奉天商議々員會

奉天商議では二十日午後三時半より議員會を開き庵谷、富村、三谷正副會頭外十三議員それに鶴永、古仁所、右近、鈴木各特別議員、内海勸業係長等出席、先づ野添書記長の滿洲商議聯合會の經過報告あり、次いで公會堂失火罹災に對する善後處置につき協議をなし峰向野吉川の三議員及び上田奉天倶樂部部長を修築委員に指名し契約火災保險會社の仕拂額の程度で燒失個所修築を一任することゝしまた理事者で必要と認めたる時はその都度議員會を開催することになつて散會した

馮氏代表來奉す

廿日北寧線にて來奉せる馮玉祥氏代表門致中氏は廿一日張學良氏を訪問し懇談するところがあつたと

高紀毅氏滿鐵全線視察か

北寧鐵路局長高紀毅氏は鐵道行政改革に資するため局員數名を伴ひ四月一日から滿鐵全線の視察をなすと傳へられてゐるが、滿鐵側には何等通知して來てゐない、しかし滿鐵沿線を視察するといふだけなら滿鐵も承諾するであらうと鐵道事務所の某氏は語つてゐた

人事

▲中村第十九旅團長　廿一日遼陽へ
▲保々滿鐵地方部長　廿二日朝來奉
▲筒井高等法院判官　廿一日夜安奉線にて來奉
▲高木奉天守備隊長　廿二日開原へ
▲滿尾鐵道省副參事　廿一日京城へ
▲龍山第二十師團將校團一行　廿一日旅順へ
▲山口奉天鐵道事務所次長　廿一日赴連
▲山口縣會議員一行　二十一日公主嶺より來奉
▲熊本縣第一師範生七十五名　二十一日撫順より來奉
▲同第二師範生百二十名　二十一日夜來奉大丸旅館へ

町の便り

春日尋常高等小學校では廿二日午前十時から同校講堂に於て第廿二回卒業式を擧行した

◇

奉天高女校では本年は創立十周年に相當するので四月廿三日同校に於て盛大な記念展覽會を開催すべく目下準備を急いでゐる

◇

廿二日午前五時五十分頃山東省生れ國際運輸會社支店苦力劉孟科(三六)が金講線を横切らんとする際入替への貨車が進行し來り同列車に觸れ右腿右腕を轢斷されて即死を遂げた奉天署から太田警部補が出張し檢視をなし死體は會社側に引渡した

金州

三日仕事すれば一日は休む
懶けものゝ白鳥俊雄
大連民政署疑獄事件

大連民政署に於ける官有土地貸下げ不正事件は今後一味の收容に連れ益々擴大する模樣であるが、事件の首魁白鳥俊雄につき調査する處に依れば昨年末關東廳に於ける人事大異動のをり前記大連民政署財務課官有財產係より金州民政支署庶務係に轉勤し來たつた者で

關係者 の談に依れば未だ赴任後三ケ月に滿たぬのに勤務振りは非常に懶け勝で三日仕事をすれば一日休むと言つた具合であつた、轉勤後未だ日も淺いので深くつき合つた者もなく日常の生活振りや、性格を充分に知つた者も無い模樣である、白鳥の處分問題については民政支署に平井總務課長を問へば氏は憤慨して語る

曰くつきの者を一言の引繼もなく押しつけるのは實に不都合である、聞く處に依れば轉勤當時から此の問題は少しは判つて居つた樣だが、當署在勤中に

事件を 惹起せなかつた事だけは明言する、若し土地係に勤めさせたら又復こんな事件を起したかも知れぬが之は幸であつた、何れにしても非常な迷惑である、處分問題も未だ犯罪も確定して居らぬが辭めさせるのは當然でしよう

浙江省民十五萬人
東北省に移住

浙江省代表三名はこの程來奉し東北省當局に對し何事か折衝中であるが、聞く處によれば浙江省政府は同省々民十五萬人を東北省に移住せしめる意志で東北省政府に對しても大體諒解が出來たものゝ如く、既に東北移民運輸狀況等も制定され近く具體化されるべく移住地は黒龍江省肇州、肇東、呼蘭各縣になるらしいと

久保田博士
近く洋行する

近く洋行する滿洲醫大の久保田博士は語る

まだ身體がさつぱりしないので少し保養し全快したら出かけやうと思つてゐるが出發の期日はまだ確定しない、本年特別に派遣される譯でなく毎年一回歐米の醫學を見に行くことになつてゐる、行くとすれば相當收獲ある樣に自分でも努める考へである

奉天製麻重役

奉天製麻取締役鈴木、監査役持田の兩氏は廿一日午後東京より來奉し中山常務と協議し善後策につき腐心して

引ツ張り凧
金州農業學堂の卒業生
廿二日卒業式を擧ぐ

州内唯一の中等程度の農業教育を施して居る當地農業學堂では廿二日午前十時半より關東長官代理御影池學務課長臨席のうへ卒業式を擧行本年の卒業生は日本人二名と支那人廿一名であつたが、これ等卒業生の就職口は

卒業前 に既に決定し、支那人二十一名の内一名は東京駒場農科大學實科を受驗に、殘り二十名に對しては二十四名からの申込あり中には直ちに三十圓の月給を給するから是非承諾してくれる樣にと懇願する者さへもある狀態で之こそ許り引つ張り凧といつた有樣である、一方日本人卒業生の二名は一名は金州、一名は撫順だが兩名共自家農業に從事する事になり、折角の希望者も二の足踏んで殘念がつて居る

本年度 の日本人志願者は遠く長春より一名大連南山麓より一名、同じく伏見臺より一名、普蘭店より一名、内地より一名都合五名であるが何れも卒業後は自家の農業に從事する者ばかりであるが、日本人學生の特長は内地卒業者に比し滿洲に必要なる教授を受くる事、支那人を使用するに支那語を十分に解し得る事等が特長で卒業早々直ぐ間に合ふので

非常に 珍重されてゐる、今後日本人支那人を問はず廣面積の耕地を有する滿洲で而も粗雜な作付を爲す支人に對して之等卒業生の善良な指導はやがて大なる成功を齎すであらう

長春

閑散期に運動奬勵
森田驛長の計畫

森田長春驛長は長春驛は冬季特産出廻りで他驛には見られないやうな繁忙振りなのに引かへ夏季は比較的閑散となり冬季緊張しきつてゐた驛員が兎角たるみ氣味に陷り却つて事務の進捗を妨げるとあつて森田式とでも云ひたい面白い計畫を立てゝゐる、それは夏季閑散期になつたら驛務を遂行するに必要な最少限度に驛員を減員して他の驛員は休業させ大いに運動を奬勵し體力を練磨させ冬季の活動に必要な精力を蓄積させると云ふのである、之が一般滿鐵社内に適用されると所謂濫業氣分を脫して生氣を帶びることであらう

書記長歸來談

大連に於ける商議書記長會議に出席した大垣長春商議書記長は二十一日歸長したが氏は語る

今度の會議で問題になつたのは製鋼所問題、消費組合問題、會議所令問題だが製鋼所の設置については新義州に設けることは單に三百萬圓の補助金だけで關稅の如きは關東州に設けても同じであるから鞍山に設けるのが不可ならば關東州内に置くやう建議すること、商議問令題は外務省との關係が複雜であるから商埠地の商人は任意入會することゝし商議會は附屬地のみに適用すべしと一決した

吉林

漸く判明した燒死者氏名
入院中の重傷者も判る

既報吉林朝陽門内永吉活動寫眞館出火に因る燒死者六十七名中氏名判明せる者及び入院中の重傷氏名次の如くである

△城内長安胡同二號男陳太平(一一)△湖廣會館男王福江(一三)△女韓家鳳△女林蓋氏(五〇)△女林蓋鳳(一四)△男井玉明(二五)△北倉胡同謝陳氏の女謝文琴(一二)△劉雲閣の女劉貴蓮(一一)△男劉洚恒(一〇)△劉達玉(八ツ)共三名△城内維新街十四號男徐茂業(一一)同徐正業(九ツ)△城内河南街劉秀峰の女劉獅子(一一)△東寺胡同傅楊氏(六〇)△巴虎門裏三號○海連(一七)△歩兵第三十四團騎兵連馮成如(三四)△臥虎溝六號男李連(一三)△男鄧占海(三五)△城内同升當鋪許息(四五)城内白旗堆子男牛仲衡(一一)△張伯田の妻張耿氏(五二)同女兒(七ツ)男兒張仲祥(一四)の三名△北倉胡同潘克明の嫂潘張氏(五二)△城内通天街馬號男馬寶山(三〇)△趙榮久(三〇)△楊奎(二五)△邵洪文(五〇)△男吳普臣(二六)△律師李澤人の子東玉光(一三)△榮廣子五號解鴻圖の甥祁錫昌(一四)◆高鴻學(一一)△高桂符(一三)△城内洄水灣三號傅文華(一八)△明士事胡同六號解楊氏(三八)△白旗堆子號吳喜全(五〇)△白旗堆子一號男李丙午(一三)△巳虎屯趙子明(五二)△城内河南街吉東印刷社謝炳昌の女謝平(一八)謝順(一六)謝復(一二)謝喜計四名△男陳治忠△男桂英△省會公安局督察長尹保榮△陸軍訓練處曹長同某△洄水灣子女訥某)朝陽門外朝鮮人大豐台崔萬榮の子二名△地方法院飽判事の次男△律師主俊巖の四男△局子街胡同金醫福の女婿景科員△議文中學生徒張紹呂、齊桂元の二名△吉林邊防副司令官公署副官處錄事吳某以上合計五十六名其他全然住所氏名不詳者男女十一名

入院中の重傷患者左の如し

▲路加醫院▲朱秀武(三五歳河龍縣治指導員松江旅館滯在中)△謝安(一一省立第一中學生)△史瑞光(二五歳、魏稜縣人吉林警官學校學生)△延生醫院△韓李氏(二六歳、洄水灣子居住)△韓祝成(一二歳、實業廳西胡同第一號居住)△張鴻辰の孫(二〇歳吉林省城江岸)△王心通(三〇歳延吉縣人、區長訓練所學員)△松江醫院△王德軒の子(一三歳城内福祥胡同居住)△勝德章(一四歳)▲吳麺醫院△曲瑞瑤(三一歳吉林副司令部副官處員)▲施療男醫院△張興清(四六歳大東門内居住危篤)△榮馨亭(三二歳)△王維玉(三一歳(第三區商埠地)

其他診治所にて手當中の者三名

間島調査委員

吉林省政府建設廳に於ては今回間島一帶の稻田、水利及汽車道路其他電政一切の建設事項を調査することになり、同廳委員史國璋、甘瑞軒の兩氏を調査員に任命した右兩氏は二十日吉林出發吉敦鐵路經由間島に向つた

瀬川氏來吉

外務省對支文化事業部の瀬川淺之進氏は來る二十三日來吉し、三四日滯在の豫定であるが、吉林研究會では之を好機に講演會を催し同氏に一席の講演を請ふ筈である

鞍山

醫藥學集談會

鞍山滿鐵醫院醫藥學集談會三月例會は既報の如く二十五日午後二時より同院三階講堂に於て開催されるが演題は左の如し

一、妊娠と齒牙疾患に就て　高　太郎
一、鞍山小學校に於ける眼屈折機檢査成績(特に近視)に就て
一、高度に發生せる多性軟骨性外骨腫の一例　松島　茂

撫順記者團

撫順記者團一行八名は二十五日午前九時二十五分發列車にて來鞍し製鐵所を見學し鞍山記者團と懇談し午後二時二十三分發急行にて歸撫の豫定である

營口

商議員の當選者

二十二日執行されたる商業會議所議員選擧の結果は左の通りである

一級　營口水道電氣株式會社、横濱正金銀行牛莊支店、朝鮮銀行營口支店、正隆銀行營口支店、三井物產株式會社牛莊出張所、關甲子郎、國際運輸株式會社營口支店、東亞煙草株式會社營口製造所、日本棉花株式會社牛莊出張所、營口興業株式會社

二級　乃美龍太郎、安彥英三、山性市藏、盛進商行、秋山保太郎、加藤讓次、黒川宗藏、須崎原右衛門、田湯源吉、營口海運合資會社

三級　加來實、丸目豊吉、後藤美知治、深江治平、三井八五郎、酒井壽太郎、山村長吉、尾崎菊三、伊藤金次郎、池田榮作

安東

石炭節約の表彰祝賀式
廿一日安東機關區で

安東機關區に於ては昭和四年上半期運轉用石炭節約表彰祝賀式を廿一日午前十時より同區内講習室に於て擧行せしが、近藤同區長は全區員に對し賞與金八百圓を分配し將來の節約實行につき奬勵的訓示をなし盛會裡に十二時閉式した

四年上半期節約一萬八千餘圓

同區今回の成績は二等賞にして六ケ月間に於ける標準炭は九十九百四十八噸であるが實際使用炭は八千三百八十六噸に止まり千六百六十二噸を節約し得たる譯にて此金額は實に一萬八千二百八十二圓であると

道路使用者から料金を徵收する
交通整理の爲新義州で

新義州府では府内における交通整理のため今回新に道路使用徵收規程を設け道路使用者より一定の料金を徵收する事となつた、即ち

道路使用徵收規定

第一條　府は公益を目的せざる道路使用者に對し左の區分に依り使用料を徵收す但し特別の事情ありと認むる場合は之を免除する事を得

一等道路
一坪に付一日金二錢
二等道路
一坪に付一日金一錢
三等及等外道路
一坪に付一日金五厘

第二條　使用料は許可の際之を徵收す

第三條　使用許可後使用者に於て之が使用を停止し又は使用許可を取消さるゝ事あるも既納の料金は還付せず但し官廳の都合に依り許可を取消したる場合は日割を以て計算し其の翌日以後に屬する使用料は之を還付す

附則

本規程は發布の日より之を施行す

開原

神社附近の兇賊逮捕
嚴重取調中

廿一日午後六時より開原神社附近及び中央大街一帶に亘り特別警戒中同六時五十分頃守備隊將校官舍北側路上に於て東方石家臺方面より開原驛方面に向ひ來れる擧動不審者を認め其行動を視察中の逆瀬川刑事に向つて彼れは「誰呀」と呼び掛け近寄り來る氣配以なるを以て機先を制して接近組付きたるに右手に長さ一尺位の鐵棒を所持し居り頑強に抵抗し逆瀬川刑事が拳銃を所持せるに氣付たる彼は之を奪取せんと一層激しく格鬪中島名吉田兩巡査金巡捕の姿を見たる彼れは隙を見て北方畑中に逃入せるを以て之を射擊し腹部脚部に銃創を負はせ逮捕し本署に引致取調べたるに同人は河北省遷安縣李家窩子住所不定無職李長陞(三)と稱し義和屯居住の原籍遼寧省錦縣外城店住所義和屯玉喜堂ボーイ馬金龍(三)原籍山東省夏津縣新河鎮永和(三)原籍河北省新城縣寺住所義和屯瓦匠楊鳳遊(三)の三名と強盜を敢行すべく密議を凝らし當夜中央大街に三名の來るを待ちつゝ徘徊中なりし旨を自白せるにより直ちに江藤刑事金巡捕は義和屯に赴き三名共捜查の上逮捕し本署に引致取調中なるが同夜九時三十分頃渡部刑事は共榮街路上に於て擧動不審者を認め本署に連行せるが原籍開原縣和屯住所開原縣石家臺王家花店内徐景春(三)と稱し双方が何れも強盜嫌疑濃厚にて目下嚴重取調べ中たりと過般來開原神社附近に出沒せる辻強盜は彼等の所爲ならんと

下士現地戰術

中固附近に於て奈良第一中隊長統裁の下に第二大隊下士の現地戰術を廿二日午前九時半より施行せり

公學堂卒業式

開原公學堂にては二十四日午後一時より第十五回卒業式を擧行する

大石橋

衣類處理講習

二十四五の兩日に亘り毎日午前十時より午後まで倶樂部に於て東京家政學院教授山崎緻一氏講師となり社會係主催の下に講習會を開催する事となつたが會費は金一圓講習課目は左の通りである

洋服の手入法、洋服の簡易クリーニング、洋服の藏ひ方、毛織物の洗濯法、カラーワイシヤツの洗濯法、銘仙類の洗張、木綿物の洗濯の仕方、簡易シミ拔き法

修養講演會

修養團大石橋支部に於ては來る二十五日午後七時滿鐵倶樂部に於て滿洲修養團聯合會主事遠藤哲郎氏講演する由である

新舊局長迎送會

當地郵便局長片桐讓八氏は旅順に榮轉する事となり後任として吉川周平氏旅順より赴任する事になつたので來る二十六日網田にて兩氏及び伊藤保線區長の後任として赴任する磯谷保線區長等三氏迎送別會を催す事になつた

戀と地獄 (79)

三上於菟吉作　鶴田吾郎畫

女郎蜘蛛 (四)

「おや、郵便ではないですね?使が持つて來たの?」

と、彼女は訊ねた。

「え〻、只今、車屋さんが持つて來て、返事はいらないと言つて歸つてしまひました」

と、おかみさんは說明してそして下りて行つた。

綾子は封筒の文字を眺めながら詮三の許へ歸つて來た。

「詮さん、妙な手紙よ。どこから來たのかよこした人の名も何も書いてないわ」

詮三は頭をもたげて、封筒を受け取つて封を切つた。

內容を一讀した時、今迄眞青だつた彼の顏にサツと血が上つて來た。

彼は椅子から飛び上つて、窓の側に行つて外を眺め下した——。

しかし夕ぐれの裏路には人のゆきゝも杜絕えてゐた。

綾子は詮三の手から手紙を取つて默讀した。

親愛なる藤田君——。

やつぱし僕の豫感通り、君は僕たちと行動を共にするにはあまりに柔しい青年だつた。一個の美しき女性の投げかけた蠱惑の網のうちに、君は美しき藝術を夢まれるがよい。

例の問題については幸ひに心を勞する勿れ。適當なる果敢の士が君に代つて事を執るであらう

一盟友より

「あの人もなかなか素早い人だと見えるわね」

と、綾子は皮肉に充ちた聲で言つた。

「わたしたちのことをちやんと知つてしまつたと見えますわ。でもその方が却つて都合がいゝことよ。もう二度とあんたを仲間に引つ張り込まうとはしないでせうから」

——

詮三は恥辱と憤怒とに、思はずズボンの後かくしを探つてピストルを握らうとした。

彼は同志と自己との誤りのために自殺してしまひたかつた。——

けれども、彼はすぐに反省した——今此處で、自分が自殺などしたら、綾子の口から前後の事情はすぐに洩れるであらう……戀々岸川等の行動を窮迫せしめるだけだ……。

おゝ、僕はもうだめだ——。

彼はさう呟いて、もう灯がなくては物の見えない裏巷路の窓から眺め下して突き立つてゐた——。

滿日文藝

滿日川柳『春雜吟』

大連　浣月
安かつた春宵へ襟を叉ねだり
沙河口　水楊
外套を脫いで漸く春心地
旅順　干潭
春雨に一句もならず酒はつき
沙河口　眞砂子
襟垢が急に目立つて春はくれ
奉天　寄峰
新柄がちらちら見える町の春
奉天　青春
浪人になつて冷たい春の宵
懷しく未だ見ぬ母國へ春の旅
旅順　櫻巷
うらゝかさ今日も子供にせがまれる
大連　紫浪
大自然笑ひそめてる春の色
石炭の豫算春酒に仕向けられ
春服も矢つ張り月賦のにきめ
旅順　樂臺
蕗の香に一杯はづむ父の酒
花見前妻に新柄ねだられる
撫順　喜良久
うらゝかさ日傘に今日も誘はれる
大連　青々庵
霜降の服も交つて新學期
南から瓢背負ふて苦力來
里の母梅一輪を入れて書き
沙河口　新生
野も山も春の光へ呼びかける
踏まれても地肌を割つて綠の芽
春の陽へ木の芽一皮脫いだ色
沙河口　喜一
梅信へ選擧騷ぎを乘せて來る
合傘の蹴出しにざれる春の雨
遼陽　花飄
捨てられた塵の下にも春は萌え
春風にくすぐられてる花曇り
大連　愛申
傘さして行くほどでない春の雨
スケートが邪魔にされる庭の隅
大連　岳泉
春雨にとけてるやうな辻街燈
外套をぬいで足どり輕うなり
大連　くれがし
春風に初戀いつぞ燃えさかり
撫順　嶺風
春淺くテニス姿の心地よし
瓦房店　保雄
木魚も長閑に聞ゆ春の宵
旅順　亞鳳
花よりも花見る人を見るこゝろ
沙河口　一笑
立話カメラに這入る麗かさ
雪解をこぼして女は下駄を替へ
大連　農夫
ピクニツク娘年より派手に跳ね
若人の春は胸から躍り出し
花見酒知らぬ同志が肩をくみ
大連　滿山
小鳥籠外へ持ち出す春になり
うらゝかさ豆屋を圍む桃の里
ピクニツク子供にたゞ蝶を追ひ
柳河　金線魚
雪肌のそばかすに似た春となり
草花の溫室を出る暖かさ
沙河口　唖佛
姉さんの供を邪魔がる春になり
春の宵昔の痴話を笑ひ合ひ
大連　みち子
花の位置話合つてる麗かさ
大連　玉江
浮れ過ぎ人手を借りる花の山
沙河口　呑宇
輕快な裳裾若葉へ戲れる
パラソルへもう春らしい氣をつかひ
大連　夢良夫
煤煙がうすれて春へ近くなり
節約を忘れて春を派手に着る
旅順　紀南
雛箱を出せば戶棚の位置かはり
煙突屋御用濟ひの顏の色
大連　德月
看板の塗り替へられる春の街
大連　陰石
男の子雛より馳走待つ節句
大連　白山
飄簞の手入れも濟んで花を待ち
大連　柳子
ウインドーの春衣に妻の眼はすわり
食客に着せた春衣の似合ひすぎ
旅順　柳月
春の宵また恨しい雨となり
表具屋へさきがけに來る春の貸
營口　亮典
山火事の下へ若草待つてゐる
解氷になつて民國の職さごと
旅順　都一
背に陽を浴びてまた讀む新聞紙
瀋陽　迷夢
解氷になつて渡航の苦力群
撫順　愛美
掘り起す土の下にも春の色
時事吟
皮口　松風
チヤンバラのシーズンとなる支那の國
霞ふてる合服へ先づ春の風
沙河口　唖佛
花の山浮いたくの足拍子
此のところ天下御免の花に醉ひ
大連　露愁
春雨へ甚仇が來て夜を更し
沙河口　峯康
ストーブも邪魔にされてる春の宵
撫順　晴岳
春の陽にスコップ光る露天掘
大連　太初
老人の腰のしてゐる春の椽
旅順　粱丸
櫻咲く唄讚くりで神詣り
撫順　障子
當選者初めて日比谷の春を知り
大連　凡雅
新春の戀のびやかな唄になり
むくむくと大地を割つて出る青
沙河口　月歩
春雨に一しほ泳ぐ池の鯉
安東　征志
春の雪島田にのこる一と雫
營口　寬典
花吹雪浮かれ小唄の下り坂
親不幸春の日曜の勸め役